

白岡市
ヤングケアラーに関する
実態調査報告書

令和5年3月
白岡市

目次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
6. 分析・表示について	2
第2部 調査結果報告	3
1 小学生調査	3
I. 基本情報	3
(1) 通っている学校	3
(2) 性別	4
(3) 同居している家族	5
(4) 健康状態	7
II. ふだんの生活について	8
(1) 学校の出席状況について	8
(2) 学校の遅刻や早退について	9
(3) 習い事の状況	10
(4) ふだんの学校生活等であてはまること	11
(5) 現在の悩み	13
(6) 悩みの内容	14
(7) 悩みを聞いてくれる人の有無	16
III. 家庭や家族のことについて	17
(1) お世話をしている家族の有無	17
(2) お世話をしている家族の状況（父母）	19
(3) お世話をしている理由（父母）	20
(4) お世話をしている家族の状況（祖父母）	21
(5) お世話をしている理由（祖父母）	22
(6) お世話をしている家族の状況（きょうだい）	24
(7) お世話をしている理由（きょうだい）	25
(8) お世話をしている家族の状況（その他の方）	25
(9) お世話をしている内容	26
(10) お世話を一緒にしている人	28
(11) お世話を始めた年齢	29
(12) お世話をしている頻度	30

(13)	お世話をしている時間	31
(14)	お世話をしていることで経験したこと	32
(15)	お世話の大変さ	33
(16)	お世話について相談した経験	34
(17)	お世話についての相談相手	35
(18)	お世話について相談したことがない理由	36
(19)	お世話について話を聞いてくれる人の有無	37
(20)	学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	38
(21)	希望する相談の手段	39
IV.	ヤングケアラーについて	40
(1)	ヤングケアラーの自覚	40
(2)	ヤングケアラーの認知度	41
(3)	ヤングケアラーを知ったきっかけ	42
V.	自由記述について	43
(1)	相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	43
(2)	子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	43
(3)	学校におけるサポートや配慮	43
(4)	周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	43
(5)	福祉サービスやボランティア等による支援	44
(6)	経済的支援	44
(7)	ヤングケアラーの普及啓発	44
(8)	ヤングケアラー同士の情報交換の場	44
(9)	その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	44
(10)	ヤングケアラーに関する感想	45
(11)	お世話をしている家族がいると回答した児童の声	45
2	中学生調査	46
I.	基本情報	46
(1)	通っている学校	46
(2)	性別	47
(3)	同居している家族	48
(4)	健康状態	50
II.	ふだんの生活について	51
(1)	学校の出席状況について	51
(2)	学校の遅刻や早退について	52
(3)	部活動の参加状況	53
(4)	普段の学校生活等であてはまること	54
(5)	現在の悩み	56
(6)	悩みの内容	57
(7)	悩みを聞いてくれる人の有無	60

III. 家庭や家族のことについて	61
(1) お世話をしている家族の有無	61
(2) お世話を必要としている家族	62
(3) お世話をしている家族の状況	64
(4) お世話を一緒にしている人	67
(5) お世話をはじめた年齢	68
(6) お世話をしている頻度	69
(7) お世話をしている時間	70
(8) お世話をしていることでやりたいけど、できていないこと	71
(9) お世話の大変さ	72
(10) お世話について相談した経験	73
(11) お世話についての相談相手	74
(12) お世話について相談したことがない理由	75
(13) お世話について話を聞いてくれる人の有無	76
(14) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	77
(15) 希望する相談の手段	78
IV. ヤングケアラーについて	79
(1) ヤングケアラーの自覚	79
(2) ヤングケアラーの認知度	80
(3) ヤングケアラーを知ったきっかけ	81
(4) ヤングケアラーに対する必要なサポート	82
V. 自由記述について	85
(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	85
(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	85
(3) 学校におけるサポートや配慮	85
(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	86
(5) 福祉サービスやボランティア等による支援	86
(6) 経済的支援	86
(7) ヤングケアラーの普及啓発	86
(8) ヤングケアラー同士の情報交換の場	86
(9) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	86
(10) ヤングケアラーに関する感想	87
(11) お世話をしている家族がいると回答した生徒の声	87
3 高校生調査	88
I. 基本情報	88
(1) 性別	88
(2) 通学等の状況	88
(3) 部活動の参加状況	89
(4) 普段の学校生活等であてはまること	90

(5) 同居している家族	92
(6) 健康状態	94
II. ふだんの生活について	95
(1) 出席・出勤状況について	95
(2) 遅刻や早退について	96
(3) 現在の悩み	97
(4) 悩みの内容	98
(5) 悩みを聞いてくれる人の有無	101
III. 家庭や家族のことについて	102
(1) お世話をしている家族の有無	102
(2) お世話を必要としている家族	103
(3) お世話をしている家族の状況	104
(4) お世話を一緒にしている人	107
(5) お世話を始めた年齢	108
(6) お世話をしている頻度	109
(7) お世話をしている時間	110
(8) お世話をしていることでやりたいけど、できていないこと	111
(9) お世話の大変さ	112
(10) お世話について相談した経験	113
(11) お世話についての相談相手	114
(12) お世話について相談したことがない理由	114
(13) お世話について話を聞いてくれる人の有無	115
(14) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	116
(15) 希望する相談の手段	117
IV. ヤングケアラーについて	118
(1) ヤングケアラーの自覚	118
(2) ヤングケアラーの認知度	119
(3) ヤングケアラーを知ったきっかけ	120
(4) ヤングケアラーに対する必要なサポート	121
V. 自由記述について	124
(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	124
(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	124
(3) 学校におけるサポートや配慮	124
(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い	124
(5) 福祉サービスやボランティア等による支援	124
(6) 経済的支援	125
(7) ヤングケアラーの普及啓発	125
(8) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）	125
(9) ヤングケアラーに関する感想	125

(10) お世話をしている家族がいると回答した児童の声	126
4 調査結果とりまとめ、考察など	127
I. 調査結果とりまとめ	127
(1) お世話をしている家族の有無について	127
(2) お世話の対象、内容	128
(3) お世話の影響	128
(4) お世話についての相談の状況・必要なサポート	129
(5) ヤングケアラーについて	130
II. 今後の支援の方向性	132
(1) ヤングケアラーの周知啓発・理解促進	132
(2) 相談支援体制の充実	132
(3) 関係機関の連携強化	133
第3部 調査依頼文	135
I. 保護者向け調査依頼文	135
II. 小学生向け調査依頼文	139
III. 中学生向け調査依頼文	140
IV. 高校生向け調査依頼文	141

第1部 調査概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

近年、子どもを取り巻く状況の一つとして「ヤングケアラー」が注目されており、厚生労働省や文部科学省をはじめ、全国の自治体でヤングケアラーに関する実態調査や支援に関する取り組みが進んでいます。

市では、ヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うことを目的とし、調査を実施しました。

2. 調査対象者

市内の小学校に通う6年生全員、市内の中学校に通う2年生全員、高校2年生相当の市民全員の合計 1,282 名を対象に調査を行いました。

3. 調査方法

小学生、中学生は各学校を通じて児童・生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童・生徒本人がタブレット、パソコン、スマートフォン等で Web 上のアンケートフォームにアクセスし回答。

高校2年生相当は高校2年生相当向け、保護者向けの調査依頼文を郵送し、高校2年生相当本人がパソコン、スマートフォン等で Web 上のアンケートフォームにアクセスし回答。

4. 調査期間

調査期間 令和4年9月 28 日から 10 月 24 日まで

5. 回収状況

対象	配布数	回収数	回収率
小学生調査(市内小学校に通う6年生全員)	414 件	377 件	91.1%
中学生調査(市内中学校に通う2年生全)	428 件	384 件	89.7%
高校生調査(高校2年生相当の市民全員)	440 件	164 件	37.3%

6. 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入している。このため比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記している。また、合計が 100.0% とならないこともある。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っている。このため、比率計が 100% を超えることがある。
3. グラフ中の(n=○○)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となる。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合がある。

第2部 調査結果報告

第2部 調査結果報告

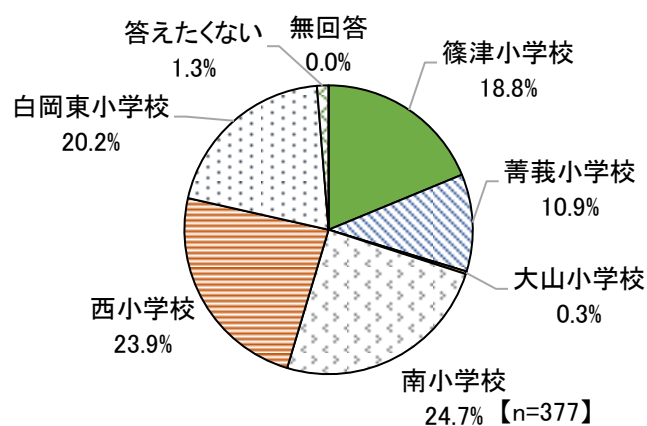
1 小学生調査

I. 基本情報

(1)通っている学校

● 通っている学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

通っている学校は、以下のとおりです。

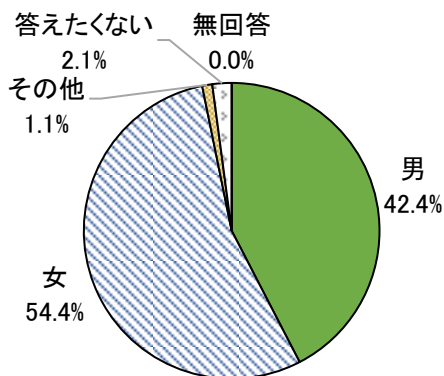


No.	選択肢	件数	%
1	篠津小学校	71	18.8
2	菁莪小学校	41	10.9
3	大山小学校	1	0.3
4	南小学校	93	24.7
5	西小学校	90	23.9
6	白岡東小学校	76	20.2
7	答えたくない	5	1.3
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

(2)性別

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

性別は「女」が 54.4%、「男」が 42.4%、「答えたくない」が 2.1%となっています。



【n=377】

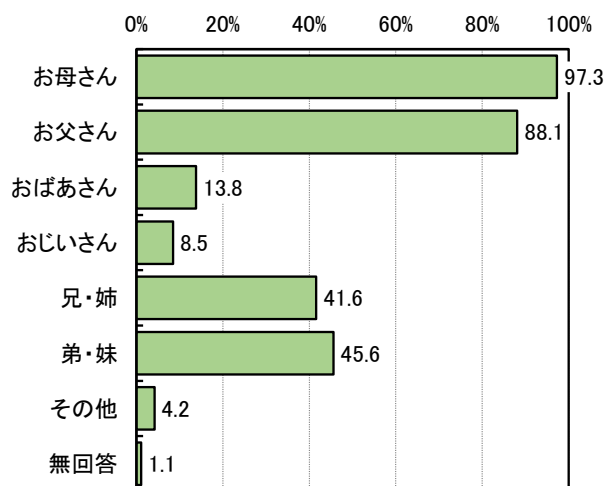
No.	選択肢	件数	%
1	男	160	42.4
2	女	205	54.4
3	その他	4	1.1
4	答えたくない	8	2.1
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

(3)同居している家族

問2 現在、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

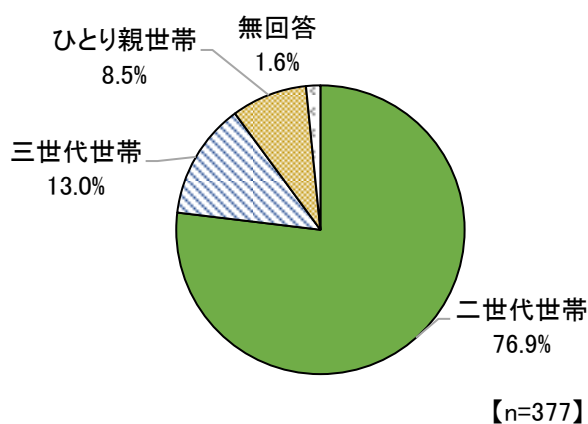
同居する家族の内訳は、「お母さん」が 97.3%で最も多く、次いで、「お父さん」が 88.1%、「弟・妹」が 45.6%、「兄・姉」が 41.6%となっています。

【n=377】



No.	選択肢	件数	%
1	お母さん	367	97.3
2	お父さん	332	88.1
3	おばあさん	52	13.8
4	おじいさん	32	8.5
5	兄・姉	157	41.6
6	弟・妹	172	45.6
7	その他	16	4.2
	無回答	4	1.1
	合計	377	100.0

また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は、「二世代会世帯」が最も高くなっている。



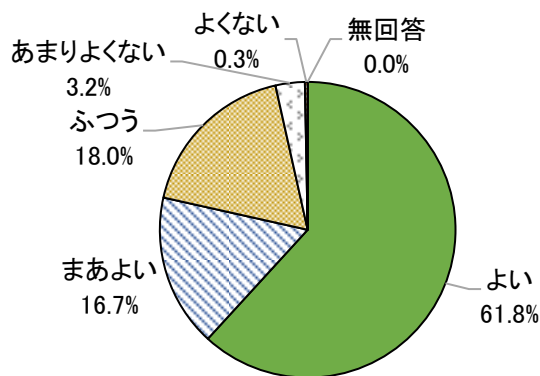
No.	選択肢	件数	%
1	二世代会世帯	290	76.9
2	三代会世帯	49	13.0
3	ひとり親世帯	32	8.5
	無回答	6	1.6
	合計	377	100.0

世帯	同居する家族
二世代会世帯	お母さん、お父さん、兄・姉、弟・妹、その他(ペットなど)
三代会世帯	お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)
ひとり親家庭	お母さん/お父さんのいずれか、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)

(4)健康状態

問3 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、よいと回答した割合(「よい」と「まあよい」の合計)が 78.5%となっています。



【n=377】

No.	選択肢	件数	%
1	よい	233	61.8
2	まあよい	63	16.7
3	ふつう	68	18.0
4	あまりよくない	12	3.2
5	よくない	1	0.3
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×健康状態】

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「よい」と回答した割合は低くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	377	233	63	68	12	1	0
	100.0	61.8	16.7	18.0	3.2	0.3	0.0
いる	33	17	8	6	1	1	0
	100.0	51.5	24.2	18.2	3.0	3.0	0.0
いない	344	216	55	62	11	0	0
	100.0	62.8	16.0	18.0	3.2	0.0	0.0

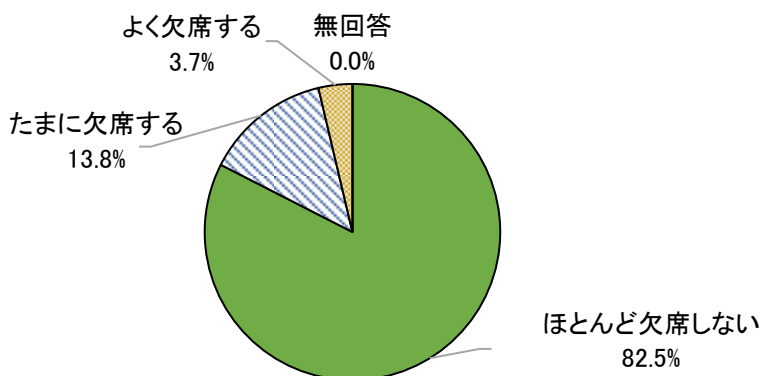
Ⅱ. ふだんの生活について

(1) 学校の出席状況について

問4 学校への通学状況について教えてください。

欠席について(あてはまる番号1つに○)

学校の出席状況については、「ほとんど欠席しない」が 82.5%で最も多く、「たまに欠席する」が 13.8%、「よく欠席する」が 3.7%となっています。



【n=377】

No.	選択肢	件数	%
1	ほとんど欠席しない	311	82.5
2	たまに欠席する	52	13.8
3	よく欠席する	14	3.7
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×出席の状況】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっています。

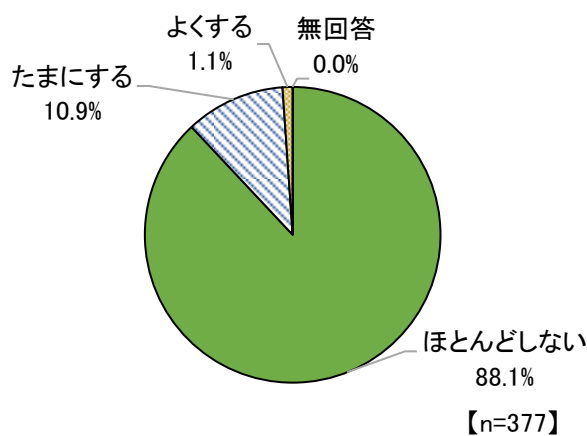
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
全体	377	311	52	14	0
	100.0	82.5	13.8	3.7	0.0
いる	33	26	5	2	0
	100.0	78.8	15.2	6.1	0.0
いない	344	285	47	12	0
	100.0	82.8	13.7	3.5	0.0

(2)学校の遅刻や早退について

問5 学校への通学状況について教えてください。

遅刻や早退について(あてはまる番号1つに○)

学校の遅刻や早退については、「ほとんどしない」が88.1%で最も多くなっています。



No.	選択肢	件数	%
1	ほとんどしない	332	88.1
2	たまにする	41	10.9
3	よくする	4	1.1
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況】

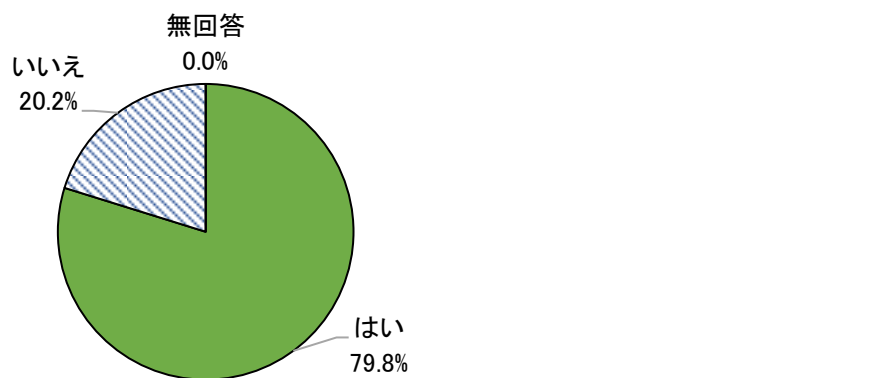
お世話をしている家族がいる場合、いない場合で大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど しない	たまに する	よくする	無回答
全体	377 100.0	332 88.1	41 10.9	4 1.1	0 0.0
いる	33 100.0	30 90.9	3 9.1	0 0.0	0 0.0
いない	344 100.0	302 87.8	38 11.0	4 1.2	0 0.0

(3) 習い事の状況

問6 放課後、習い事などをしてますか。(あてはまる番号1つに○)

放課後の習い事の状況は、79.8%が習い事などしていると回答しています。



【n=377】

No.	選択肢	件数	%
1	はい	301	79.8
2	いいえ	76	20.2
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×習い事の状況】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合で大きな差はみられませんでした。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体	377 100.0	301 79.8	76 20.2	0 0.0
いる	33 100.0	27 81.8	6 18.2	0 0.0
いない	344 100.0	274 79.7	70 20.3	0 0.0

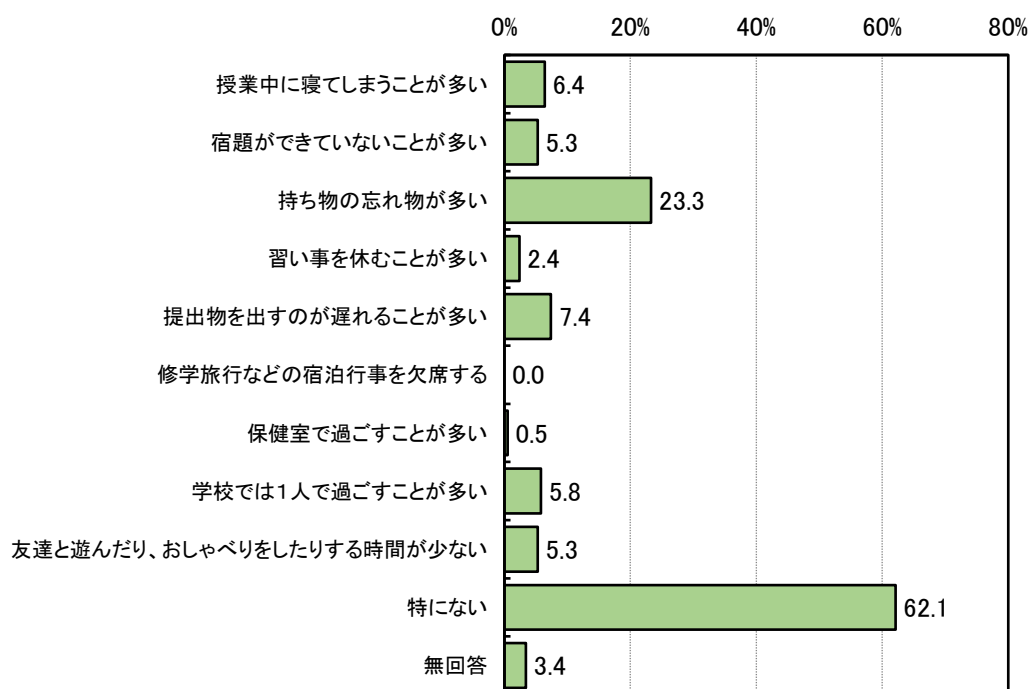
(4)ふだんの学校生活等であてはまること

問7 ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

ふだんの学校生活等であてはまることについては、「持ち物の忘れ物が多い」(23.3%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(7.4%)、「授業中に寝てしまうことが多い」(6.4%)などが挙げられています。

また、「特にない」は62.1%で最も多くなっています。

【n=377】



No.	選択肢	件数	%
1	授業中に寝てしまうことが多い	24	6.4
2	宿題ができていないことが多い	20	5.3
3	持ち物の忘れ物が多い	88	23.3
4	習い事を休むことが多い	9	2.4
5	提出物を出すのが遅れることが多い	28	7.4
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	0	0.0
7	保健室で過ごすことが多い	2	0.5
8	学校では1人で過ごすことが多い	22	5.8
9	友達と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない	20	5.3
10	特にない	234	62.1
	無回答	13	3.4
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等であてはまること】

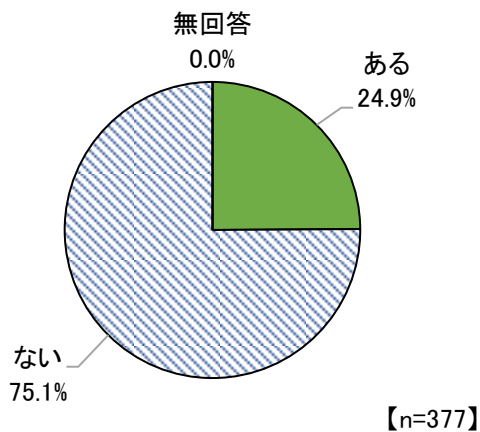
お世話をしている家族がいる場合、いない場合ともに、「持ち物の忘れ物が多い」、「習い事を休むことが多い」、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習い事を休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりをする時間が少ない	特にない	無回答
全体	377 100.0	24 6.4	20 5.3	88 23.3	9 2.4	28 7.4	0 0.0	2 0.5	22 5.8	20 5.3	234 62.1	13 3.4
いる	33 100.0	1 3.0	2 6.1	9 27.3	2 6.1	2 6.1	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	20 60.6	1 3.0
いない	344 100.0	23 6.7	18 5.2	79 23.0	7 2.0	26 7.6	0 0.0	2 0.6	21 6.1	20 5.8	214 62.2	12 3.5

(5)現在の悩み

問8 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号1つに○)

現在の悩みについては、「ある」が24.9%、「ない」が75.1%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	ある	94	24.9
2	ない	283	75.1
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×現在の悩み】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「ある」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	377	94	283	0
	100.0	24.9	75.1	0.0
いる	33	16	17	0
	100.0	48.5	51.5	0.0
いない	344	78	266	0
	100.0	22.7	77.3	0.0

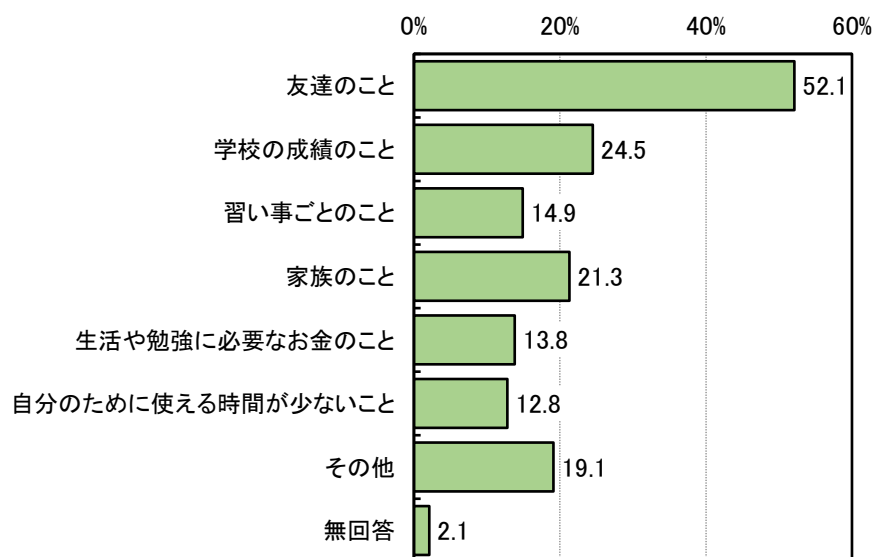
(6)悩みの内容

問8-1 問8で「1 ある」と回答した人にお聞きします。

どのようなことに悩んでいますか。(あてはまる番号すべてに○)

悩みがあると回答した人に、どのようなことで悩んでいるかを聞いたところ、「友達のこと」が 52.1%で最も多く、次いで、「学校の成績のこと」が 24.5%、「家族のこと」が 21.3%となっています。

【n=94】



No.	選択肢	件数	%
1	友達のこと	49	52.1
2	学校の成績のこと	23	24.5
3	習い事ごとのこと	14	14.9
4	家族のこと	20	21.3
5	生活や勉強に必要なお金のこと	13	13.8
6	自分のために使える時間が少ないこと	12	12.8
7	その他	18	19.1
	無回答	2	2.1
	合計	94	100.0

【お世話をしている家族の有無×現在の悩みや困りごと】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「学校の成績のこと」、「家族のこと」と回答した割合が他に比べ高くなっています。

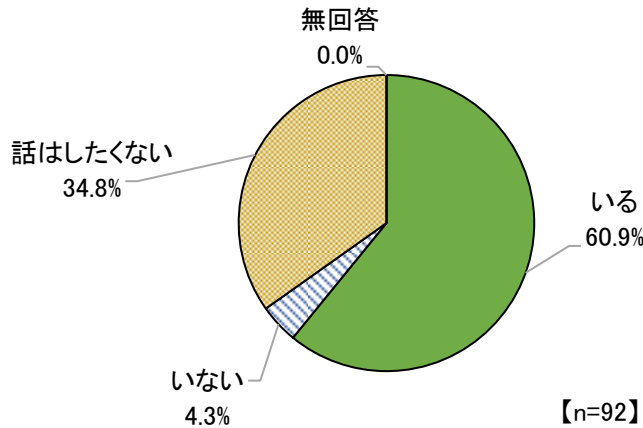
上段:件数 下段:%	回 答 者 数 (人)	友 達 の こ と	学 校 の 成 績 の こ と	習 い 事 ご と の こ と	家 族 の こ と	お 生 活 の こ と 強 に 必 要 な	時 間 が 少 な い こ と	自 分 の た め に 使 え る	そ の 他	無 回 答
全体	94 100.0	49 52.1	23 24.5	14 14.9	20 21.3	13 13.8	12 12.8	18 19.1	2 2.1	
いる	16 100.0	8 50.0	4 25.0	2 12.5	4 25.0	1 6.3	1 6.3	3 18.8	0 0.0	
いない	78 100.0	41 52.6	19 24.4	12 15.4	16 20.5	12 15.4	11 14.1	15 19.2	2 2.6	

(7) 悩みを聞いてくれる人の有無

問9 問8-1でどれかに○をつけた人にお聞きします。

○をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

悩みがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「いる」が60.9%、「いない」が4.3%、「話はしたくない」が34.8%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	いる	56	60.9
2	いない	4	4.3
3	話はしたくない	32	34.8
	無回答	0	0.0
	合計	92	100.0

【お世話をしている家族の有無×悩みを聞いてくれる人の有無】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合で大きな差はみられませんでした。

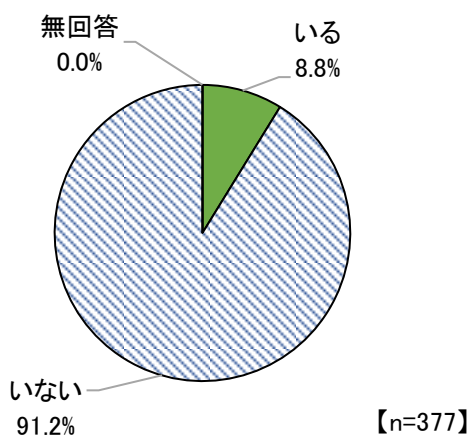
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	いる	いない	話はした くない	無回答
全体	92	56	4	32	0
	100.0	60.9	4.3	34.8	0.0
いる	16	10	1	5	0
	100.0	62.5	6.3	31.3	0.0
いない	76	46	3	27	0
	100.0	60.5	3.9	35.5	0.0

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

(1)お世話をしている家族の有無

問 10 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)
 ※ここでの「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。
 動物などペットのお世話は含まれません。

自分がお世話をしている家族がいると回答した人の割合は、8.8%(33人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	いる	33	8.8
2	いない	344	91.2
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【家族構成×お世話している家族の有無】

家族構成別でお世話を必要としている家族をみると、三世代世帯は「いる」最も高くなっている。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	377 100.0	33 8.8	344 91.2	0 0.0
二世帯世帯	290 100.0	24 8.3	266 91.7	0 0.0
三世代世帯	49 100.0	7 14.3	42 85.7	0 0.0
ひとり親世帯	32 100.0	2 6.3	30 93.8	0 0.0

【家族構成×お世話をしている家族】

家族構成別でお世話を必要としている家族をみると、二世帯世帯は「きょうだい」、ひとり親家庭では「お母さん、お父さん」、「きょうだい」が同率で最も高くなっており、三世帯世帯は「おばあさん、おじいさん」、「きょうだい」が高くなっています。

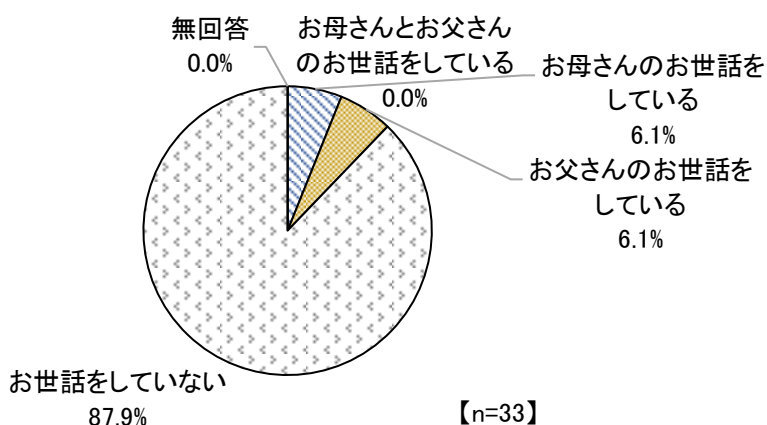
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	お母さん、 お父さん	おばあさん、 おじいさん	きょうだい	お世話をして いない	無回答
全体	33 100.0	4 12.1	6 18.2	25 75.8	3 9.1	0 0.0
二世帯世帯	24 100.0	2 8.3	3 12.5	20 83.3	3 12.5	0 0.0
三世帯世帯	7 100.0	1 14.3	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0
ひとり親世帯	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

(2)お世話をしている家族の状況(父母)

問 11 問 10 で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたは、お母さん、お父さんのお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

お母さん、お父さんのお世話をしている人の割合(「お母さんのお世話をしている」、「お父さんのお世話をしている」、「お母さんとお父さんのお世話をしている」の合計)は12.2%(4人)となっています。内訳は「お母さんのお世話をしている」、「お父さんのお世話をしている」がともに各2人ずつとなっています。

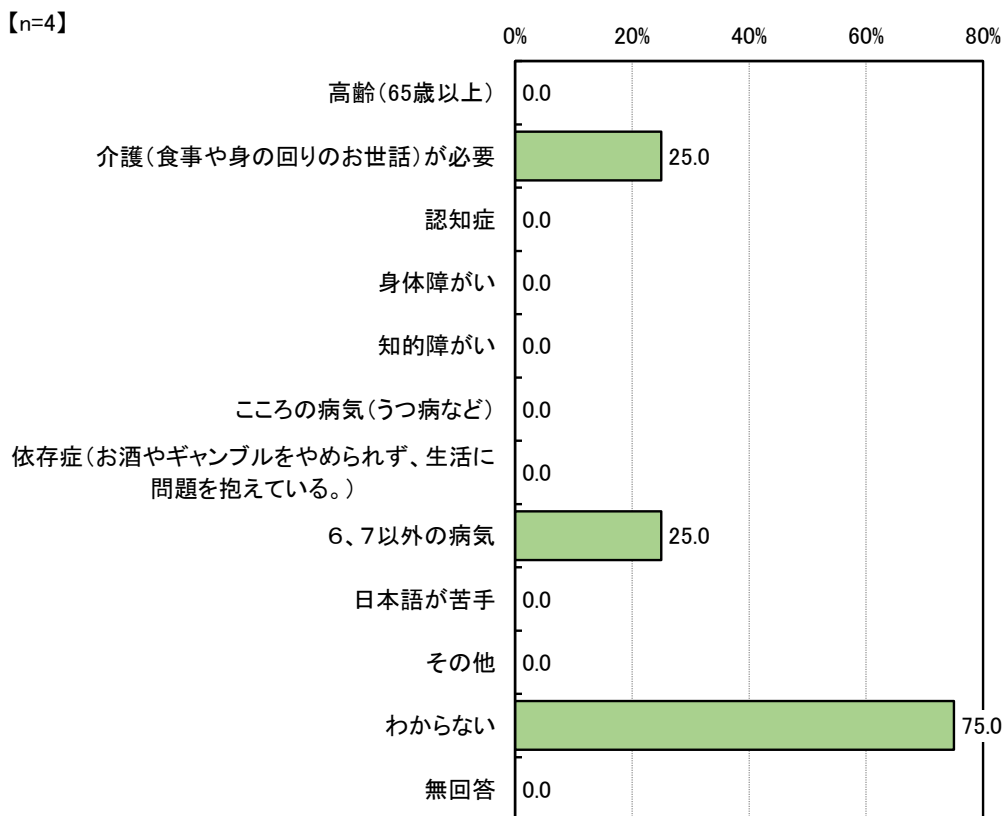


No.	選択肢	件数	%
1	お母さんとお父さんのお世話をしている	0	0.0
2	お母さんのお世話をしている	2	6.1
3	お父さんのお世話をしている	2	6.1
4	お世話をしていない	29	87.9
	無回答	0	0.0
	合計	33	100.0

(3)お世話をしている理由(父母)

問 11-1 問 11 で「1. お母さん・お父さん」、「2. お母さん」、「3. お父さん」のお世話をしている人にお聞きします。
それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お母さん、お父さんのお世話をしていると回答した人にその理由を聞いたところ、「介護(食事や身の回りのお世話)が必要」、「6、7以外の病気」がともに25.0%(1人)となっています。また、「わからない」は75.0%(3人)となっています。



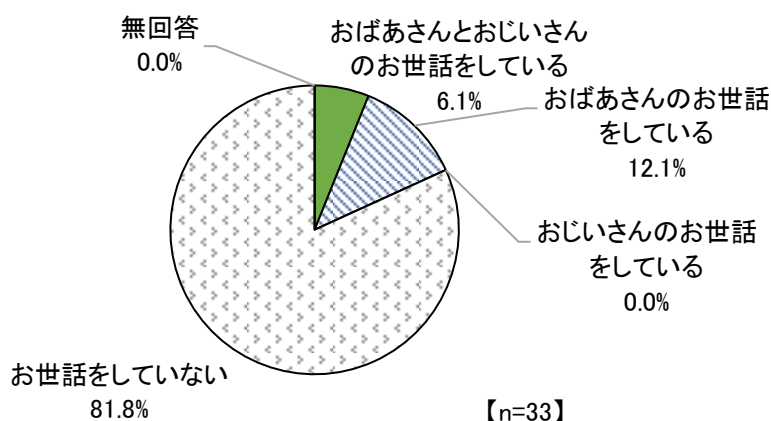
No.	選択肢	件数	%
1	高齢(65歳以上)	0	0.0
2	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	1	25.0
3	認知症	0	0.0
4	身体障がい	0	0.0
5	知的障がい	0	0.0
6	こころの病気(うつ病など)	0	0.0
7	依存症(お酒やギャンブルをやめられず、生活に問題を抱えている。)	0	0.0
8	6、7以外の病気	1	25.0
9	日本語が苦手	0	0.0
10	その他	0	0.0
11	わからない	3	75.0
	無回答	0	0.0
	合計	4	100.0

(4)お世話をしている家族の状況(祖父母)

問12 問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたは、おばあさん・おじいさんのお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

おばあさん・おじいさんのお世話をしている人の割合(「おばあさんのお世話をしている」、「おじいさんのお世話をしている」、「おばあさんとおじいさんのお世話をしている」の合計)は、18.2%(6人)となっています。内訳は「おばあさんのお世話をしている」が12.1%(4人)、「おばあさんとおじいさんのお世話をしている」が6.1%(2人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	おばあさんとおじいさんのお世話をしている	2	6.1
2	おばあさんのお世話をしている	4	12.1
3	おじいさんのお世話をしている	0	0.0
4	お世話をしていない	27	81.8
	無回答	0	0.0
	合計	33	100.0

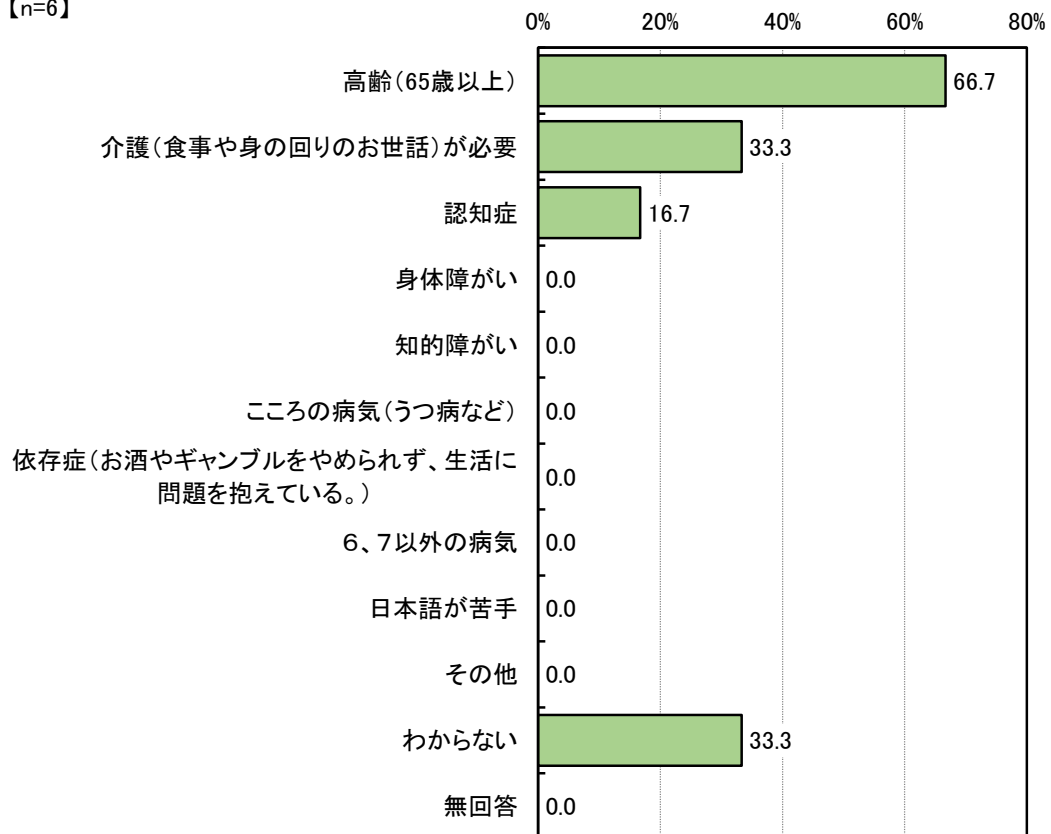
(5)お世話をしている理由(祖父母)

問 12-1 問 12 で「1. おばあさん・おじいさん」、「2. おばあさん」、「3. おじいさん」のお世話をしている人にお聞きします。

それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

おばあさん、おじいさんのお世話をしていると回答した人にその理由を聞いたところ「高齢(65歳以上)」が 66.7%(4人)、「介護(食事や身の回りのお世話)が必要」が 33.3%(2人)、「認知症」が 16.7%(1人)となっています。また、「わからない」は 33.3%(2人)となっています。

【n=6】



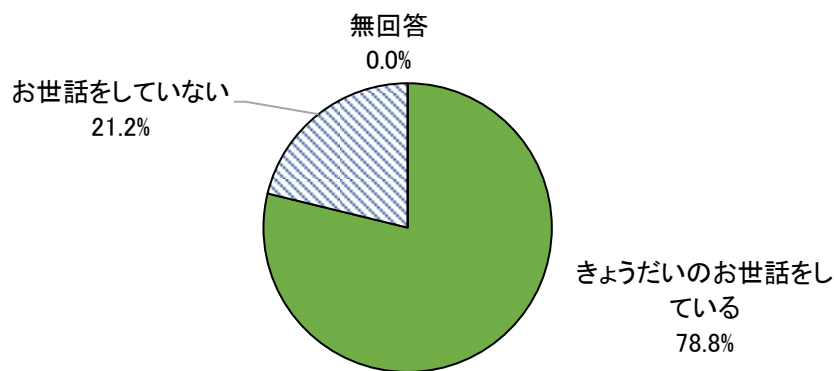
No.	選択肢	件数	%
1	高齢（65歳以上）	4	66.7
2	介護（食事や身の回りのお世話）が必要	2	33.3
3	認知症	1	16.7
4	身体障がい	0	0.0
5	知的障がい	0	0.0
6	こころの病気（うつ病など）	0	0.0
7	依存症（お酒やギャンブルをやめられず、生活に問題を抱えている。）	0	0.0
8	6、7以外の病気	0	0.0
9	日本語が苦手	0	0.0
10	その他	0	0.0
11	わからない	2	33.3
	無回答	0	0.0
	合計	6	100.0

(6)お世話をしている家族の状況(きょうだい)

問 13 問 10 で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

あなたは、きょうだいのお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

きょうだいのお世話をしている割合は、78.8%(26人)となっています。



【n=33】

No.	選択肢	件数	%
1	きょうだいのお世話をしている	26	78.8
2	お世話をしていない	7	21.2
	無回答	0	0.0
	合計	33	100.0

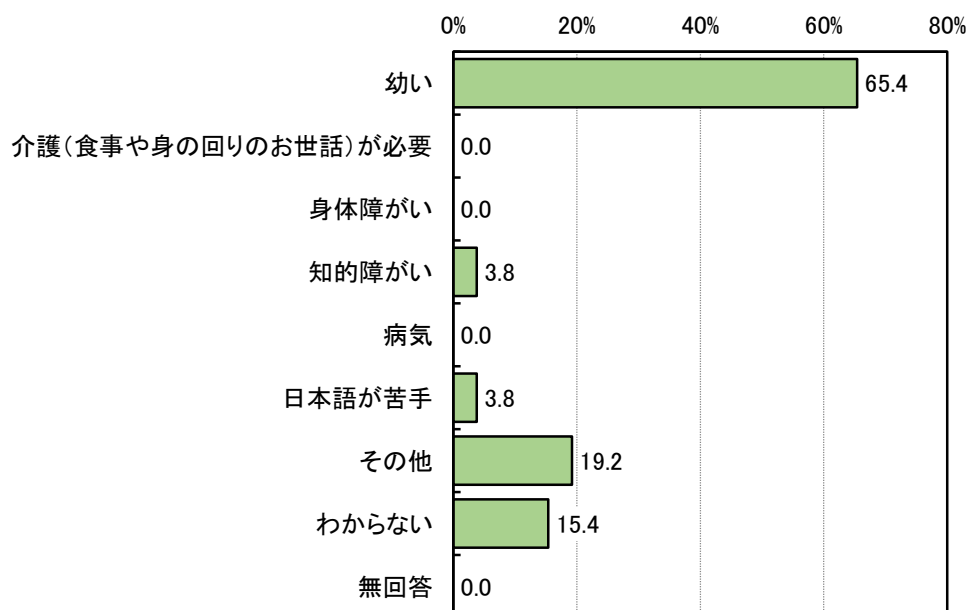
(7)お世話をしている理由(きょうだい)

問 13-1 問 13 で「1. きょうだい」のお世話をしている人にお聞きします。

それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

きょうだいのお世話をしていると回答した人にその理由を聞いたところ、「幼い」が65.4%で最も多く、次いで「知的障がい」、「日本語が苦手」がともに3.8%となっています。また「その他」は19.2%、「わからない」は15.4%となっています。

【n=26】



No.	選択肢	件数	%
1	幼い	17	65.4
2	介護(食事や身の回りのお世話)が必要	0	0.0
3	身体障がい	0	0.0
4	知的障がい	1	3.8
5	病気	0	0.0
6	日本語が苦手	1	3.8
7	その他	5	19.2
8	わからない	4	15.4
	無回答	0	0.0
	合計	26	100.0

(8)お世話をしている家族の状況(その他の方)

問 14 問 10 で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

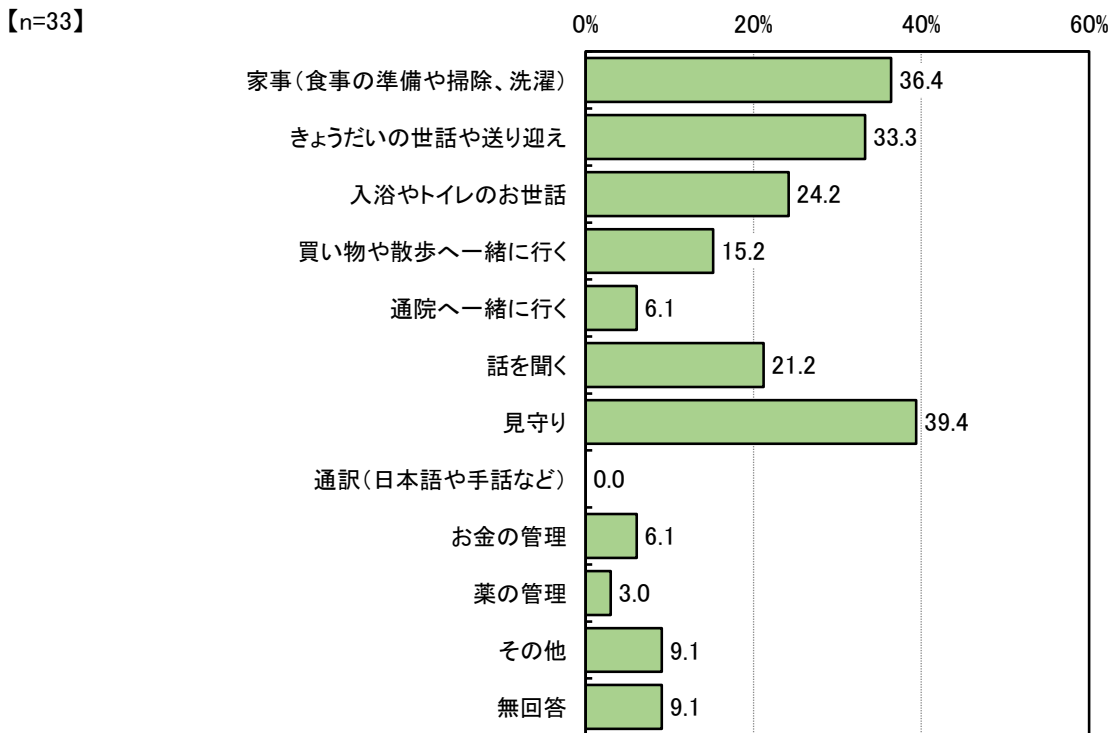
あなたは、その他の方のお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

その他の方のお世話をしていると回答した人はいませんでした。

(9)お世話をしている内容

問 15 あなたはどのようなお世話をしていますか。
 お世話をしている人が何人かいる場合は、あてはまる番号すべてに○をしてください。

お世話の内容については、「見守り」が39.4%で最も多く、次いで、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が36.4%、「きょうだいの世話や送り迎え」が33.3%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	12	36.4
2	きょうだいの世話や送り迎え	11	33.3
3	入浴やトイレのお世話	8	24.2
4	買い物や散歩へ一緒に行く	5	15.2
5	通院へ一緒に行く	2	6.1
6	話を聞く	7	21.2
7	見守り	13	39.4
8	通訳(日本語や手話など)	0	0.0
9	お金の管理	2	6.1
10	薬の管理	1	3.0
11	その他	3	9.1
	無回答	3	9.1
	合計	33	100.0

【お世話をしている家族×お世話の内容】

お世話の内容については、お世話を必要としている家族が「お母さん、お父さん」では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も高くなっています。

「おばあさん、おじいさん」では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が高くなっています。

「きょうだい」では、「見守り」、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「きょうだいの世話や送り迎え」が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	掃除、洗濯 (食事の準備や)	送り迎え (世話や)	きょうだいの世話	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩へ一緒に行く	通院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	など (日本語や手話)	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	33 100.0	12 36.4	11 33.3	8 24.2	5 15.2	2 6.1	7 21.2	13 39.4	0 0.0	2 6.1	1 3.0	3 9.1	3 9.1		
お母さん、 お父さん	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
おばあさん、 おじいさん	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0		
きょうだい	25 100.0	10 40.0	10 40.0	7 28.0	4 16.0	2 8.0	5 20.0	12 48.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0		
お世話をして いない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7		

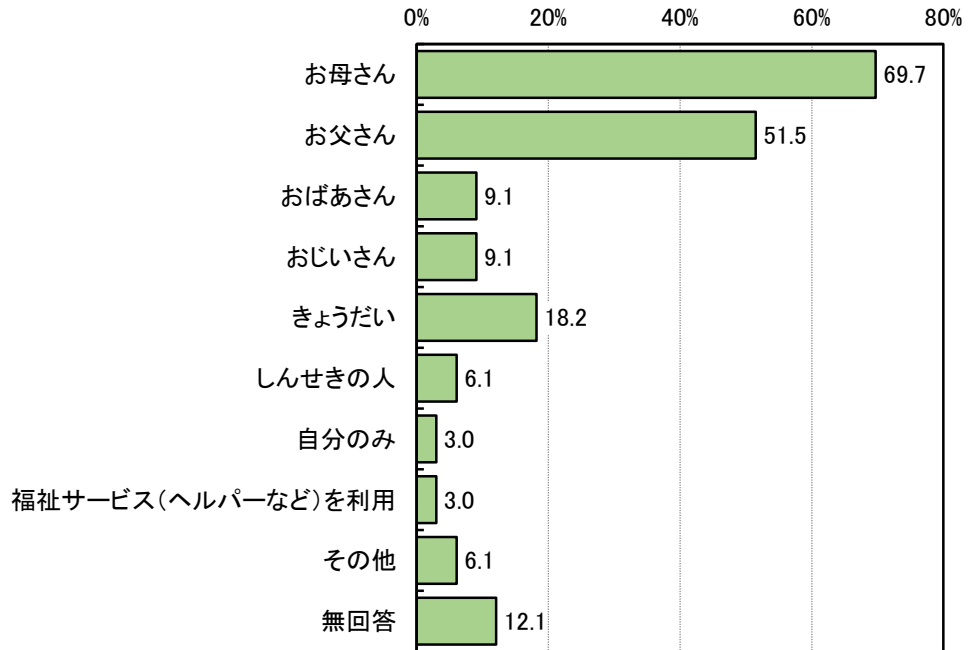
(10)お世話を一緒にしている人

問 16 あなたは、お世話を誰と一緒にしていますか。

何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるすべてに○をしてください。

お世話を一緒にしている人は、「お母さん」が 69.7%で最も多く、次いで、「お父さん」が 51.5%、「きょうだい」が 18.2%となっています。

【n=33】



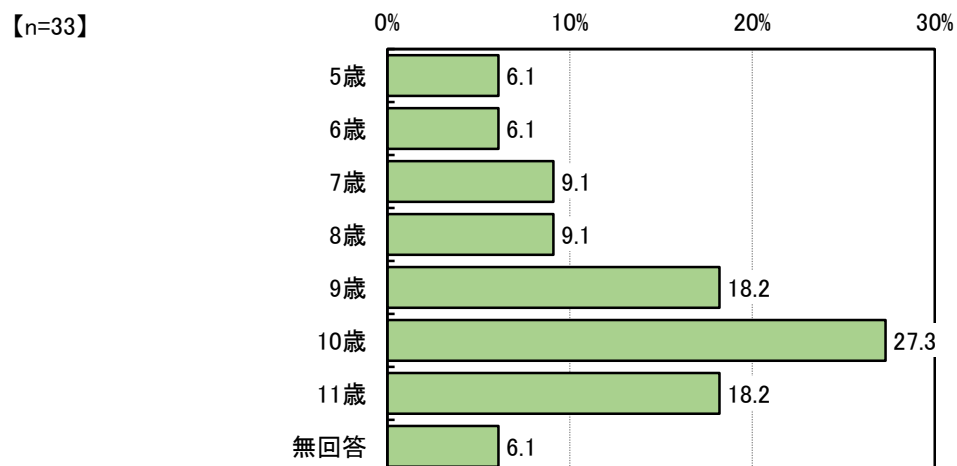
No.	選択肢	件数	%
1	お母さん	23	69.7
2	お父さん	17	51.5
3	おばあさん	3	9.1
4	おじいさん	3	9.1
5	きょうだい	6	18.2
6	しんせきの人	2	6.1
7	自分のみ	1	3.0
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	1	3.0
9	その他	2	6.1
	無回答	4	12.1
	合計	33	100.0

(11)お世話をはじめた年齢

問 17 あなたは、何才からお世話をしていますか。

(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)

お世話をはじめた年齢は、「10歳」が27.3%で最も多く、次いで、「9歳」と「11歳」がともに18.2%となっています。

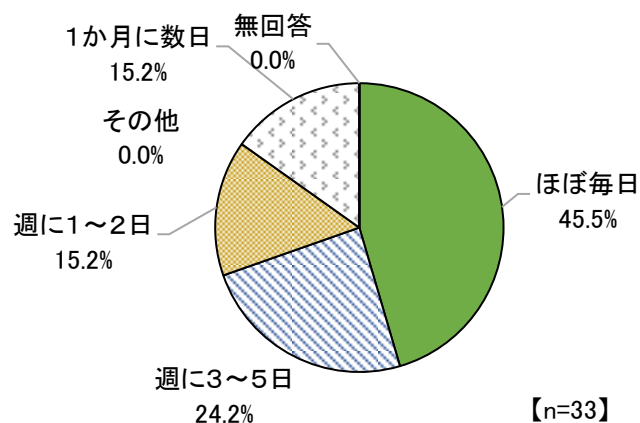


No.	選択肢	件数	%
1	5歳	2	6.1
2	6歳	2	6.1
3	7歳	3	9.1
4	8歳	3	9.1
5	9歳	6	18.2
6	10歳	9	27.3
7	11歳	6	18.2
	無回答	2	6.1
	合計	33	100.0

(12)お世話をしている頻度

問 18 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度は、「ほぼ毎日」が 45.5%で最も多く、次いで、「週に3～5日」が 24.2%、「週に1～2日」が 15.2%となっています。



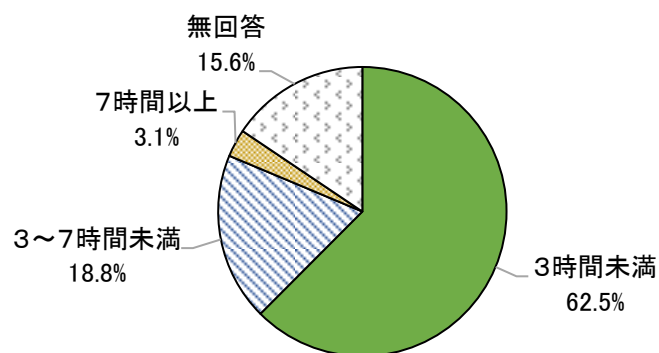
No.	選択肢	件数	%
1	ほぼ毎日	15	45.5
2	週に3～5日	8	24.2
3	週に1～2日	5	15.2
4	1か月に数日	5	15.2
5	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	33	100.0

(13)お世話をしている時間

問 19 あなたは平日に何時間くらいお世話をしていますか。

(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください。)

お世話をしている時間は、「3時間未満」が 62.5%で最も多く、次いで、「3～7時間未満」が 18.8%、「7時間以上」が 3.1%となっています。



【n=32】

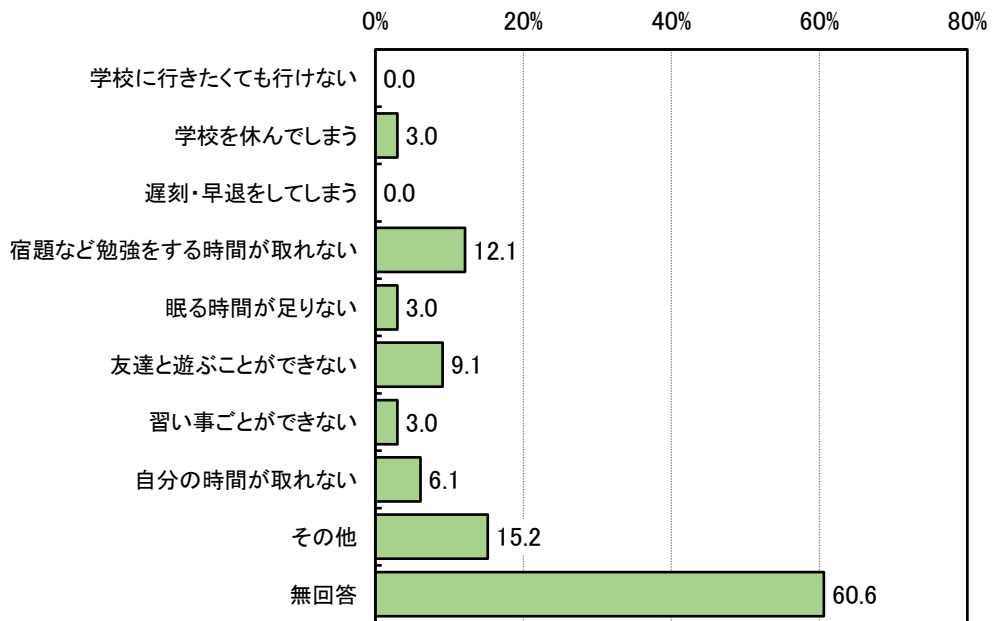
No.	選択肢	件数	%
1	3時間未満	20	62.5
2	3～7時間未満	6	18.8
3	7時間以上	1	3.1
	無回答	5	15.6
	合計	32	100.0

(14)お世話をしていることで経験したこと

問 20 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

お世話をしていることで経験したことについては、「宿題など勉強をする時間が取れない」(12.1%)、「友達と遊ぶことができない」(9.1%)、「自分の時間がとれない」(6.1%)などが挙げられています。

【n=33】



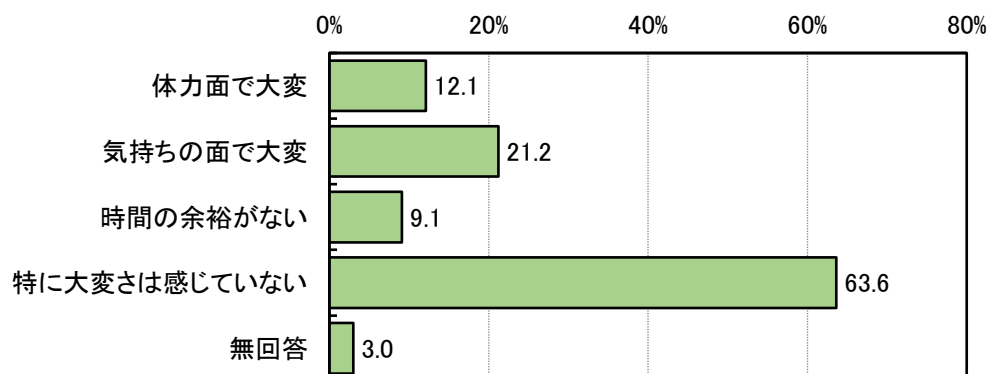
No.	選択肢	件数	%
1	学校に行きたくても行けない	0	0.0
2	学校を休んでしまう	1	3.0
3	遅刻・早退をしてしまう	0	0.0
4	宿題など勉強をする時間が取れない	4	12.1
5	眠る時間が足りない	1	3.0
6	友達と遊ぶことができない	3	9.1
7	習い事ごとができない	1	3.0
8	自分の時間が取れない	2	6.1
9	その他	5	15.2
	無回答	20	60.6
	合計	33	100.0

(15)お世話の大変さ

問 21 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をすることに感じている大変さについては、「特に大変さは感じていない」が63.6%で最も多くなっていますが、「気持ちの面で大変」が21.2%、「体力面で大変」が12.1%、「時間の余裕がない」が9.1%となっています。

【n=33】

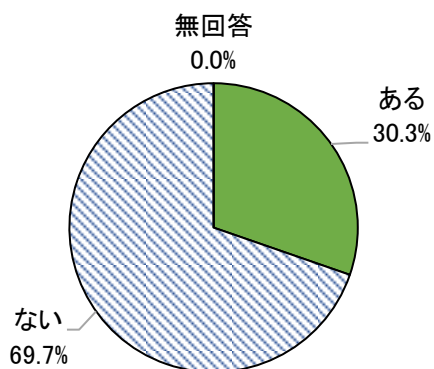


No.	選択肢	件数	%
1	体力面で大変	4	12.1
2	気持ちの面で大変	7	21.2
3	時間の余裕がない	3	9.1
4	特に大変さは感じていない	21	63.6
	無回答	1	3.0
	合計	33	100.0

(16)お世話について相談した経験

問 22 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ある」が 30.3%、「ない」が 69.7%となっています。



【n=33】

No.	選択肢	件数	%
1	ある	10	30.3
2	ない	23	69.7
	無回答	0	0.0
	合計	33	100.0

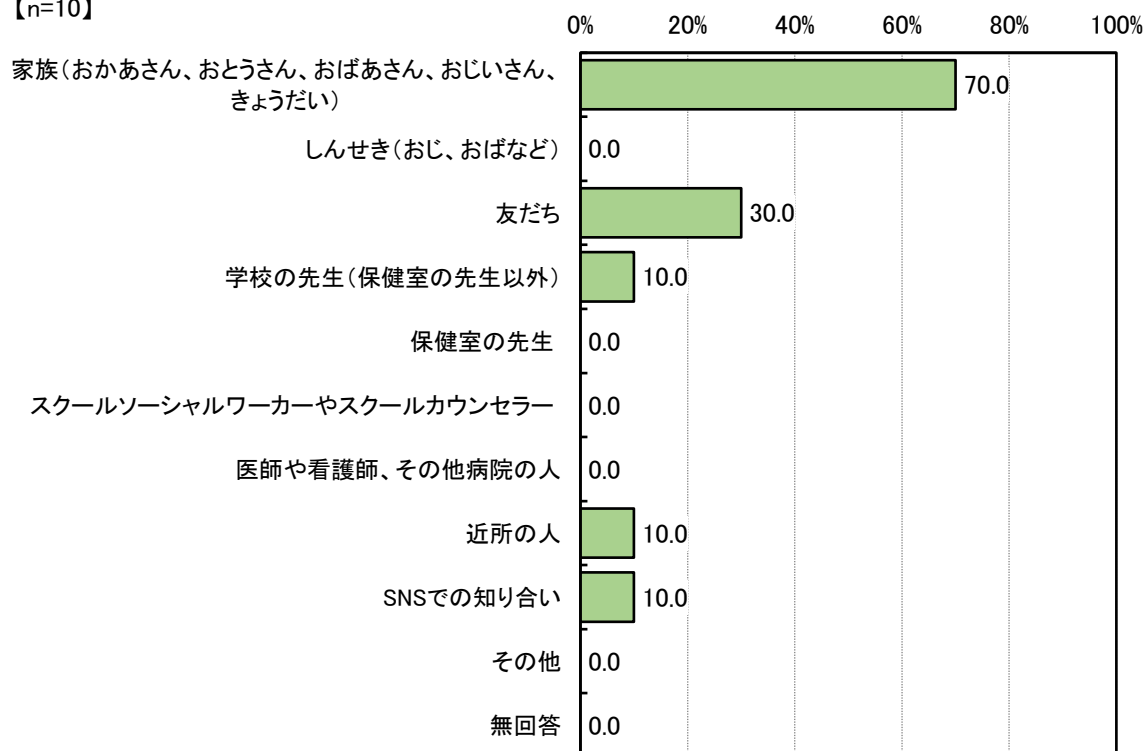
(17)お世話についての相談相手

問 23 問 22 で「1. ある」と回答した人にお聞きします。

それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「家族(おかあさん、おとうさん、おばあさん、おじいさん、きょうだい)」が70.0%で最も多く、次いで、「友だち」が30.0%となっています。

【n=10】

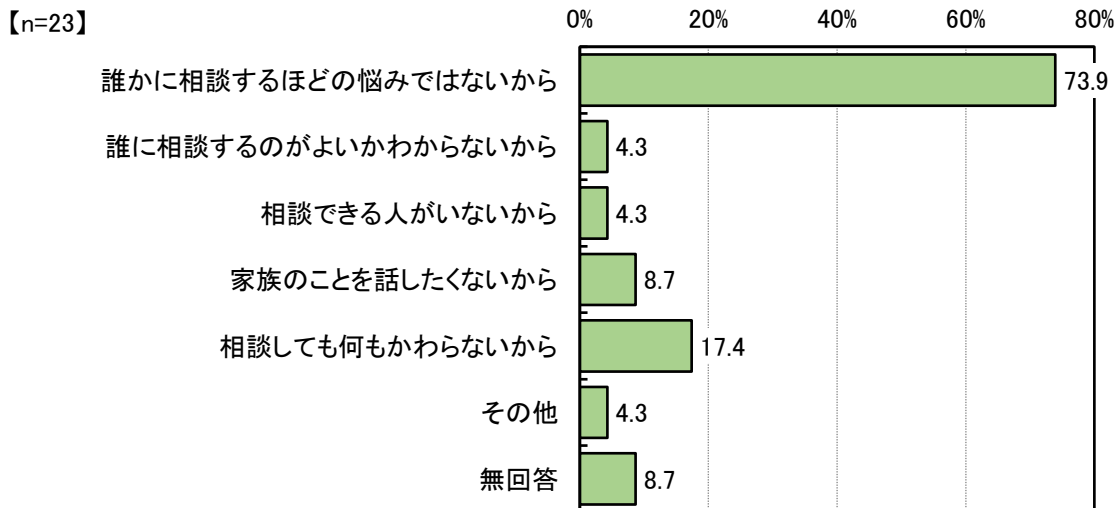


No.	選択肢	件数	%
1	家族(おかあさん、おとうさん、おばあさん、おじいさん、きょうだい)	7	70.0
2	しんせき(おじ、おばなど)	0	0.0
3	友だち	3	30.0
4	学校の先生(保健室の先生以外)	1	10.0
5	保健室の先生	0	0.0
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0	0.0
7	医師や看護師、その他病院の人	0	0.0
8	近所の人	1	10.0
9	SNSでの知り合い	1	10.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	10	100.0

(18)お世話について相談したことがない理由

問 24 問 22 で「2. ない」と回答した人にお聞きます。
 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではないから」が 73.9%で最も多く、次いで、「相談しても何もかわらないから」が 17.4%、「家族のことを話したくないから」が 8.7%となっています。



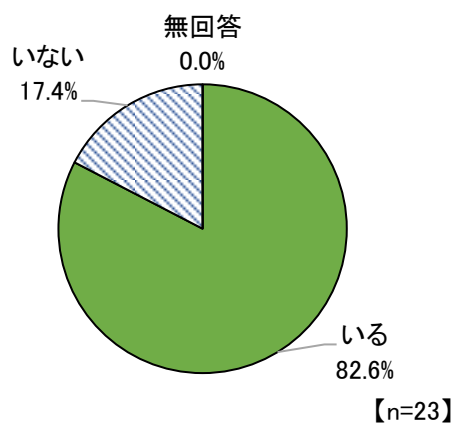
No.	選択肢	件数	%
1	誰かに相談するほどの悩みではないから	17	73.9
2	誰に相談するのがよいかわからないから	1	4.3
3	相談できる人がいないから	1	4.3
4	家族のことを話したくないから	2	8.7
5	相談しても何もかわらないから	4	17.4
6	その他	1	4.3
	無回答	2	8.7
	合計	23	100.0

(19)お世話について話を聞いてくれる人の有無

問 25 問 22 で「2. ない」と回答した人にお聞きします。

あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、お世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が82.6%、「いない」が17.4%となっています。



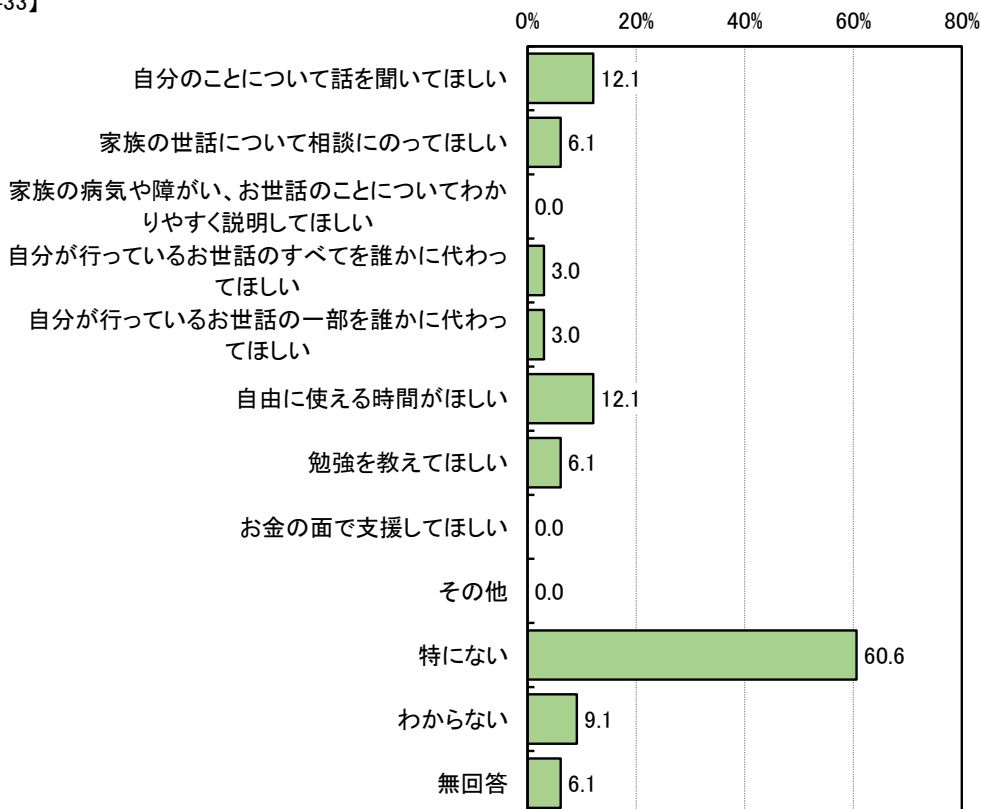
No.	選択肢	件数	%
1	いる	19	82.6
2	いない	4	17.4
	無回答	0	0.0
	合計	23	100.0

(20)学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 26 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」が同率で 12.1%、次いで、「家族の世話について相談にのってほしい」、「勉強を教えてほしい」がともに 6.1%などが挙げられています。また、「特にない」は 60.6%で最も多くなっています。

【n=33】

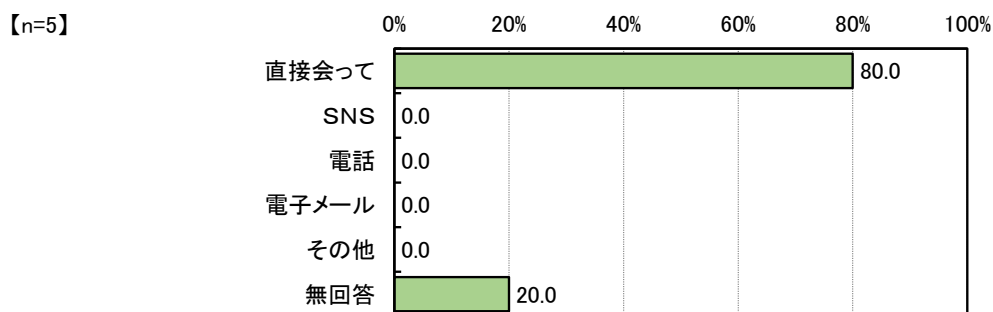


No.	選択肢	件数	%
1	自分のことについて話を聞いてほしい	4	12.1
2	家族の世話について相談にのってほしい	2	6.1
3	家族の病気や障がい、お世話のことについてわかりやすく説明してほしい	0	0.0
4	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	1	3.0
5	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	1	3.0
6	自由に使える時間がほしい	4	12.1
7	勉強を教えてほしい	2	6.1
8	お金の面で支援してほしい	0	0.0
9	その他	0	0.0
10	特にない	20	60.6
11	わからない	3	9.1
	無回答	2	6.1
	合計	33	100.0

(21)希望する相談の手段

問 27 問 26 で「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

問26で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」が80.0%(4人)で最も多くなっています。



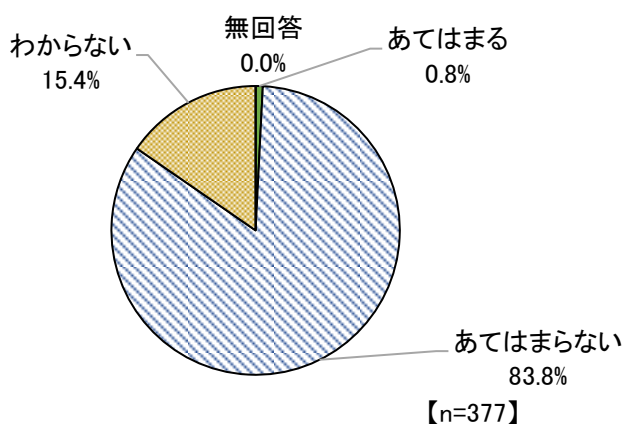
No.	選択肢	件数	%
1	直接会って	4	80.0
2	S N S	0	0.0
3	電話	0	0.0
4	電子メール	0	0.0
5	その他	0	0.0
	無回答	1	20.0
	合計	5	100.0

IV. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自覚

問 28 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまる番号1つに○)

自分が「ヤングケアラー」にあてはまると感じるかを聞いたところ、「あてはまる」と回答した人は 0.8%(3人)となっています。一方、「あてはまらない」は 83.8%、「わからない」は 15.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	あてはまる	3	0.8
2	あてはまらない	316	83.8
3	わからない	58	15.4
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

【お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーの自覚】

お世話をしている家族の有無別で見ると、「いる」と回答した人の中で「あてはまる」と回答した人は 3.0%(1人)いました。

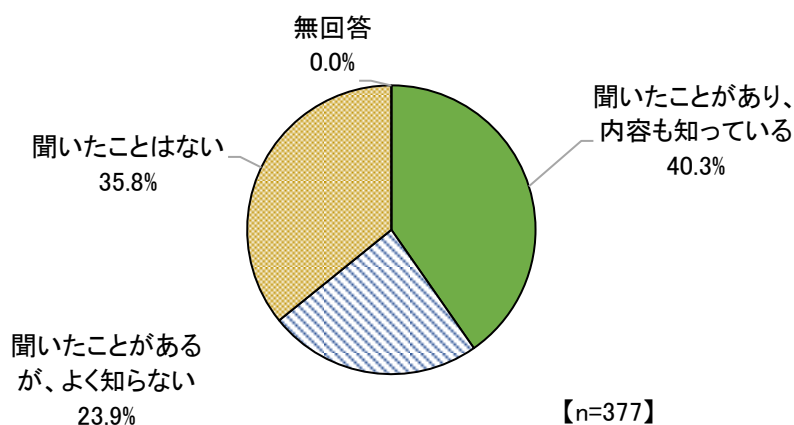
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	あてはま る	あてはま らない	わからな い	無回答
全体	377 100.0	3 0.8	316 83.8	58 15.4	0 0.0
いる	33 100.0	1 3.0	17 51.5	15 45.5	0 0.0
いない	344 100.0	2 0.6	299 86.9	43 12.5	0 0.0

(2) ヤングケアラーの認知度

問 29 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、「聞いたことがあります、内容も知っている」が40.3%で最も多く、「聞いたことがあるが、よく知らない」(23.9%)と合わせると64.2%となっています。一方、「聞いたことはない」は35.8%となっています。



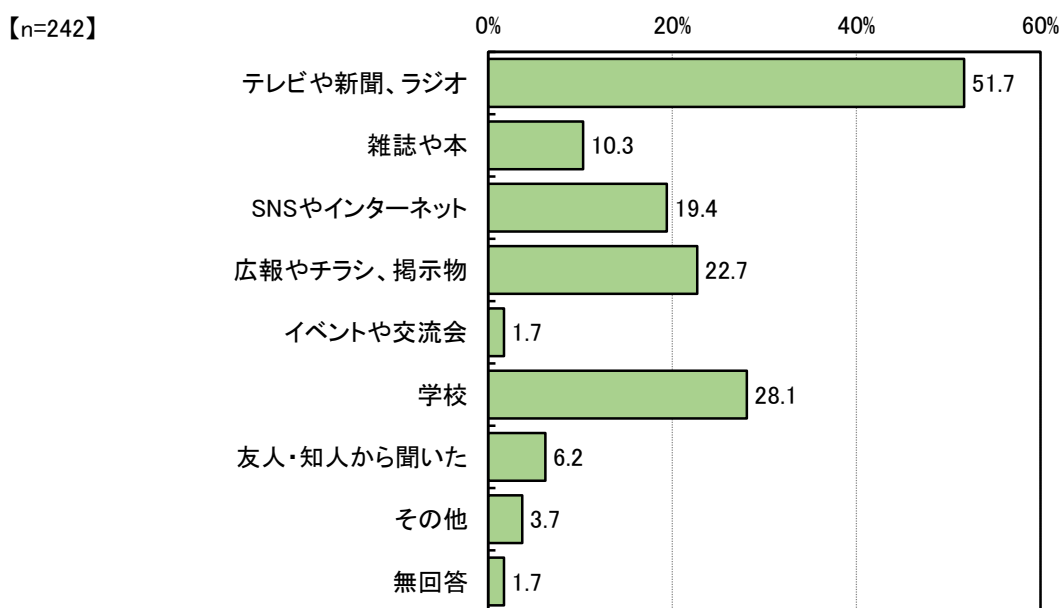
No.	選択肢	件数	%
1	聞いたことがあります、内容も知っている	152	40.3
2	聞いたことがあるが、よく知らない	90	23.9
3	聞いたことはない	135	35.8
	無回答	0	0.0
	合計	377	100.0

(3)ヤングケアラーを知ったきっかけ

問30 問29で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」、「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについては、「テレビや新聞、ラジオ」が51.7%で最も多く、次いで、「学校」が28.1%、「広報やチラシ、掲示物」が22.7%、「SNSやインターネット」が19.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	テレビや新聞、ラジオ	125	51.7
2	雑誌や本	25	10.3
3	SNSやインターネット	47	19.4
4	広報やチラシ、掲示物	55	22.7
5	イベントや交流会	4	1.7
6	学校	68	28.1
7	友人・知人から聞いた	15	6.2
8	その他	9	3.7
	無回答	4	1.7

V. 自由記述について

問 31 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校やまわりの大人にしてもらいたいことを自由にお書きください。

以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・いつでも相談ができることを学校などで知らせたり、アンケートを使う調査を増やしたりすることが必要だと思いました。
- ・きっと相談するのが恥ずかしかったり誰かに何か言われるのではないかと怖がって一人で抱え込むことが多いと思うので安心して相談できる場所が必要
- ・個別で相談、勉強を自分のペースで教えてくれる場所
- ・相談できる所をもっと増やしていったほうが良いと思う。
- ・他の兄弟のお世話している子のためにその子たち専用の相談できる場所をつくってあげるといいと思います。その相談所で少しでも兄弟のお世話をしている子がらくになれるといいと思います。
- ・いつでも悩みを聞いてもらえる空間 息抜きができる場所

(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ヤングケアラーの子が安心できるように悩みを話せるようなところを作る
- ・自分が学校の先生や周りの大人の人に相談をすることが大事だと思います。
- ・自由に誰でもいいから話せる時間をあげることが必要だと思います。

(3) 学校におけるサポートや配慮

- ・家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことは、その子が学校などに行くことだと思います。
- ・子どもがちゃんと学校に行けるようにする
- ・先生などへの相談

(4) 周囲(大人や友達)の理解や寄り添い

- ・その子のことをよく理解してあげて、優しく接してあげたり、困っていることがあれば協力してあげたりすること。
- ・お世話をしている本人が、今の現状が本当に普通なのかを疑って、友達でも、大人でも先生にでも相談することが必要だと思います。そして、その相談を受けた友達や大人にはそれを聞くだけでなく、一緒によりそって行動してもらいたいです。
- ・周りの人が出来るだけ気づいてあげたり、その子たち自身の気持ちを周りに積極的に伝えることが必要だと思います。

- ・自分がヤングケアラーだと気づいていなかったり、まわりの人に心配してほしくない。という思いがあったりすると思います。そんな時に一番の力になれるのは身近な友達や大人だと思うので、本人の生活の仕方などを時々確認して、ちょっとでも気になったら少しずつ寄り添ってあげてみれば良いと思います。
- ・学校や地域の人がヤングケアラーの子に気づいてあげて、支援してあげる。
- ・自分だけで家族の世話をするのではなく、少しでも近所の大人に世話を手伝ってもらったり、学校の先生などに相談をしてみることが必要だと思った。
- ・周りの人達はその事を理解して特別扱いせず普通に对应することだと思っています。

(5)福祉サービスやボランティア等による支援

- ・お金の寄付や、そういう人のための施設を作る。
- ・ヤングケアラーがいる家庭には週に一回ほどお手伝いの方が訪問して、親の世話などをするなどすれば、安心して心を休められるのではないかなと考えます。
- ・今までヤングケアラーがやっていたお世話を代わりにやってくれる家政婦みたいな感じの人がいたらいいんじゃないかなと思いました。
- ・ヤングケアラーをしている子が自分のやりたい事が出来るような施設
- ・介護施設を増やしたり、周りの人も理解して協力すること。

(6)経済的支援

- ・お世話をしている子ども達に、支援金をあげることなどが大切、必要だと思う。
- ・国からヤングケアラーの人にお金をだす。

(7)ヤングケアラーの普及啓発

- ・ヤングケアラーの子ども達を支えてあげる会を作ってあげたらいいと思います。そうしたらそんな子達も少しは楽になると思います。

(8)ヤングケアラー同士の情報交換の場

- ・ヤングケアラーになっている人達が集まる交流会などを開いて相談やアドバイスなどを教え合う事が、必要だと思います。
- ・周りの方々がその子を、支えてあげることが大切だと思う あとその子が周りの同じヤングケアラーの子と話したりして息抜きをする必要があると思う。

(9)その他支援の充実(自分のための時間をつくってあげるなど)

- ・子どもを保護する運動や、子どもがいる大人の労働時間の配慮。
- ・家族のお世話をしている子は、自分の時間が少ないと思うので、息抜きできる場所を作ったり、子どもの代わりにお世話をする(無料)人を作れば良いと思う。
- ・行政機関から世話をする人を送ってもらうべきだと思う。もしくは子どもを家族から引き離して児童養護施設に入ってもらおう。
- ・子どもは、自分の時間を大切にしてお世話と、自分の時間を平等にできるようにする。

- ・ヤングケアラーをなくすために代わりにやってくれる人を新しい仕事として作れば良いと思う

(10)ヤングケアラーに関する感想

- ・学校に通っている子どもたちが普通の子はやらないような人のお世話をすることは大変だと思います。なるべくそういったことで苦しむ人が減るといいと思います。
- ・私にはどんな気持ちでやっているのかは分からないけど、強い気持ちを持ってがんばってほしいです。そしてそういう子どもが少しでも減ることを願っています。
- ・大人がやるべき事をして学校に行けない。子どもの自由を奪っていると考えているので、人権を尊重できていないと思う。だから、その子の未来を考える、尊重しあうことの重要性を一から考え直すことが必要であって、しないといけないことでもあると思う。

(11)お世話をしている家族がいると回答した児童の声

- ・ヤングケアラーに代わる介護サービス
- ・自分の時間がほしい
- ・親だから子どもの面倒くらい見てほしいと思う。
- ・勉強を教えてほしい
- ・お金の支援、文字の読み方、ご飯など

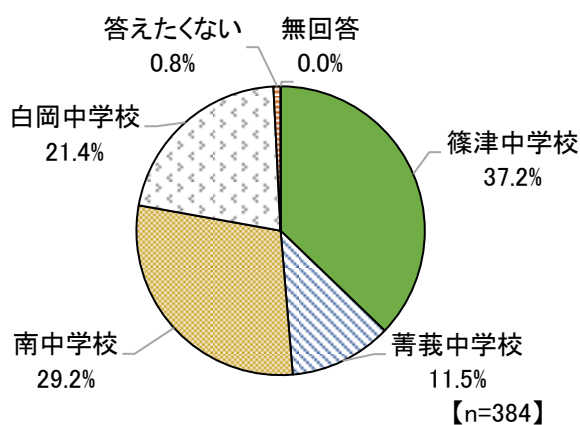
2 中学生調査

I. 基本情報

(1)通っている学校

● 通っている学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

通っている学校は、以下のとおりです。

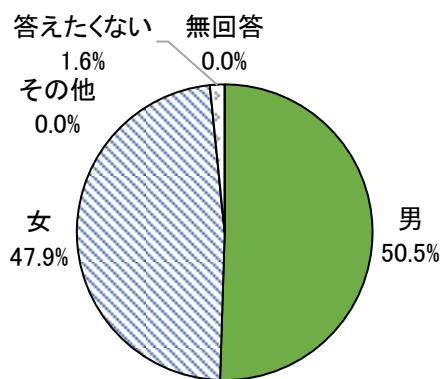


No.	選択肢	件数	%
1	篠津中学校	143	37.2
2	菁莪中学校	44	11.5
3	南中学校	112	29.2
4	白岡中学校	82	21.4
5	答えたくない	3	0.8
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

(2)性別

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

性別は、「男」が50.5%、「女」が47.9%、「答えたくない」が1.6%となっています。



【n=384】

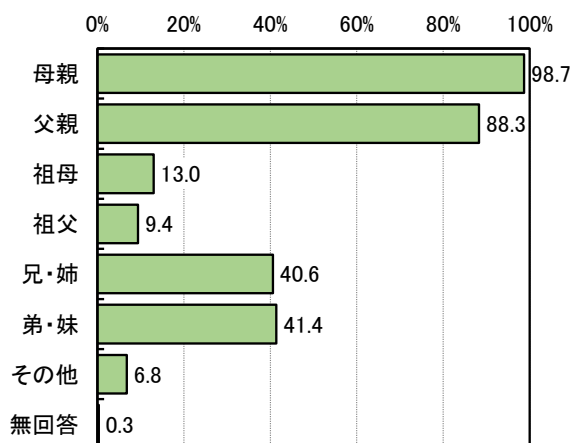
No.	選択肢	件数	%
1	男	194	50.5
2	女	184	47.9
3	その他	0	0.0
4	答えたくない	6	1.6
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

(3)同居している家族

問2 現在、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

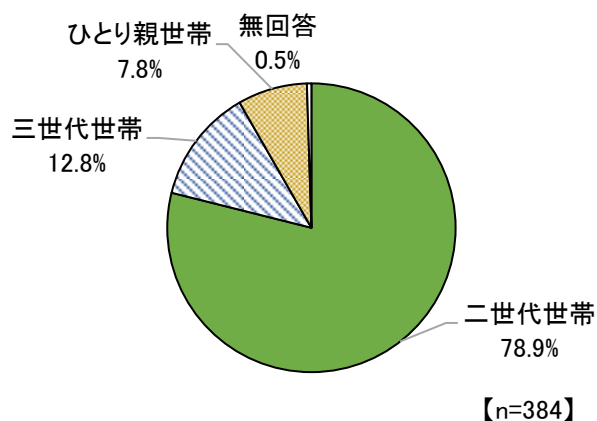
同居する家族の内訳は、「母親」が 98.7%で最も多く、次いで、「父親」が 88.3%、「弟・妹」が 41.4%、「兄・姉」が 40.6%となっています。

【n=384】



No.	選択肢	件数	%
1	母親	379	98.7
2	父親	339	88.3
3	祖母	50	13.0
4	祖父	36	9.4
5	兄・姉	156	40.6
6	弟・妹	159	41.4
7	その他	26	6.8
	無回答	1	0.3
	合計	384	100.0

また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は、「二世代会世帯」が最も高くなっている。



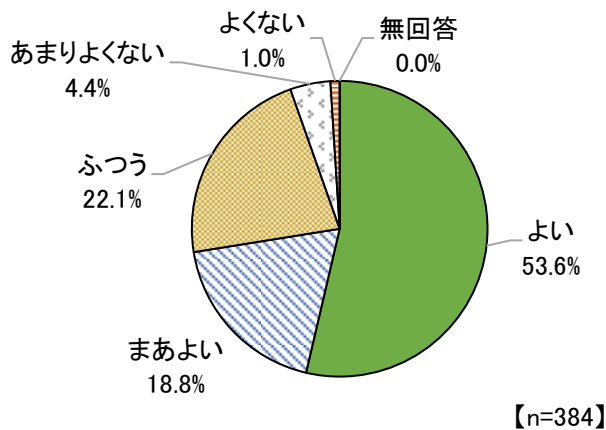
No.	選択肢	件数	%
1	二世代会世帯	303	78.9
2	三代会世帯	49	12.8
3	ひとり親世帯	30	7.8
	無回答	2	0.5
	合計	384	100.0

世帯	同居する家族
二世代会世帯	母親、父親、兄・姉、弟・妹、その他(ペットなど)
三代会世帯	母親、父親、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)
ひとり親家庭	母親/父親のいずれか、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)

(4)健康状態

問3 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、よいと回答した割合(「よい」と「まあよい」の合計)が 72.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	よい	206	53.6
2	まあよい	72	18.8
3	ふつう	85	22.1
4	あまりよくない	17	4.4
5	よくない	4	1.0
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×健康状態】

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「よい」と回答した割合は低くなっています。

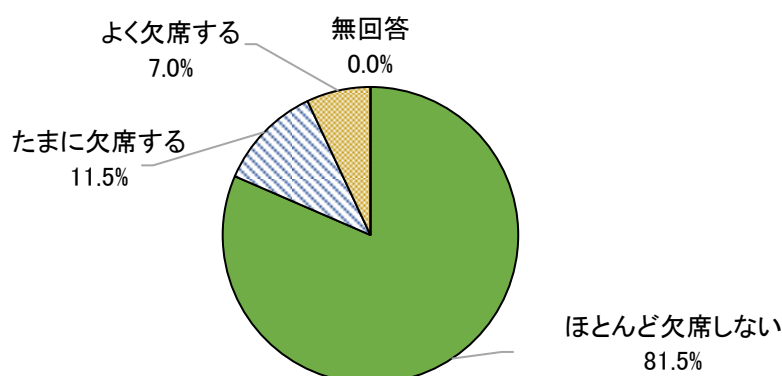
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	384	206	72	85	17	4	0
	100.0	53.6	18.8	22.1	4.4	1.0	0.0
いる	20	9	3	6	2	0	0
	100.0	45.0	15.0	30.0	10.0	0.0	0.0
いない	364	197	69	79	15	4	0
	100.0	54.1	19.0	21.7	4.1	1.1	0.0

Ⅱ. ふだんの生活について

(1) 学校の出席状況について

問4 学校への通学状況について教えてください。
欠席について(あてはまる番号1つに○)

学校の出席状況については、「ほとんど欠席しない」が 81.5%で最も多く、「たまに欠席する」が 11.5%、「よく欠席する」が 7.0%となっています。



【n=384】

No.	選択肢	件数	%
1	ほとんど欠席しない	313	81.5
2	たまに欠席する	44	11.5
3	よく欠席する	27	7.0
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×出席の状況】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席する」の割合が高くなっています。

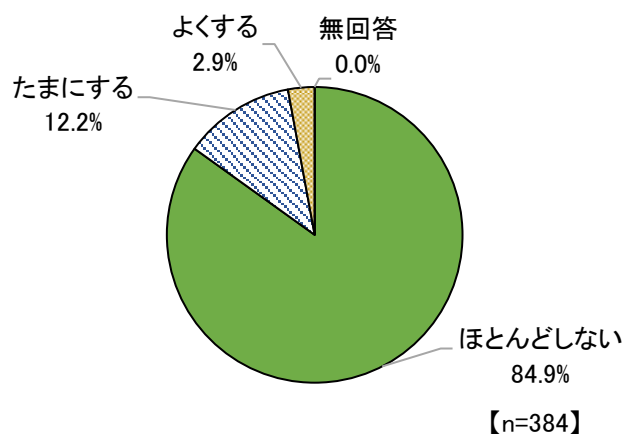
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
全体	384 100.0	313 81.5	44 11.5	27 7.0	0 0.0
いる	20 100.0	14 70.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0
いない	364 100.0	299 82.1	39 10.7	26 7.1	0 0.0

(2)学校の遅刻や早退について

問5 学校への通学状況について教えてください。

遅刻や早退について(あてはまる番号1つに○)

学校の遅刻や早退については、「ほとんどしない」が84.9%で最も多く、「たまにする」が12.2%、「よくする」が2.9%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	ほとんどしない	326	84.9
2	たまにする	47	12.2
3	よくする	11	2.9
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況】

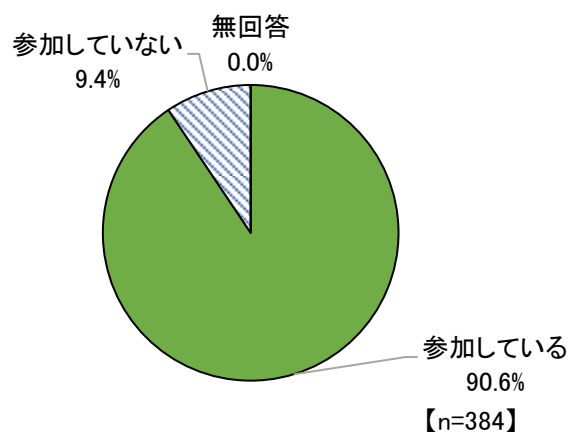
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど しない	たまに する	よくする	無回答
全体	384	326	47	11	0
	100.0	84.9	12.2	2.9	0.0
いる	20	12	4	4	0
	100.0	60.0	20.0	20.0	0.0
いない	364	314	43	7	0
	100.0	86.3	11.8	1.9	0.0

(3)部活動の参加状況

問6 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

部活動の参加状況では、「参加している」が 90.6%、「参加していない」が 9.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	参加している	348	90.6
2	参加していない	36	9.4
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×部活動の参加の状況】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「参加していない」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	参加 している	参加して いない	無回答
全体	384 100.0	348 90.6	36 9.4	0 0.0
いる	20 100.0	16 80.0	4 20.0	0 0.0
いない	364 100.0	332 91.2	32 8.8	0 0.0

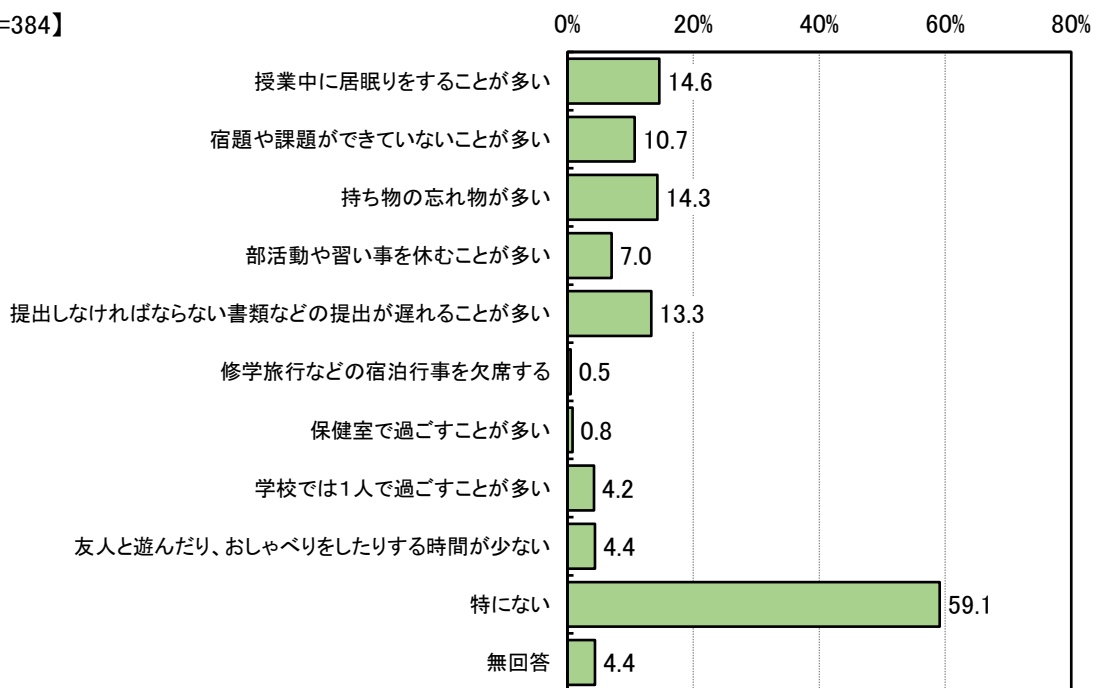
(4) 普段の学校生活等であてはまること

問7 普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

普段の学校生活等であてはまることについては、「授業中に居眠りをすることが多い」(14.6%)、「持ち物の忘れ物が多い」(14.3%)、「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」(13.3%)などが挙げられています。

また、「特にない」は 59.1%で最も多くなっています。

【n=384】



No.	選択肢	件数	%
1	授業中に居眠りをする人が多い	56	14.6
2	宿題や課題ができていないことが多い	41	10.7
3	持ち物の忘れ物が多い	55	14.3
4	部活動や習い事を休むことが多い	27	7.0
5	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	51	13.3
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	2	0.5
7	保健室で過ごすことが多い	3	0.8
8	学校では1人で過ごすことが多い	16	4.2
9	友人と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない	17	4.4
10	特にない	227	59.1
	無回答	17	4.4
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×普段の学校生活等であてはまること】

お世話をしている家族がいる場合、「特にない」と回答した人の割合が低くなっています。

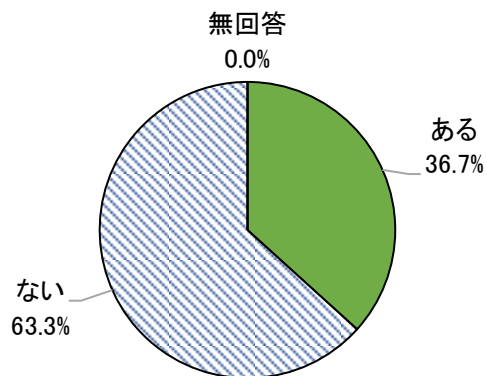
お世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べ、「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」と回答した割合が高くなっており、次いで、「学校では1人で過ごすことが多い」、「友人と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない」なども高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	授業中に居眠りをすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなげればならない書類など提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体	384 100.0	56 14.6	41 10.7	55 14.3	27 7.0	51 13.3	2 0.5	3 0.8	16 4.2	17 4.4	227 59.1	17 4.4
いる	20 100.0	4 20.0	6 30.0	6 30.0	3 15.0	7 35.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	3 15.0	7 35.0	1 5.0
いない	364 100.0	52 14.3	35 9.6	49 13.5	24 6.6	44 12.1	2 0.5	2 0.5	12 3.3	14 3.8	220 60.4	16 4.4

(5)現在の悩み

問8 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号1つに○)

現在の悩みについては、「ある」が36.7%、「ない」が63.3%となっています。



【n=384】

No.	選択肢	件数	%
1	ある	141	36.7
2	ない	243	63.3
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×現在の悩み】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「ある」の割合が高くなっています。

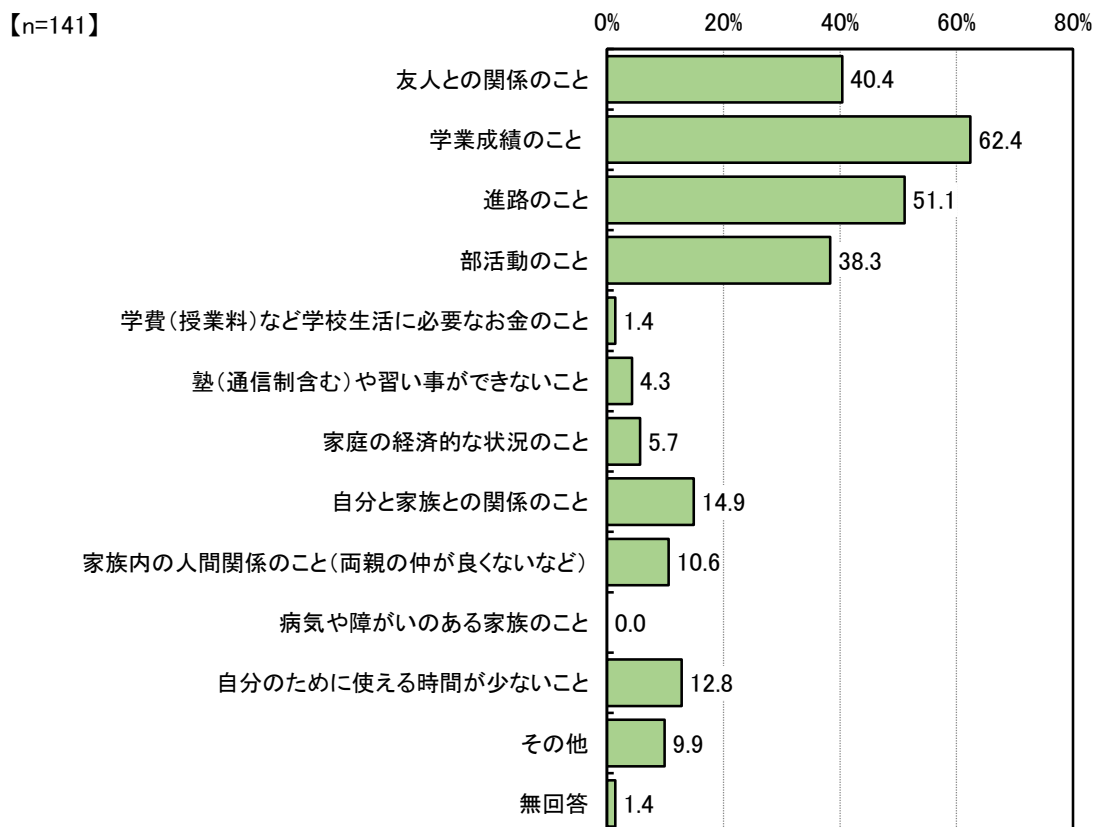
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	384	141	243	0
	100.0	36.7	63.3	0.0
いる	20	10	10	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
いない	364	131	233	0
	100.0	36.0	64.0	0.0

(6) 悩みの内容

問8-1 問8で「1 ある」と回答した人にお聞きします。

どのようなことに悩んでいますか。(あてはまる番号すべてに○)

悩みがあると回答した人に、どのようなことで悩んでいるかを聞いたところ、「学業成績のこと」が 62.4%で最も多く、次いで、「進路のこと」が 51.1%、「友人との関係のこと」が 40.4%、「部活動のこと」が 38.3%となっています。



第2部 調査結果報告 《2 中学生調査》

No.	選択肢	件数	%
1	友人との関係のこと	57	40.4
2	学業成績のこと	88	62.4
3	進路のこと	72	51.1
4	部活動のこと	54	38.3
5	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	2	1.4
6	塾（通信制含む）や習い事ができないこと	6	4.3
7	家庭の経済的な状況のこと	8	5.7
8	自分と家族との関係のこと	21	14.9
9	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	15	10.6
10	病気や障がいのある家族のこと	0	0.0
11	自分のために使える時間が少ないこと	18	12.8
12	その他	14	9.9
	無回答	2	1.4
	合計	141	100.0

【お世話をしている家族の有無×現在の悩みや困りごと】

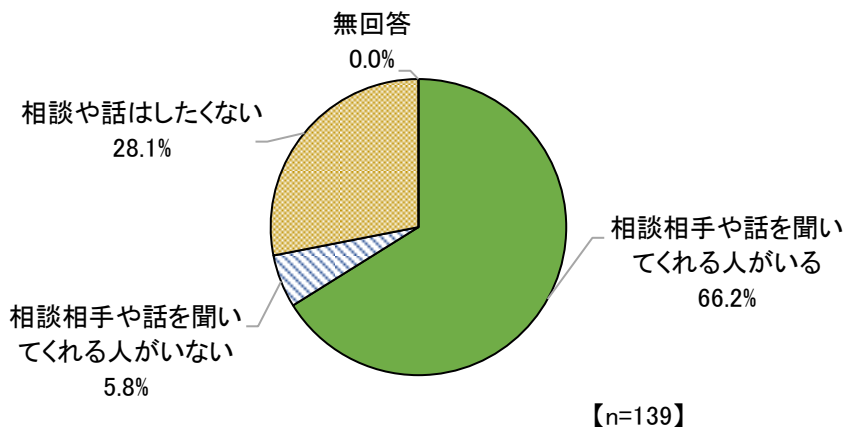
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「塾(通信制含む)や習い事ができないこと」、「家庭の経済的な状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」と回答した割合が比べ高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	塾(通信制含む)や習い事ができないこと	家庭の経済的な状況のこと	自分と家族との関係のこと	親の仲が良くないなど(両親)	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	無回答
全体	141 100.0	57 40.4	88 62.4	72 51.1	54 38.3	2 1.4	6 4.3	8 5.7	21 14.9	15 10.6	0 0.0	18 12.8	14 9.9	2 1.4	
いる	10 100.0	5 50.0	6 60.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	
いない	131 100.0	52 39.7	82 62.6	67 51.1	49 37.4	2 1.5	3 2.3	7 5.3	17 13.0	14 10.7	0 0.0	16 12.2	14 10.7	2 1.5	

(7) 悩みを聞いてくれる人の有無

問9 問8-1で「1」～「12」のいずれを回答した方にお聞きします。
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

悩みがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 66.2%で最も多く、「相談や話はしたくない」が 28.1%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が 5.8%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	92	66.2
2	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	8	5.8
3	相談や話はしたくない	39	28.1
	無回答	0	0.0
	合計	139	100.0

【お世話をしている家族の有無×悩みを聞いてくれる人の有無】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合で「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
全体	139	92	8	39	0
	100.0	66.2	5.8	28.1	0.0
いる	10	10	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
いない	129	82	8	39	0
	100.0	63.6	6.2	30.2	0.0

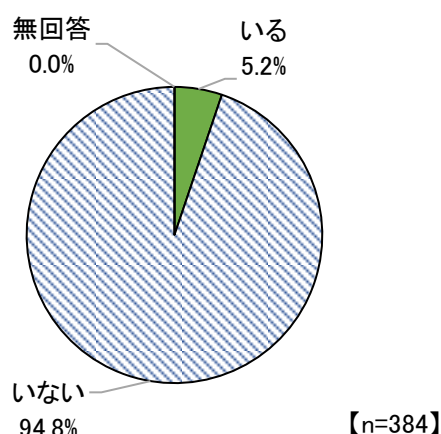
Ⅲ. 家庭や家族のことについて

(1)お世話をしている家族の有無

問 10 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

※ここでの「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話のなどをする事です。動物などペットのお世話は含まれません。

自分がお世話をしている家族がいると回答した人の割合は、5.2%(20人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	いる	20	5.2
2	いない	364	94.8
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【家族構成×お世話している家族の有無】

家族構成別でお世話を必要としている家族をみると、二世帯世帯では「いる」が6.3%、ひとり親世帯では「いる」が3.3%となっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	384	20	364	0
	100.0	5.2	94.8	0.0
二世帯世帯	303	19	284	0
	100.0	6.3	93.7	0.0
三世帯世帯	49	0	49	0
	100.0	0.0	100.0	0.0
ひとり親世帯	30	1	29	0
	100.0	3.3	96.7	0.0

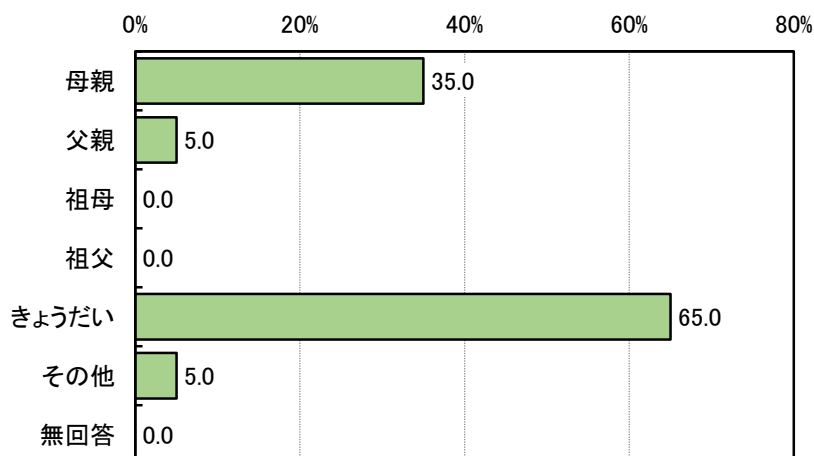
(2)お世話を必要としている家族

問 11 問 10 で「1. いる」と回答した人にお聞きします。

お世話を必要としている方（あてはまる番号すべてに○）

お世話を必要としている家族については、「きょうだい」が 65.0%で最も多く、次いで、「母親」が 35.0%、「父親」が 5.0%となっています。

【n=20】



No.	選択肢	件数	%
1	母親	7	35.0
2	父親	1	5.0
3	祖母	0	0.0
4	祖父	0	0.0
5	きょうだい	13	65.0
6	その他	1	5.0
	無回答	0	0.0
	合計	20	100.0

【家族構成×お世話をしている家族】

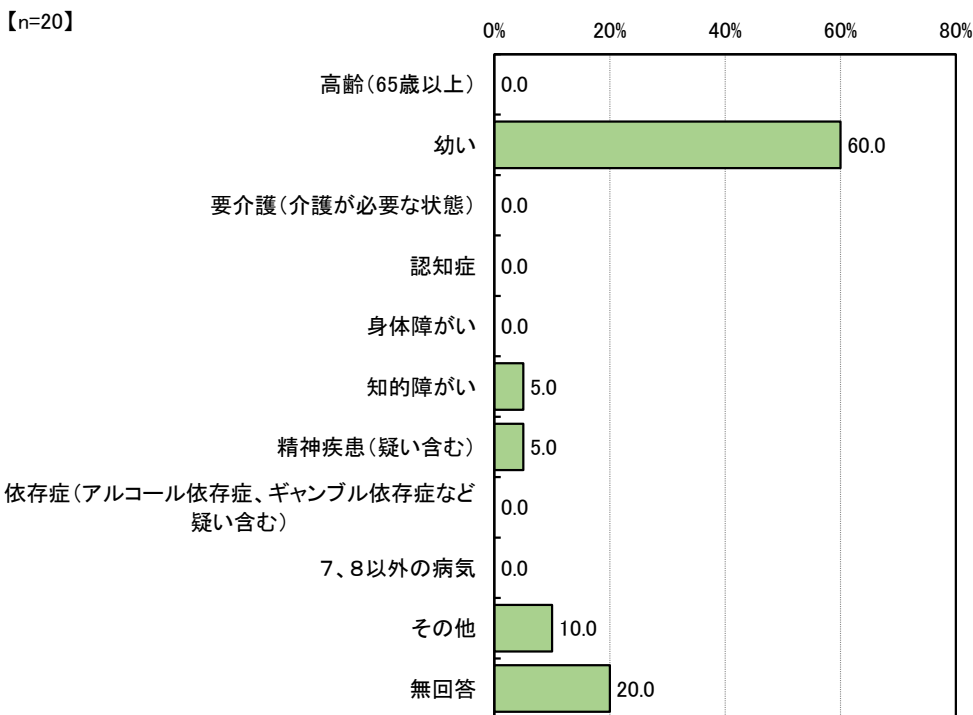
家族構成別でお世話を必要としている家族をみると、二世世代世帯は「きょうだい」、ひとり親世帯では「母親、父親」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	母親、父親	祖母、祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	20 100.0	7 35.0	0 0.0	13 65.0	1 5.0	0 0.0
二世世代世帯	19 100.0	6 31.6	0 0.0	13 68.4	1 5.3	0 0.0
三世世代世帯	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ひとり親世帯	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(3)お世話をしている家族の状況

問 12 お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください
お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方について教えてください。

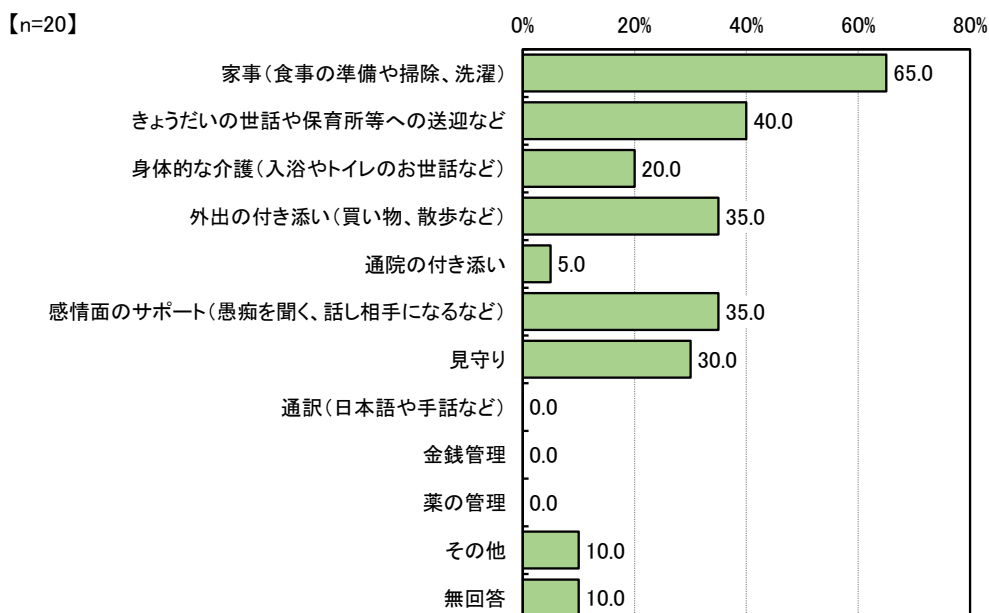
a)お世話を必要としている方の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)
お世話をしている方の状況は、「若い」が 60.0%で最も多く、次いで「知的障がい」、
「精神疾患(疑い含む)」がともに 5.0%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	高齢 (65歳以上)	0	0.0
2	若い	12	60.0
3	要介護 (介護が必要な状態)	0	0.0
4	認知症	0	0.0
5	身体障がい	0	0.0
6	知的障がい	1	5.0
7	精神疾患 (疑い含む)	1	5.0
8	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む)	0	0.0
9	7、8以外の病気	0	0.0
10	その他	2	10.0
	無回答	4	20.0
	合計	20	100.0

b)あなたがやっているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしている内容は、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が65.0%で最も多く、次いで、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」が40.0%、「外出の付き添い(買い物、散歩など)」と「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」が同率で35.0%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	13	65.0
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	8	40.0
3	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	4	20.0
4	外出の付き添い(買い物、散歩など)	7	35.0
5	通院の付き添い	1	5.0
6	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	7	35.0
7	見守り	6	30.0
8	通訳(日本語や手話など)	0	0.0
9	金銭管理	0	0.0
10	薬の管理	0	0.0
11	その他	2	10.0
	無回答	2	10.0
	合計	20	100.0

【お世話をしている家族×お世話の内容】

お世話の内容については、お世話を必要としている家族が「母親、父親」では「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「きょうだい」では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「きょうだいの世話や送り迎え」が高くなっています。

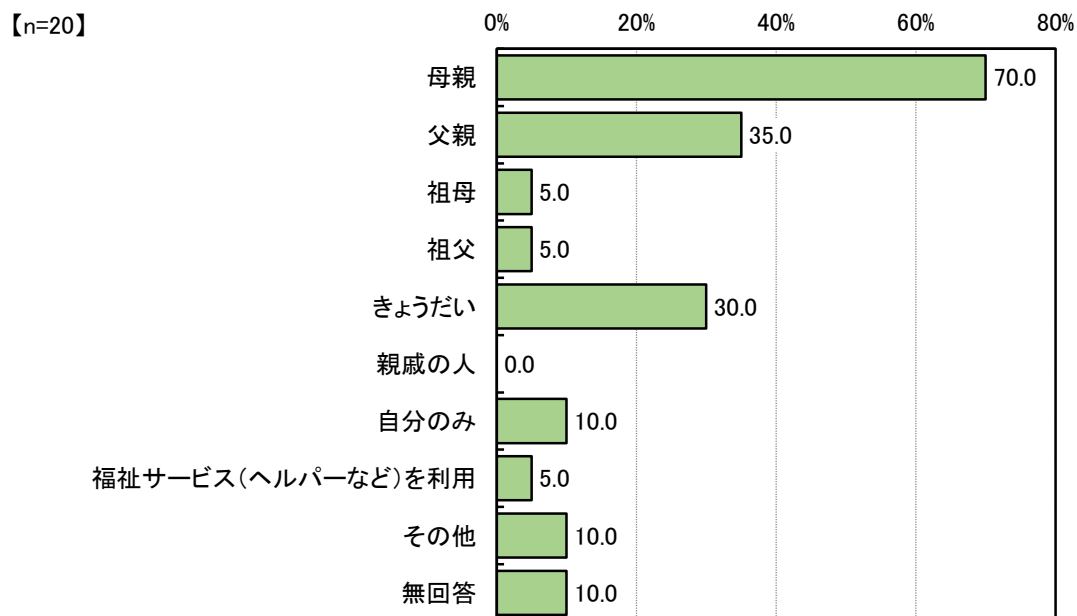
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	濯家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	への送迎などの世話や保育所等	きょうだいの世話(入浴やトイレ)	の身体的な介護(入浴やトイレ)	歩などの付き添い(買い物、散歩)	外出の付き添い(買い物、散歩)	通院の付き添い	く、感情面のサポート(愚痴を聞く)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	20 100.0	13 65.0	8 40.0	4 20.0	7 35.0	1 5.0	7 35.0	6 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0
母親、父親	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3
祖母、祖父	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
きょうだい	13 100.0	8 61.5	8 61.5	3 23.1	6 46.2	1 7.7	6 46.2	6 46.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7
その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

※以下は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。

(4)お世話を一緒にしている人

問 13 お世話は誰と行っていますか。

お世話を一緒にしている人は、「母親」が 70.0%で最も多く、次いで、「父親」が 35.0%、「きょうだい」が 30.0%となっています。

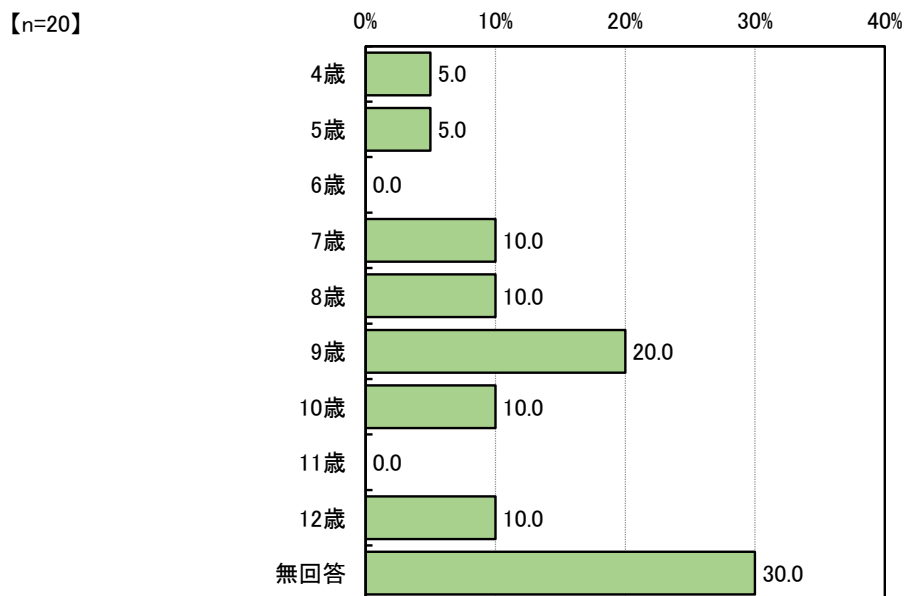


No.	選択肢	件数	%
1	母親	14	70.0
2	父親	7	35.0
3	祖母	1	5.0
4	祖父	1	5.0
5	きょうだい	6	30.0
6	親戚の人	0	0.0
7	自分のみ	2	10.0
8	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	1	5.0
9	その他	2	10.0
	無回答	2	10.0
	合計	20	100.0

(5)お世話をはじめた年齢

問 14 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢を教えてください。
 (はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)

お世話をはじめた年齢は、「9歳」が20.0%で最も多く、次いで、「7歳」、「8歳」、「10歳」、「12歳」が同率で10.0%となっています。

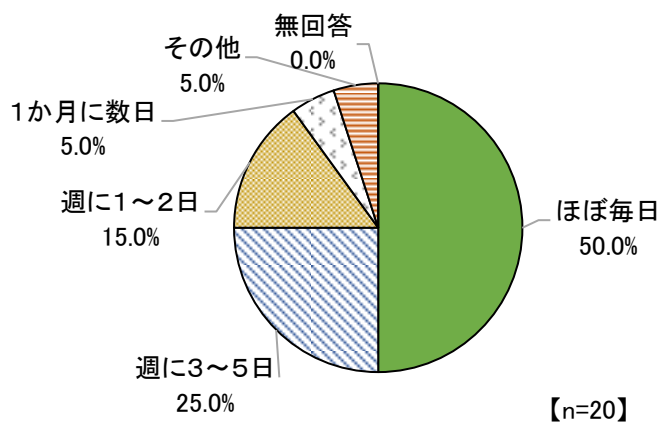


No.	選択肢	件数	%
1	4歳	1	5.0
2	5歳	1	5.0
3	6歳	0	0.0
4	7歳	2	10.0
5	8歳	2	10.0
6	9歳	4	20.0
7	10歳	2	10.0
8	11歳	0	0.0
9	12歳	2	10.0
	無回答	6	30.0
	合計	20	100.0

(6)お世話をしている頻度

問 15 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度は、「ほぼ毎日」が 50.0%で最も多く、次いで、「週に3～5日」が 25.0%、「週に1～2日」が 15.0%などとなっています。

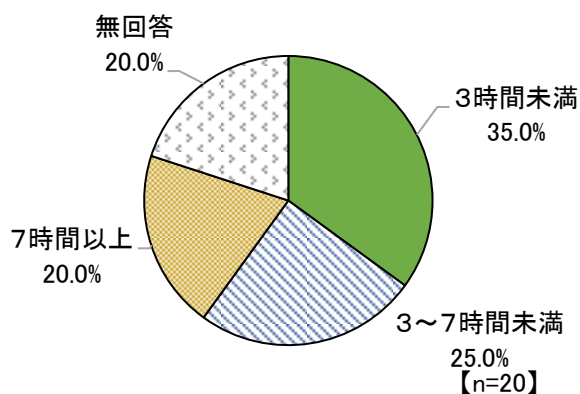


No.	選択肢	件数	%
1	ほぼ毎日	10	50.0
2	週に3～5日	5	25.0
3	週に1～2日	3	15.0
4	1か月に数日	1	5.0
5	その他	1	5.0
	無回答	0	0.0
	合計	20	100.0

(7)お世話をしている時間

問 16 平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。
 (日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください。)

平日にお世話をしている時間は、「3時間未満」が 35.0%で最も多く、次いで、「3～7時間未満」が 25.0%、「7時間以上」が 20.0%となっています。

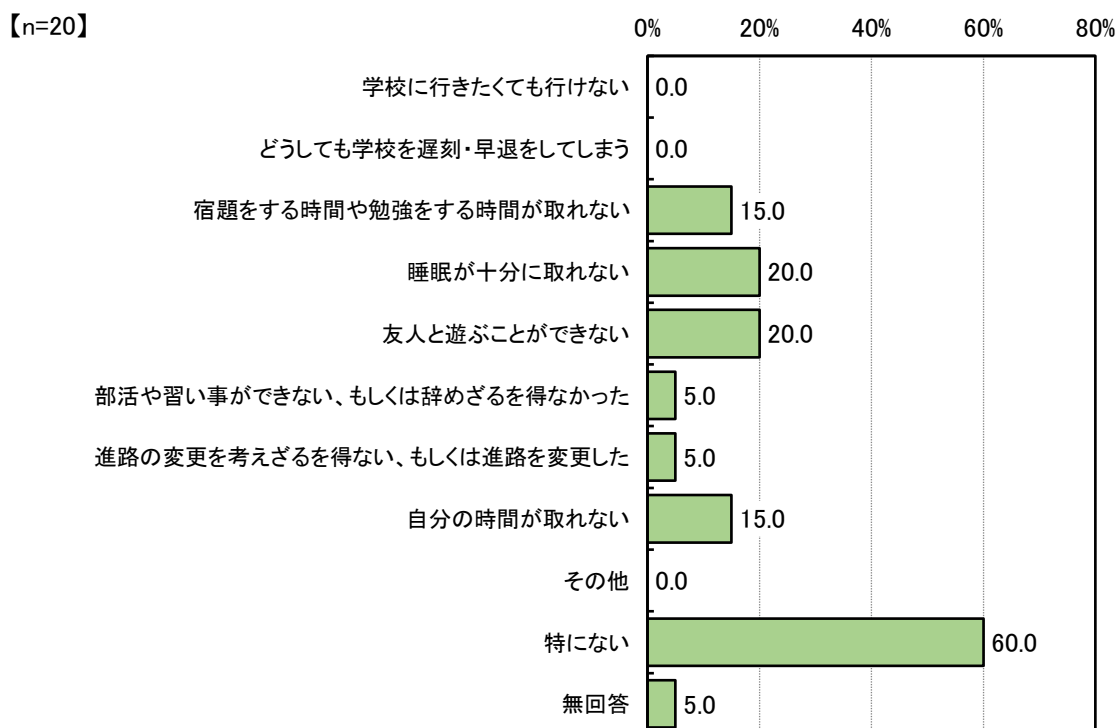


No.	選択肢	件数	%
1	3時間未満	7	35.0
2	3～7時間未満	5	25.0
3	7時間以上	4	20.0
	無回答	4	20.0
	合計	20	100.0

(8)お世話をしていることでやりたいけど、できていないこと

問 17 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしていることでやりたいけど、できていないことについては、「睡眠が十分に取れない」(20.0%)、「友人と遊ぶことができない」(20.0%)などが挙げられています。また、「特にない」は60.0%で最も多くなっています。



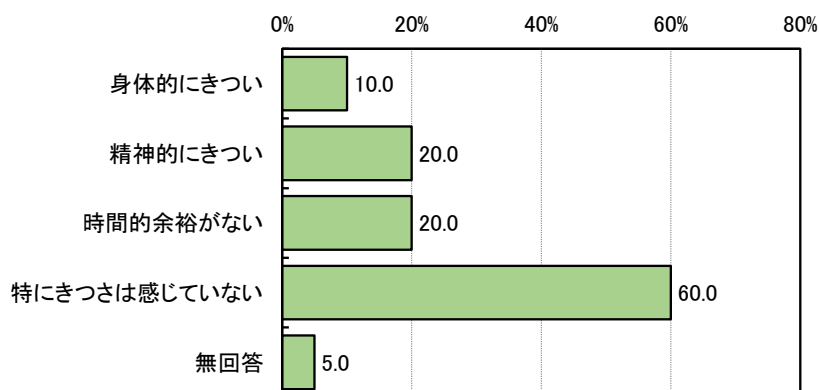
No.	選択肢	件数	%
1	学校又は職場に行きたくても行けない	0	0.0
2	どうしても学校を遅刻・早退をしてしまう	0	0.0
3	宿題をする時間や勉強をする時間が取れない	3	15.0
4	睡眠が十分に取れない	4	20.0
5	友人と遊ぶことができない	4	20.0
6	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	1	5.0
7	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	1	5.0
8	自分の時間が取れない	3	15.0
9	その他	0	0.0
10	特にない	12	60.0
	無回答	1	5.0
	合計	20	100.0

(9)お世話の大変さ

問 18 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をするに感じている大変さについては、「特にきつさは感じていない」が60.0%で最も多くなっていますが、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」がともに20.0%、「身体的にきつい」が10.0%となっています。

【n=20】

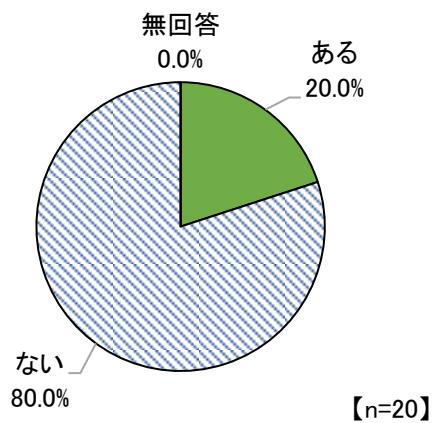


No.	選択肢	件数	%
1	身体的にきつい	2	10.0
2	精神的にきつい	4	20.0
3	時間的余裕がない	4	20.0
4	特にきつさは感じていない	12	60.0
	無回答	1	5.0
	合計	20	100.0

(10)お世話について相談した経験

問 19 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ある」が 20.0%、「ない」が 80.0%となっています。



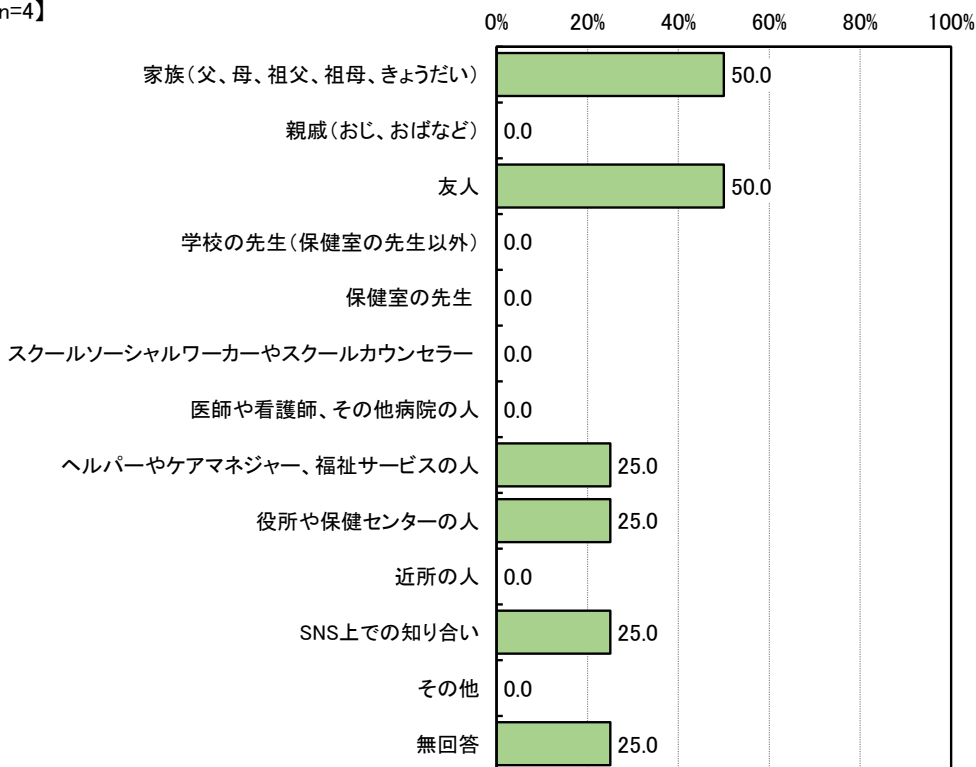
No.	選択肢	件数	%
1	ある	4	20.0
2	ない	16	80.0
	無回答	0	0.0
	合計	20	100.0

(11)お世話についての相談相手

問 20 問 19 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。
それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)」、「友人」がともに 50.0%(2人)、「ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人」、「役所や保健センターの人」、「SNS上での知り合い」がそれぞれ 25.0%(1人)となっています。

【n=4】



No.	選択肢	件数	%
1	家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい)	2	50.0
2	親戚 (おじ、おばなど)	0	0.0
3	友人	2	50.0
4	学校の先生 (保健室の先生以外)	0	0.0
5	保健室の先生	0	0.0
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0	0.0
7	医師や看護師、その他病院の人	0	0.0
8	ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	1	25.0
9	役所や保健センターの人	1	25.0
10	近所の人	0	0.0
11	SNS上での知り合い	1	25.0
12	その他	0	0.0
	無回答	1	25.0
	合計	4	100.0

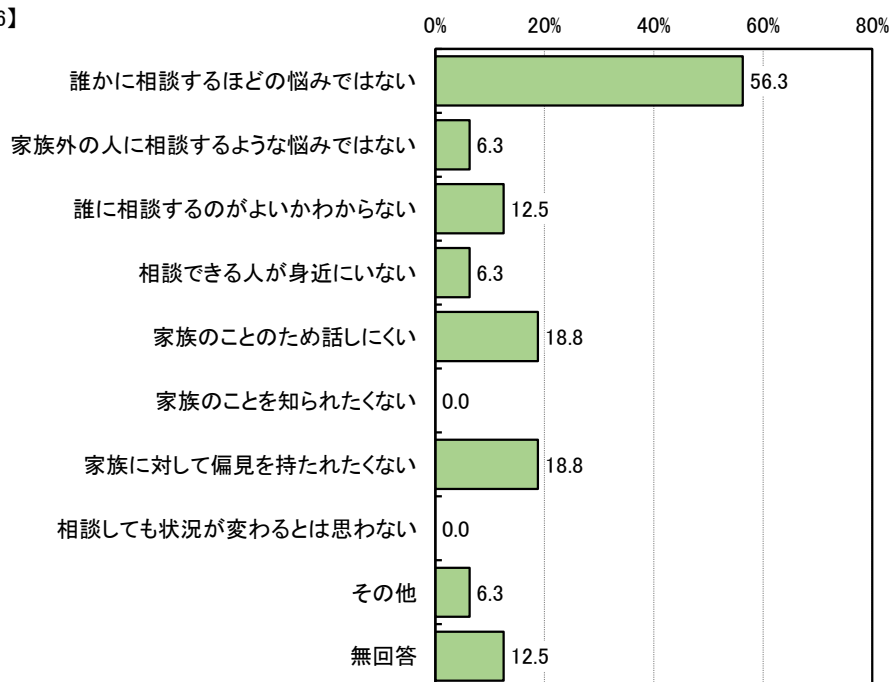
(12)お世話について相談したことがない理由

問 21 問 19 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」が 56.3%で最も多く、次いで「家族のこのため話しにくい」、「家族に対して偏見を持たれたくない」がともに 18.8%となっています。

【n=16】



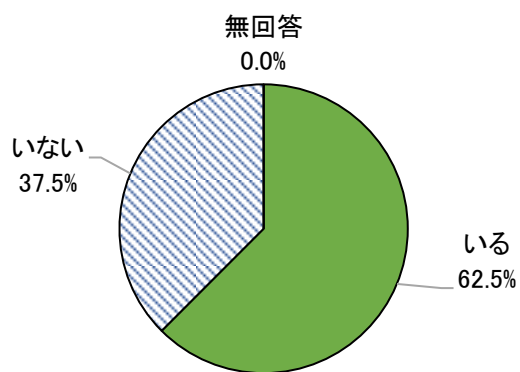
No.	選択肢	件数	%
1	誰かに相談するほどの悩みではない	9	56.3
2	家族外の人に相談するような悩みではない	1	6.3
3	誰に相談するのがよいかわからない	2	12.5
4	相談できる人が身近にいない	1	6.3
5	家族のこのため話しにくい	3	18.8
6	家族のことを知られたくない	0	0.0
7	家族に対して偏見を持たれたくない	3	18.8
8	相談しても状況が変わるとは思わない	0	0.0
9	その他	1	6.3
	無回答	2	12.5
	合計	16	100.0

(13)お世話について話を聞いてくれる人の有無

問 22 問 19 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

お世話を必要としている家族や、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、お世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が 62.5%、「いない」が 37.5%となっています。



【n=16】

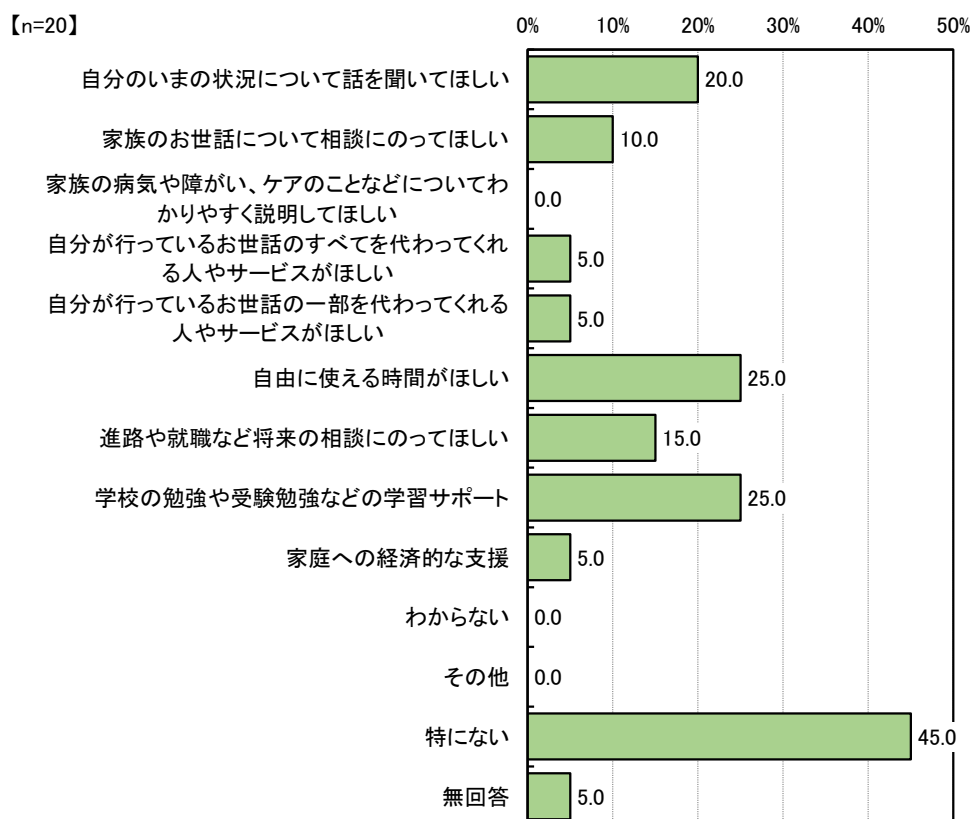
No.	選択肢	件数	%
1	いる	10	62.5
2	いない	6	37.5
	無回答	0	0.0
	合計	16	100.0

(14)学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 23 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「自由に使える時間がほしい」(25.0%)、「学校の勉強や受験勉強などの学習サポート」(25.0%)などが挙げられています。また、「特にない」は45.0%で最も多くなっています。



No.	選択肢	件数	%
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	4	20.0
2	家族のお世話について相談にのってほしい	2	10.0
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	0	0.0
4	自分が行っているお世話のすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい	1	5.0
5	自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	1	5.0
6	自由に使える時間がほしい	5	25.0
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	3	15.0
8	学校の勉強や受験勉強などの学習サポート	5	25.0
9	家庭への経済的な支援	1	5.0
10	わからない	0	0.0
11	その他	0	0.0
12	特にない	9	45.0
	無回答	1	5.0
	合計	20	100.0

(15)希望する相談の手段

問 24 問 23 で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

問23で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」、「SNS」、「電話」、「電子メール」がそれぞれ1人ずつとなっています。



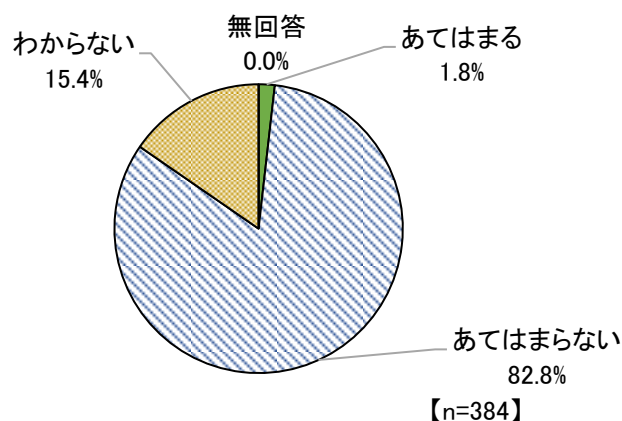
No.	選択肢	件数	%
1	直接会って	1	20.0
2	S N S	1	20.0
3	電話	1	20.0
4	電子メール	1	20.0
5	その他	0	0.0
	無回答	1	20.0
	合計	5	100.0

IV. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自覚

問 25 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまる番号1つに○)

自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うかを聞いたところ、「あてはまる」と回答した人は 1.8%(7 人)となっています。一方、「あてはまらない」は 82.8%、「わからない」は 15.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	あてはまる	7	1.8
2	あてはまらない	318	82.8
3	わからない	59	15.4
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーの自覚】

お世話をしている家族の有無別でみると、「いる」と回答した人の中で「あてはまる」と回答した人は 10.0%(2人)いました。

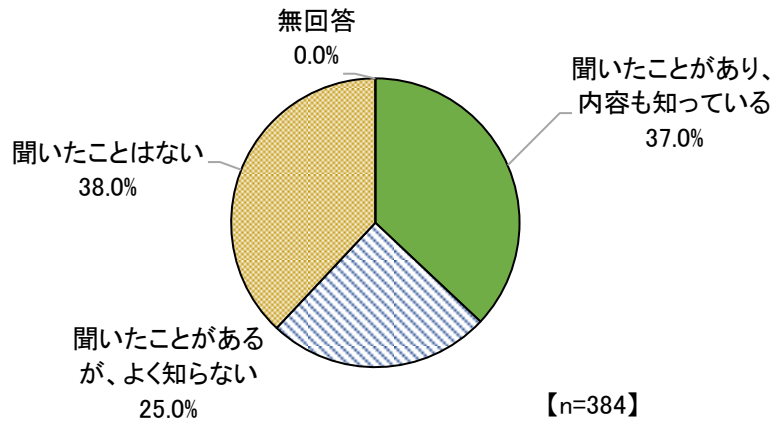
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	あてはま る	あてはま らない	わから ない	無回答
全体	384 100.0	7 1.8	318 82.8	59 15.4	0 0.0
いる	20 100.0	2 10.0	7 35.0	11 55.0	0 0.0
いない	364 100.0	5 1.4	311 85.4	48 13.2	0 0.0

(2) ヤングケアラーの認知度

問 26 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、「聞いたことがあります、内容も知っている」が37.0%で最も多く、「聞いたことがあるが、よく知らない」(25.0%)と合わせると62.0%となっています。一方、「聞いたことはない」は38.0%となっています。



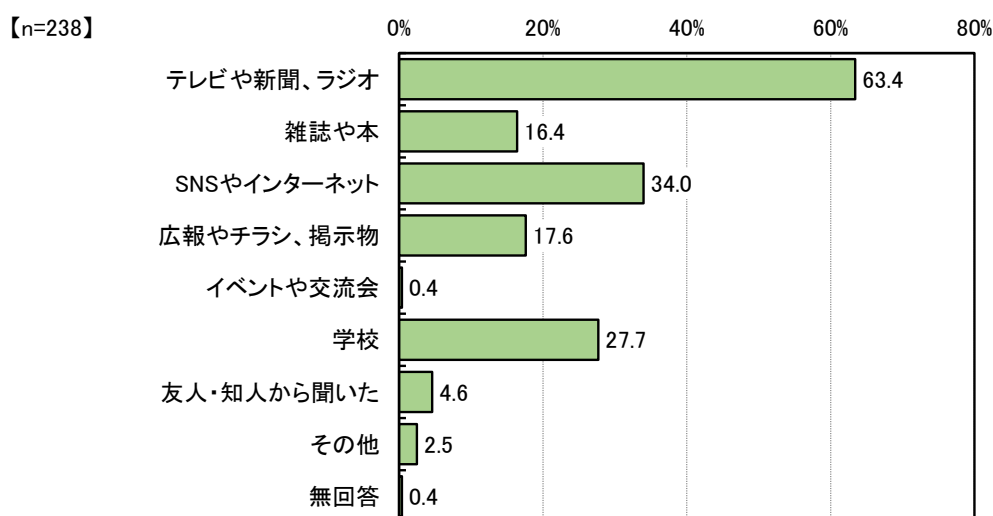
No.	選択肢	件数	%
1	聞いたことがあります、内容も知っている	142	37.0
2	聞いたことがあるが、よく知らない	96	25.0
3	聞いたことはない	146	38.0
	無回答	0	0.0
	合計	384	100.0

(3) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問27 問26で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」、「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについては、「テレビや新聞、ラジオ」が63.4%で最も多く、次いで、「SNSやインターネット」が34.0%、「学校」が27.7%、「広報やチラシ、掲示物」が17.6%となっています。

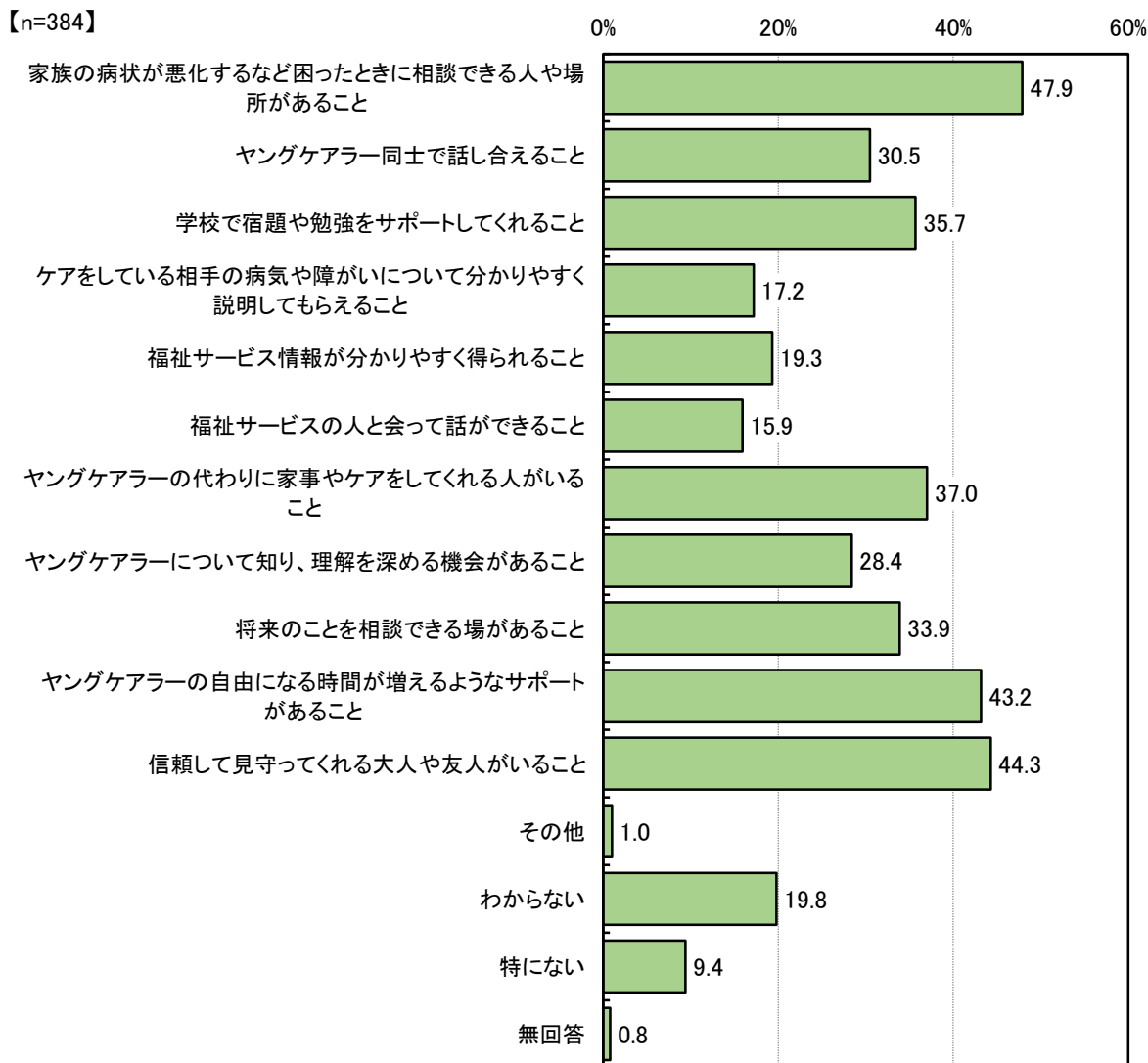


No.	選択肢	件数	%
1	テレビや新聞、ラジオ	151	63.4
2	雑誌や本	39	16.4
3	SNSやインターネット	81	34.0
4	広報やチラシ、掲示物	42	17.6
5	イベントや交流会	1	0.4
6	学校	66	27.7
7	友人・知人から聞いた	11	4.6
8	その他	6	2.5
	無回答	1	0.4
	合計	238	100.0

(4) ヤングケアラーに対する必要なサポート

問 28 ヤングケアラーに対してこんなサポートがあったらいいと思うことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「ヤングケアラー」に対するサポートについては、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が47.9%で最も多く、次いで、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」が44.3%、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」が43.2%などとなっています。



No.	選択肢	件数	%
1	家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること	184	47.9
2	ヤングケアラー同士で話し合えること	117	30.5
3	学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	137	35.7
4	ケアをしている相手の病気や障がいについて分かりやすく説明してもらえること	66	17.2
5	福祉サービス情報が分かりやすく得られること	74	19.3
6	福祉サービスの人と会って話ができること	61	15.9
7	ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること	142	37.0
8	ヤングケアラーについて知り、理解を深める機会があること	109	28.4
9	将来のことを相談できる場があること	130	33.9
10	ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること	166	43.2
11	信頼して見守ってくれる大人や友人がいること	170	44.3
12	その他	4	1.0
13	わからない	76	19.8
14	特になし	36	9.4
	無回答	3	0.8
	合計	384	100.0

【お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーに対する必要なサポート】

お世話をしている家族がいる場合、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」が最も多く、次いで「学校で宿題や勉強をサポートしてくれること」、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」となっています。

お世話をしている家族がいない場合、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が最も多く、次いで、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」となっています。

上段:件数 下段:%	回答者数（人）	できる家族の病状が悪化するなど困ったときに相談	ヤングケアラー同士で話し合えること	学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	分かやすすく説明し手も病気がいについて	ケアをし相手が病気がいについて	と福社サ一ビス情報が分かりやす得られるこ	福社サ一ビスの人と会って話ができること	くヤングケアラーの代わり家事やケアをして	機会があること	ヤングケアラーについて知り、理解を深める	将来のことを相談できる場があること	うヤングケアラーの自由になる時間が増えるよ	と信頼して見守ってくれる大人や友人が	その他	わからない	特にな	無回答
	全体	384 100.0	184 47.9	117 30.5	137 35.7	66 17.2	74 19.3	61 15.9	142 37.0	109 28.4	130 33.9	166 43.2	170 44.3	4 1.0	76 19.8	36 9.4	3 0.8	
いる	20 100.0	7 35.0	5 25.0	8 40.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	5 25.0	2 10.0	3 15.0	6 30.0	9 45.0	0 0.0	3 15.0	4 20.0	0 0.0		
いない	364 100.0	177 48.6	112 30.8	129 35.4	63 17.3	71 19.5	60 16.5	137 37.6	107 29.4	127 34.9	160 44.0	161 44.2	4 1.1	73 20.1	32 8.8	3 0.8		

V. 自由記述について

問 29 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを何でも自由にお書きください。

以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・助けてほしい、手伝ってほしいとヤングケアラーの人が言いやすいような環境を作ってあげてほしい。
- ・なんでもない時や少しのことで相談できる人がいるといいと思います。
- ・ヤングケアラーの人が相談しやすい環境を作って、勉強面とかでサポートしてあげる。
- ・相談できる場や、暮らしの中でちょっと一息つけるような場(少しでも休めるような)
- ・ヤングケアラーにとって安心して過ごすことや見守ってもらえることは嬉しいと思うし声をかけるだけで少しでも気分や相談が打ち明けられるようになると思います。
- ・まずはヤングケアラーの人が気負わずにちゃんと相談できる相手や環境を市や学校が作らなければいけないと思う。
- ・学生などが気軽に訪れることができるように、知り合いの多い学校内のみならず、こもれびの森といった大規模な公共施設にカウンセリングルームを設置してはいかがでしょうか。

(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・何を思っているのかを伏せてる人が多いと思うので、誰かに話せる場を設けてほしい。
- ・ヤングケアラーの方は、自分に使える時間がとても少なくやっていると思うし、周りに助けを求められない状況だと思う。なので、もっと電話とかのサービスを有名にして少しでも心が和らぐようにしたり、お手伝いサービスを無償で提供できるような環境を作ることがその人たちにとっていいことだと思う。

(3) 学校におけるサポートや配慮

- ・そのことを先生などに知ってもらい学校を遅れてもいいようにする。
- ・勉強や提出物などができていないことが多くても、先生たちも感じ取って相談に乗ってあげたり、保護施設をすすめたり、生徒に寄り添ってあげるのが周りの人の役目だと思う。
- ・リモートなどインターネットを使った授業を受けられるようになる事
- ・家族の世話をしている人と学校などがしっかり連携することが大切だと思いました。
- ・学校に行きたくても来れない子に個別授業をしてあげる。本人が望めば、学年の人やクラスの人に状況を説明して理解してもらえるようにする。
- ・子どもが自分のために使える時間を増やすために、頼れる大人がサポートする。勉強が存分にできない子どものために、学校で先生方が勉強をサポートする。

(4) 周囲(大人や友達)の理解や寄り添い

- ・ヤングケアラーの人の周りの人が、その人の事を理解して、サポートすること。
- ・大人が見て見ぬふりをしないで、もっと子どもに関わるべきだと思う。事が大きくなる前に対応してほしい。
- ・信用できる誰かが代わりにお世話したり寄り添ったりすることが必要だと思う。

(5) 福祉サービスやボランティア等による支援

- ・お世話を任せられる施設があると良い。
- ・ヤングケアラーの人に寄り添ってあげられるようなサービスを作ることが必要かなと思いました。
- ・介護施設に簡単に入れる。
- ・子どもが担うべきことではないので、代わりに代行できるサービスがあるといいと思う。子どもは自分の将来のために勉強できる権利があるので行政などがサポートをしていくと楽になると思った。
- ・お世話をしている人にやり方やサポートしてくれる人が必要だと思います。

(6) 経済的支援

- ・少しお金を渡す
- ・生活保護をヤングケアラーの方々に受けさせやすくするシステムを作って欲しい。

(7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・今回のような調査では、全て子どもの主観に則った解答がなされます。子どもの主観に囚われない多角的な視点から支援を行う事こそ必要な事だと考えます。ぜひヤングケアラーだけでなく、ケアされる親世代などへ向けた家庭規模での調査を行なってはどうでしょうか。
- ・全市民に対してアンケートを行い、その結果から、ヤングケアラーのための相談室とか、話し合いができる場所、講師によるセミナーなどを行った方がいいと思う。
- ・そもそもヤングケアラーのことについて知らない人もいると思うからまずは知ってもらって理解してあげることがいいと思う。
- ・ヤングケアラーについて学ぶ機会をつくる。

(8) ヤングケアラー同士の情報交換の場

- ・同じ立場の人と話し合う場を設ける。

(9) その他支援の充実(自分のための時間をつくってあげるなど)

- ・お世話しながら色々やるのは大変だと思うので、教育委員会などに相談して老人ホームみたいなものを作ってもらおう。
- ・家族のお世話ばかりではなく自分の時間を作ってあげてほしい。また勉強面や金銭面で

のサポートなども必要だと思う。

- ・自由に過ごせる時間が必要だと思う。
- ・ヤングケアラーだと思う人の相談に乗ってあげたり、ヤングケアラーの人が安心して暮らせるようなサポートをつけたりしてもいいと思います。
- ・家事を手伝ってくれたり、教育機関が機能できるような仕組みを政府が整え、学習の支援をしなければならないと思う。
- ・交流会や講習会などを頻繁に開催するのではなく、大人が直接ヤングケアラーをサポートできるような素早い支援が必要だと思う。

(10)ヤングケアラーに関する感想

- ・ヤングケアラーである人たちが「家族なのだからお世話をするのが当たり前」と思っていてヤングケアラーではないと思っていることが多いと思うので、まずは気づかせてあげたり、もっと頼っていいことを教えてあげるべきだと思います。
- ・そのヤングケアラーの人の生活が、世話をしている人によって制限されないようにするのが大切だと思う。
- ・その子の悩みをまずは聞いて受け止めてあげてほしい。少しでも援助をしてあげてほしい。
- ・ヤングケアラーのサポートや話を聞き、出来るだけその人の将来が良くなるように協力すること。

(11)お世話をしている家族がいると回答した生徒の声

- ・そういうのを関係なく話せる場
- ・楽にしてあげる事。
- ・自由時間を与えること
- ・短時間になる家事の工夫など
- ・話を聞いてあげたりできる大人がいたり、その子の代わりにお世話をしてくれる人が必要だと思う。

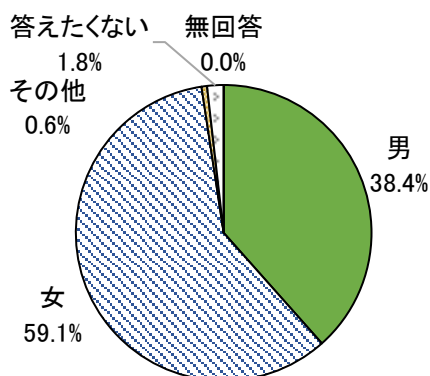
3 高校生調査

I. 基本情報

(1)性別

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

性別は、「女」が 59.1%、「男」が 38.4%、「答えたくない」が 1.8%、「その他」が 0.6% となっています。



【n=164】

No.	選択肢	件数	%
1	男	63	38.4
2	女	97	59.1
3	その他	1	0.6
4	答えたくない	3	1.8
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

(2)通学等の状況

問2 あなたは下記のどれに該当しますか(あてはまる番号1つに○)

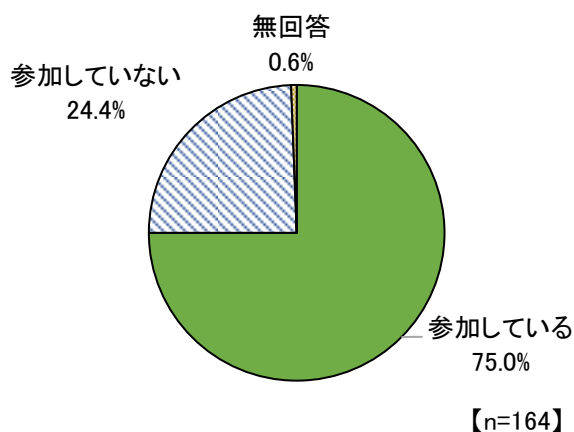
通学等の状況では全ての回答者が「高校」と回答しています。

No.	選択肢	件数	%
1	高校	164	100.0
2	専門学校	0	0.0
3	就職	0	0.0
4	アルバイト又はフリーター	0	0.0
5	家事手伝い	0	0.0
6	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

(3)部活動の参加状況

問3 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

部活動の参加状況では、「参加している」が75.0%、「参加していない」が24.4%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	参加している	123	75.0
2	参加していない	40	24.4
	無回答	1	0.6
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×部活動の参加の状況】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「参加していない」の割合が高くなっています。

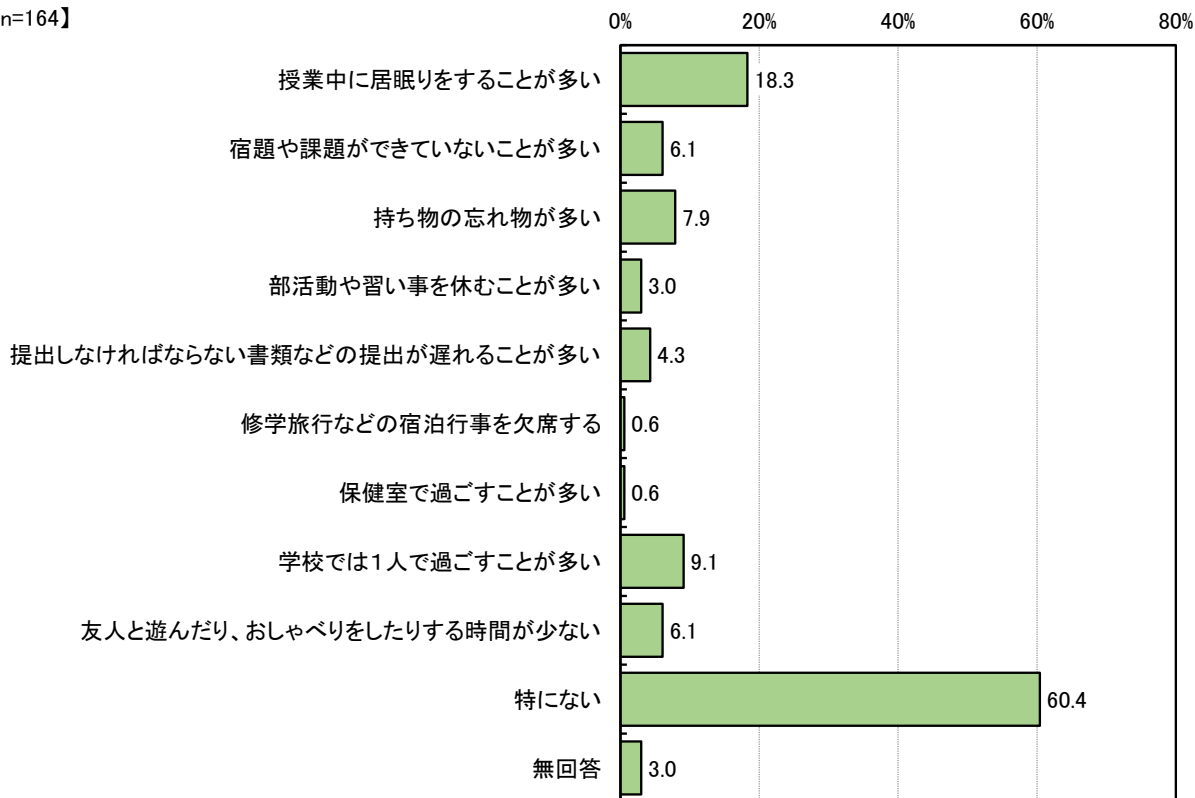
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	参加して いる	参加して いない	無回答
全体	164	123	40	1
	100.0	75.0	24.4	0.6
いる	6	4	2	0
	100.0	66.7	33.3	0.0
いない	158	119	38	1
	100.0	75.3	24.1	0.6

(4) 普段の学校生活等であてはまること

問4 普段の学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

普段の学校生活であてはまることについては、「授業中に居眠りをすることが多い」(18.3%)、「学校では1人で過ごすことが多い」(9.1%)、「持ち物の忘れ物が多い」(7.9%)などが挙げられています。また、「特にない」が60.4%で最も多くなっています。

【n=164】



No.	選択肢	件数	%
1	授業中に居眠りをすることが多い	30	18.3
2	宿題や課題ができていないことが多い	10	6.1
3	持ち物の忘れ物が多い	13	7.9
4	部活動や習い事を休むことが多い	5	3.0
5	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	7	4.3
6	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	1	0.6
7	保健室で過ごすことが多い	1	0.6
8	学校では1人で過ごすことが多い	15	9.1
9	友人と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない	10	6.1
10	特にない	99	60.4
	無回答	5	3.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等であてはまること】

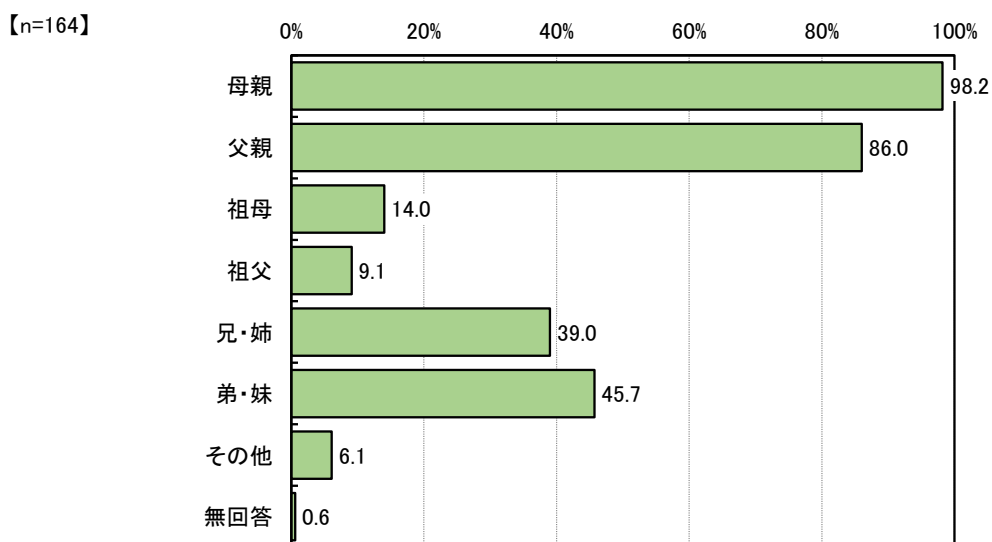
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べ、「宿題や課題ができていないことが多い」、「学校では1人で過ごすことが多い」と回答した割合が他に比べて高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	授業中に居眠りをする ことが多い	宿題や課題ができていない ことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むこと が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い	提出しなげればならない書 類が多い
全体	164 100.0	30 18.3	10 6.1	13 7.9	5 3.0	7 4.3	1 0.6	1 0.6	15 9.1	10 6.1	99 60.4	5 3.0	
いる	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	1 16.7	
いない	158 100.0	29 18.4	9 5.7	13 8.2	5 3.2	7 4.4	1 0.6	1 0.6	14 8.9	10 6.3	96 60.8	4 2.5	

(5)同居している家族

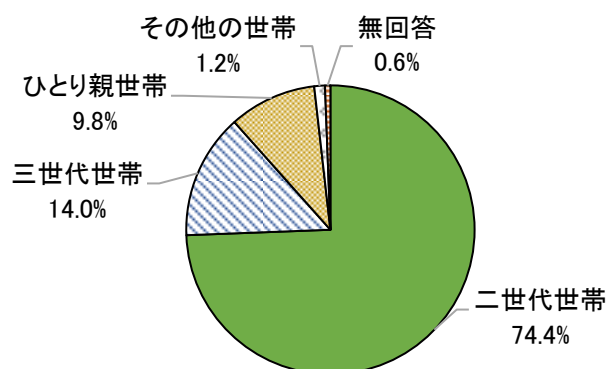
問5 現在、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

同居する家族の内訳は、「母親」が 98.2%で最も多く、次いで、「父親」が 86.0%、「弟・妹」が 45.7%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	母親	161	98.2
2	父親	141	86.0
3	祖母	23	14.0
4	祖父	15	9.1
5	兄・姉	64	39.0
6	弟・妹	75	45.7
7	その他	10	6.1
	無回答	1	0.6
	合計	164	100.0

また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は、「二世代会世帯」が最も高くなっている。



【n=164】

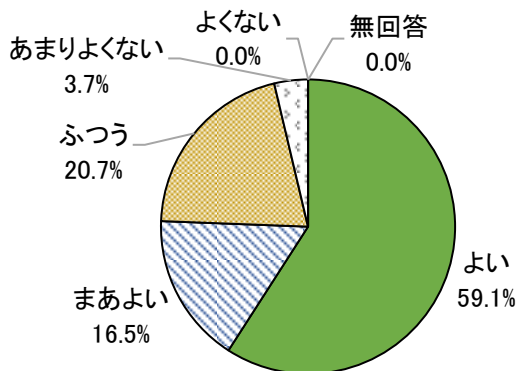
No.	選択肢	件数	%
1	二世代会世帯	122	74.4
2	三代会世帯	23	14.0
3	ひとり親世帯	16	9.8
4	その他の世帯	2	1.2
	無回答	1	0.6
	合計	164	100.0

世帯	同居する家族
二世代会世帯	母親、父親、兄・姉、弟・妹、その他(ペットなど)
三代会世帯	母親、父親、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)
ひとり親家庭	母親/父親のいずれか、兄・姉、弟・妹、その他(親戚、ペットなど)
その他の世帯	祖母、祖父母、その他(寮生活など)

(6)健康状態

問6 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、よいと回答した割合(「よい」と「まあよい」の合計)が 75.6%となっています。



【n=164】

No.	選択肢	件数	%
1	よい	97	59.1
2	まあよい	27	16.5
3	ふつう	34	20.7
4	あまりよくない	6	3.7
5	よくない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×健康状態】

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「よい」と回答した割合は低くなっています。

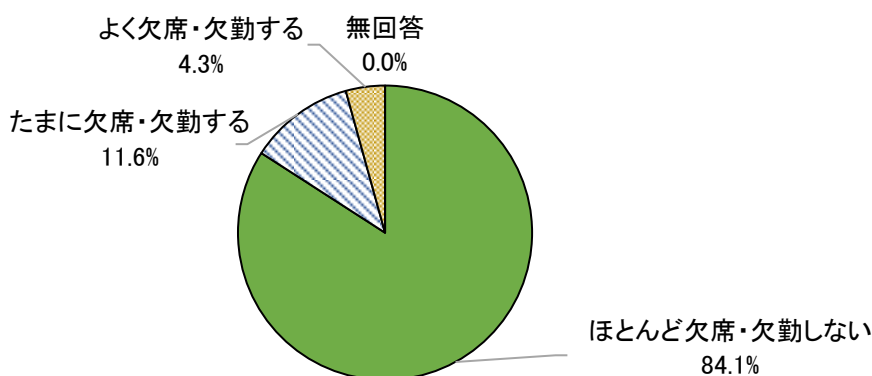
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまり よくない	よくない	無回答
全体	164	97	27	34	6	0	0
	100.0	59.1	16.5	20.7	3.7	0.0	0.0
いる	6	2	2	1	1	0	0
	100.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
いない	158	95	25	33	5	0	0
	100.0	60.1	15.8	20.9	3.2	0.0	0.0

Ⅱ. ふだんの生活について

(1)出席・出勤状況について

問7 学校(職場)への通学・通勤状況について教えてください。
出席・出勤状況について(あてはまる番号1つに○)

出席・出勤状況については、「ほとんど欠席・欠勤しない」が84.1%で最も多く、「たまに欠席・欠勤する」が11.6%、「よく欠席・欠勤する」が4.3%となっています。



【n=164】

No.	選択肢	件数	%
1	ほとんど欠席・欠勤しない	138	84.1
2	たまに欠席・欠勤する	19	11.6
3	よく欠席・欠勤する	7	4.3
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×出席・出勤の状況】

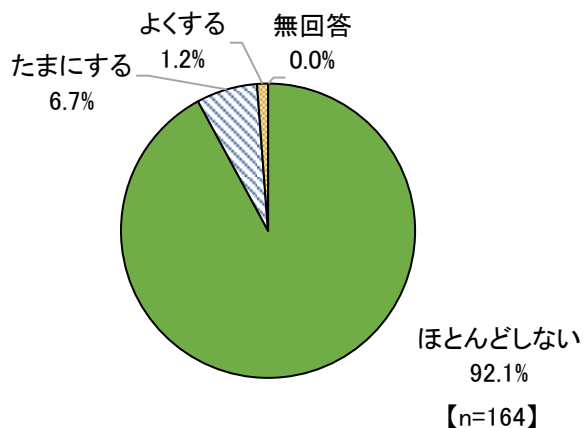
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席・欠勤する」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど 欠席・欠勤 しない	たまに 欠席・欠勤 する	よく欠席・ 欠勤する	無回答
全体	164	138	19	7	0
	100.0	84.1	11.6	4.3	0.0
いる	6	3	3	0	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
いない	158	135	16	7	0
	100.0	85.4	10.1	4.4	0.0

(2)遅刻や早退について

問8 遅刻や早退について(あてはまる番号1つに○)

遅刻や早退は、「ほとんどしない」が 92.1%で最も多く、「たまにする」が 6.7%、「よくする」が 1.2%となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	ほとんどしない	151	92.1
2	たまにする	11	6.7
3	よくする	2	1.2
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況】

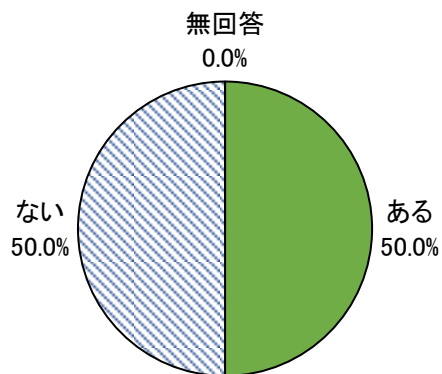
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ほとんど しない	たまに する	よくする	無回答
全体	164	151	11	2	0
	100.0	92.1	6.7	1.2	0.0
いる	6	3	2	1	0
	100.0	50.0	33.3	16.7	0.0
いない	158	148	9	1	0
	100.0	93.7	5.7	0.6	0.0

(3)現在の悩み

問9 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号1つに○)

現在の悩みについては、「ある」が 50.0%、「ない」が 50.0%となっています。



【n=164】

No.	選択肢	件数	%
1	ある	82	50.0
2	ない	82	50.0
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×現在の悩み】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「ある」の割合が高くなっています。

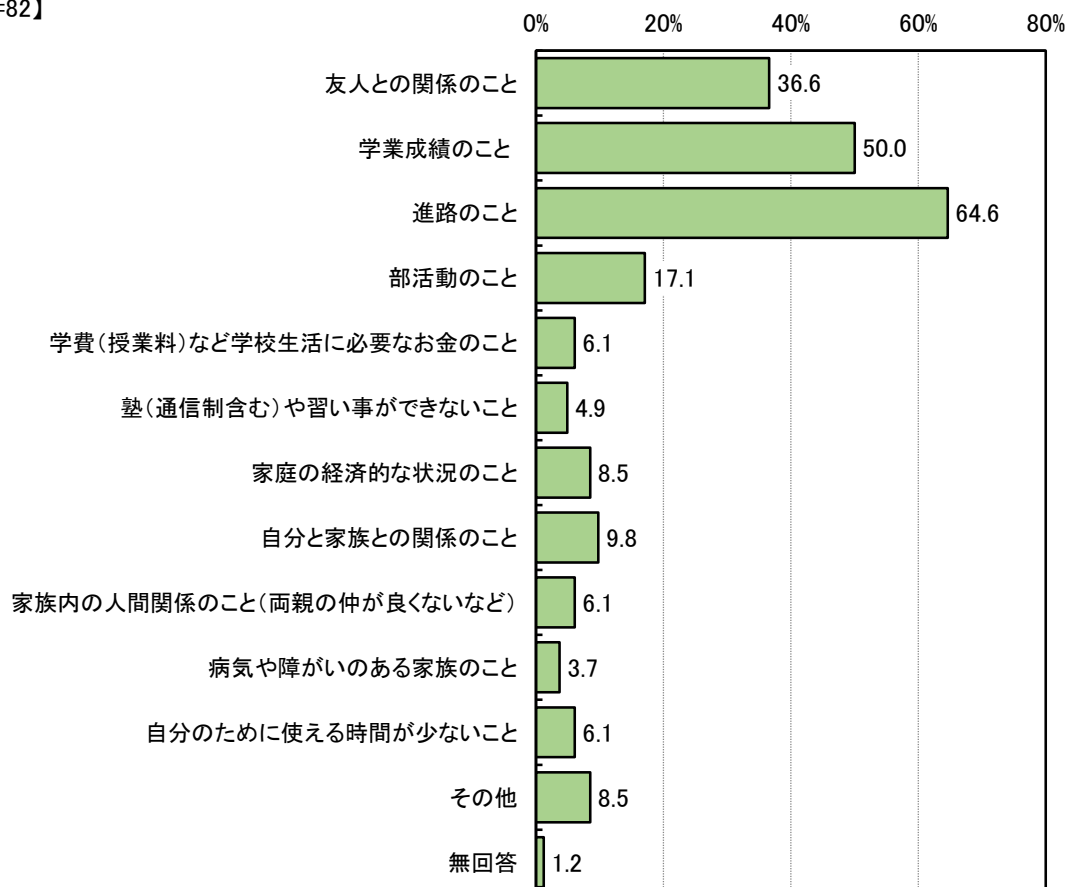
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
全体	164	82	82	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
いる	6	5	1	0
	100.0	83.3	16.7	0.0
いない	158	77	81	0
	100.0	48.7	51.3	0.0

(4)悩みの内容

問9-1 問9で「1 ある」と回答した人にお聞きします。
 どのようなことに悩んでいますか。(あてはまる番号すべてに○)

悩みがあると回答した人に、どのようなことで悩んでいるかを聞いたところ、「進路のこと」が64.6%で最も多く、次いで、「学業成績のこと」が50.0%、「友人との関係のこと」が36.6%などとなっています。

【n=82】



No.	選択肢	件数	%
1	友人との関係のこと	30	36.6
2	学業成績のこと	41	50.0
3	進路のこと	53	64.6
4	部活動のこと	14	17.1
5	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	5	6.1
6	塾（通信制含む）や習い事ができないこと	4	4.9
7	家庭の経済的な状況のこと	7	8.5
8	自分と家族との関係のこと	8	9.8
9	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	5	6.1
10	病気や障がいのある家族のこと	3	3.7
11	自分のために使える時間が少ないこと	5	6.1
12	その他	7	8.5
	無回答	1	1.2
	合計	82	100.0

【お世話をしている家族の有無×悩んでいること】

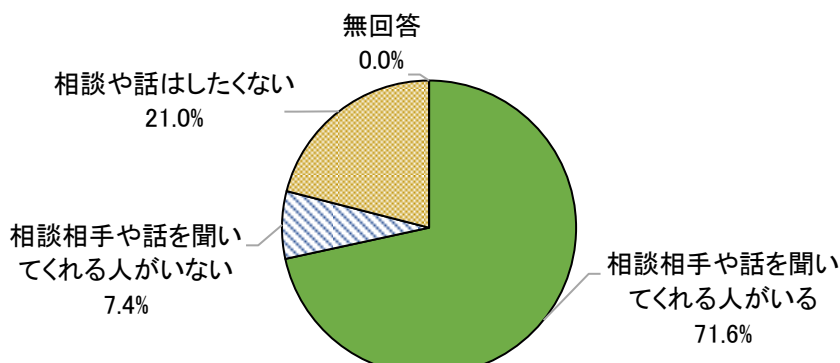
お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」、「塾(通信制含む)や習い事ができないこと」、「家庭の経済的な状況のこと」、「病気や障がいのある家族のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」と回答した割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	塾(通信制含む)や習い事ができないこと	家庭の経済的な状況のこと	自分と家族との関係のこと	親の仲が良くないなど(両親)	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	無回答
全体	82 100.0	30 36.6	41 50.0	53 64.6	14 17.1	5 6.1	4 4.9	7 8.5	8 9.8	5 6.1	3 3.7	5 6.1	7 8.5	1 1.2	
いる	5 100.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	
いない	77 100.0	28 36.4	40 51.9	50 64.9	13 16.9	3 3.9	3 3.9	5 6.5	8 10.4	5 6.5	2 2.6	4 5.2	7 9.1	1 1.3	

(5) 悩みを聞いてくれる人の有無

問 10 問9-1で「1」～「12」のいずれを回答した方にお聞きします。
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

悩みがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 71.6%で最も多く、次いで、「相談や話はしたくない」が 21.0%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が 7.4%となっています。



【n=81】

No.	選択肢	件数	%
1	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	58	71.6
2	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	6	7.4
3	相談や話はしたくない	17	21.0
	無回答	0	0.0
	合計	81	100.0

【お世話をしている家族の有無×悩みを聞いてくれる人の有無】

お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べ、「相談や話を聞いてくれる人がいない」の割合が高くなっています。

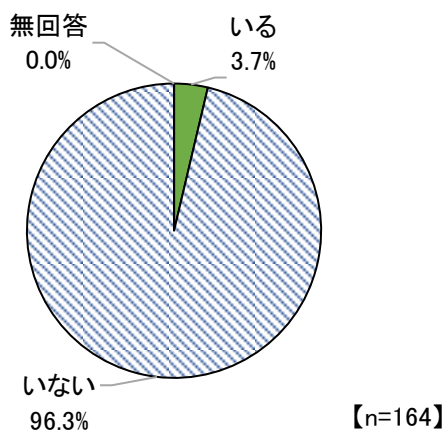
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
全体	81	58	6	17	0
	100.0	71.6	7.4	21.0	0.0
いる	5	2	2	1	0
	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0
いない	76	56	4	16	0
	100.0	73.7	5.3	21.1	0.0

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

(1)お世話をしている家族の有無

問 11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)
 ※ここでの「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話のなどをするこ
 とです。動物などペットのお世話は含まれません。

自分がお世話をしている家族がいると回答した人の割合は、3.7%(6人)となってい
 ます。



No.	選択肢	件数	%
1	いる	6	3.7
2	いない	158	96.3
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【家族構成×お世話している家族の有無】

家族構成別でお世話を必要としている家族をみると、世帯での大きな差はみられませ
 んでした。

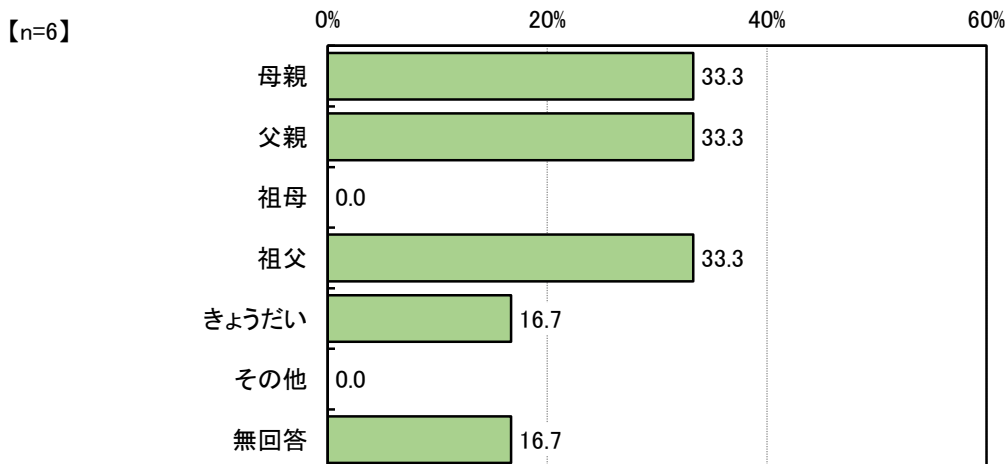
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体	164 100.0	6 3.7	158 96.3	0 0.0
二世帯世帯	122 100.0	3 2.5	119 97.5	0 0.0
三世帯世帯	23 100.0	1 4.3	22 95.7	0 0.0
ひとり親世帯	16 100.0	1 6.3	15 93.8	0 0.0
その他の世帯	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

(2)お世話を必要としている家族

問12 問11で「1.いる」と回答した人にお聞きします。

お世話を必要としている方（あてはまる番号すべてに○）

お世話を必要としている家族については、「母親」、「父親」、「祖父」がそれぞれ 33.3%（2人）、「きょうだい」が 16.7%（1人）となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	母親	2	33.3
2	父親	2	33.3
3	祖母	0	0.0
4	祖父	2	33.3
5	きょうだい	1	16.7
6	その他	0	0.0
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

【家族構成×お世話をしている家族】

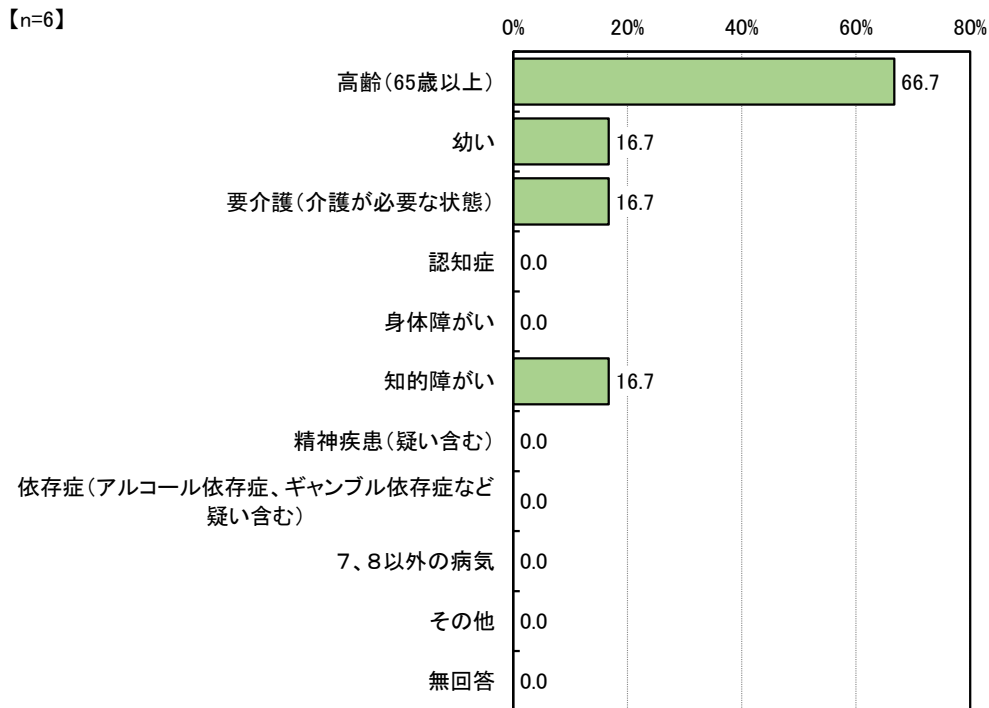
上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	母親、父親	祖母、祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7
二世帯世帯	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
三世帯世帯	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ひとり親世帯	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他の世帯	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

(3)お世話をしている家族の状況

問 13 お世話を必要としている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。
お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方について教えてください。

a)お世話を必要としている方の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

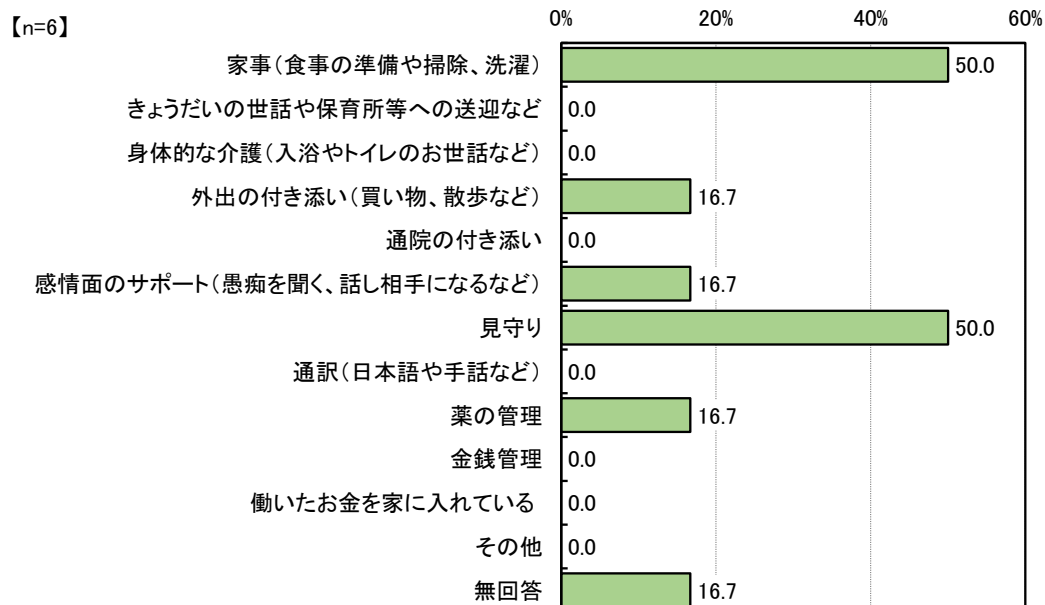
お世話をしている方の状況は、「高齢(65 歳以上)」が 66.7%(4人)、「若い」、「要介護(介護が必要な状態)」、「知的障がい」がそれぞれ 16.7%(1人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	高齢 (65歳以上)	4	66.7
2	若い	1	16.7
3	要介護 (介護が必要な状態)	1	16.7
4	認知症	0	0.0
5	身体障がい	0	0.0
6	知的障がい	1	16.7
7	精神疾患 (疑い含む)	0	0.0
8	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む)	0	0.0
9	7、8 以外の病気	0	0.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	6	100.0

b)あなたがやっているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話している内容は、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「見守り」がともに 50.0% (3人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	3	50.0
2	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	0	0.0
3	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0	0.0
4	外出の付き添い（買い物、散歩など）	1	16.7
5	通院の付き添い	0	0.0
6	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	1	16.7
7	見守り	3	50.0
8	通訳（日本語や手話など）	0	0.0
9	薬の管理	1	16.7
10	金銭管理	0	0.0
11	働いたお金を家に入れている	0	0.0
12	その他	0	0.0
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

【お世話をしている家族×お世話の内容】

お世話の内容については、お世話を必要としている家族が「母親・父親」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」、「見守り」が高くなっています。

「祖母、祖父」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「薬の管理」が高くなっています。

上段:件数 下段:%	回答者数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送迎など	きょうだいの世話や保育所等への	身体的な介護（入浴やトイレのお	ど）	外出の付き添い（買い物、散歩な	通院の付き添い	話し相手になるなど）	感情面のサポート（愚痴を聞く、	見守り	通訳（日本語や手話など）	薬の管理	金銭管理	働いたお金を家に入れている	その他	無回答
全体	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
母親、父親	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
祖母、祖父	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
きょうだい	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

b-1)b)で「11. 働いたお金を家に入れている」と回答した方にお聞きします。

頻度と金額について教えてください。

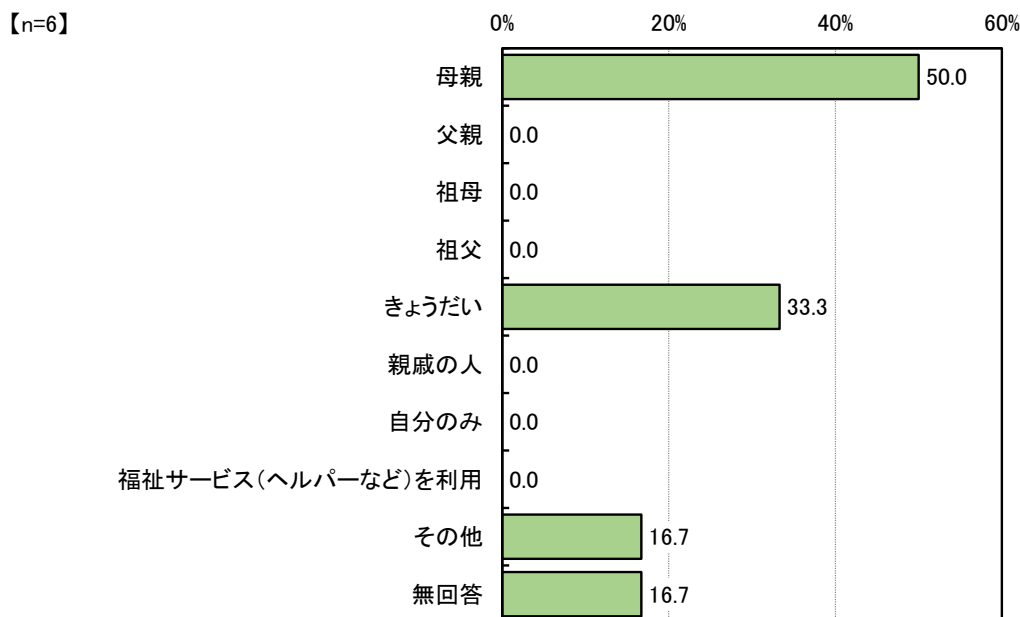
「働いたお金を家に入れている」と回答した方はいませんでした。

※以下は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。

(4)お世話を一緒にしている人

問 14 お世話は誰と行っていますか。

お世話を一緒にしている人は、「母親」が 50.0%(3人)で最も多く、次いで、「きょうだい」が 33.3%(2人)となっています。



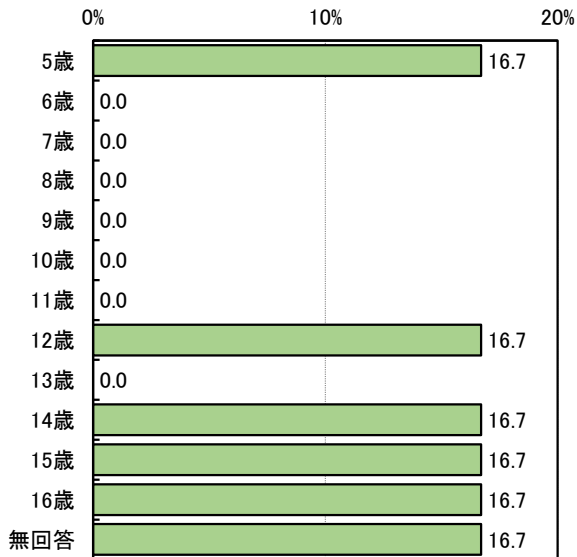
No.	選択肢	件数	%
1	母親	3	50.0
2	父親	0	0.0
3	祖母	0	0.0
4	祖父	0	0.0
5	きょうだい	2	33.3
6	親戚の人	0	0.0
7	自分のみ	0	0.0
8	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	0	0.0
9	その他	1	16.7
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(5)お世話をはじめた年齢

問 15 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢を教えてください。
 (はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)

お世話をはじめた年齢は、「5歳」、「12歳」、「14歳」、「15歳」、「16歳」がそれぞれ1人ずつとなっています。

【n=6】

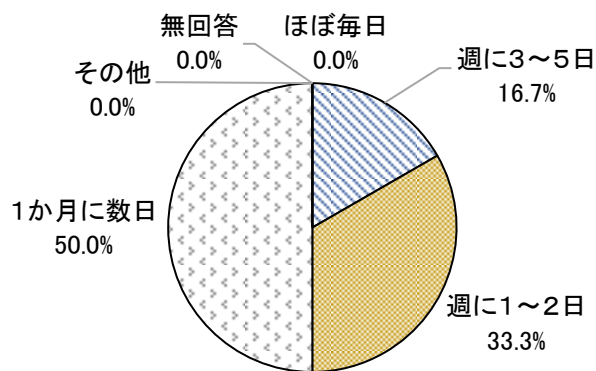


No.	選択肢	件数	%
1	5歳	1	16.7
2	6歳	0	0.0
3	7歳	0	0.0
4	8歳	0	0.0
5	9歳	0	0.0
6	10歳	0	0.0
7	11歳	0	0.0
8	12歳	1	16.7
9	13歳	0	0.0
10	14歳	1	16.7
11	15歳	1	16.7
12	16歳	1	16.7
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(6)お世話をしている頻度

問16 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

お世話をしている頻度は、「1か月に数日」が50.0%(3人)、「週に1～2日」が33.3%(2人)、「週に3～5日」が16.7%(1人)となっています。



【n=6】

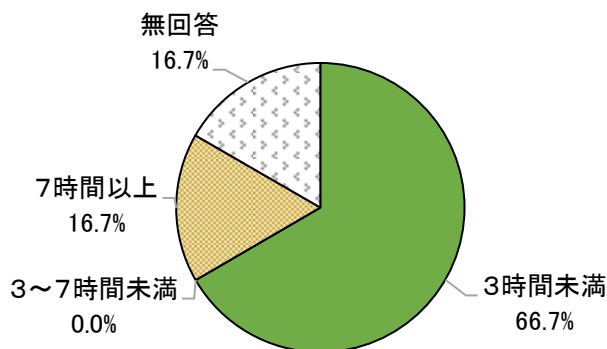
No.	選択肢	件数	%
1	ほぼ毎日	0	0.0
2	週に3～5日	1	16.7
3	週に1～2日	2	33.3
4	1か月に数日	3	50.0
5	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	6	100.0

(7)お世話をしている時間

問 17 平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。

(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください。)

平日にお世話をしている時間は、「3時間未満」が 66.7%(4人)、「7時間以上」が 16.7%(1人)となっています。



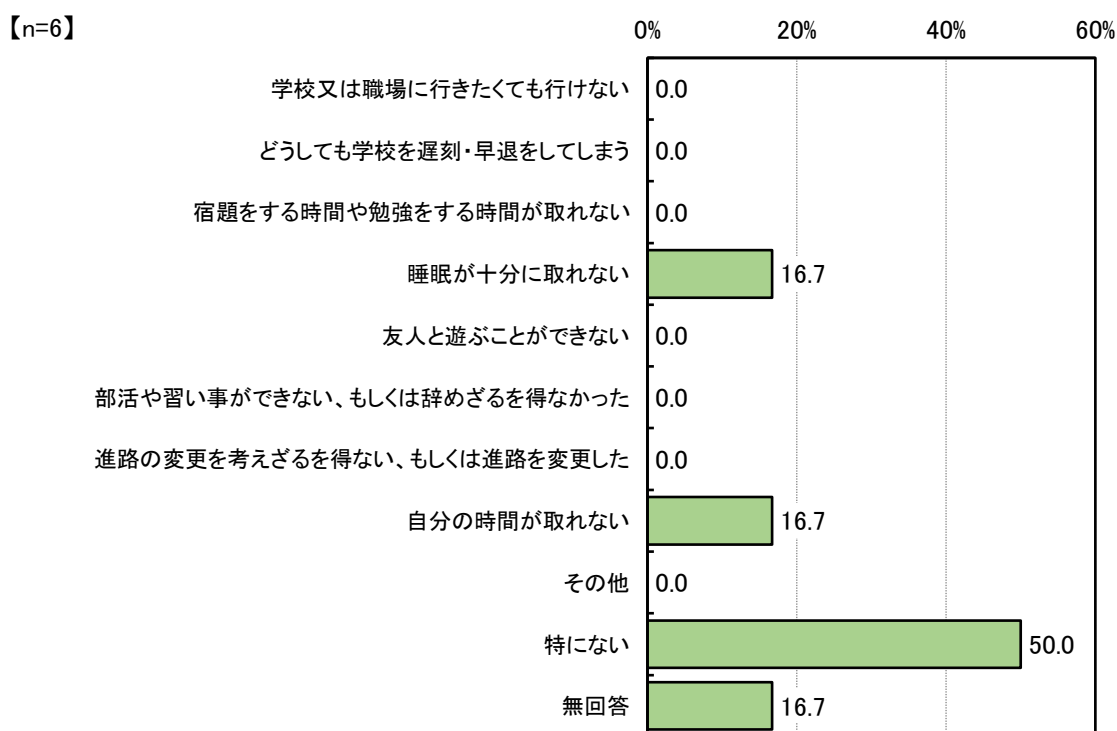
【n=6】

No.	選択肢	件数	%
1	3時間未満	4	66.7
2	3～7時間未満	0	0.0
3	7時間以上	1	16.7
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(8)お世話をしていることでやりたいけど、できていないこと

問 18 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしていることでやりたいけど、できていないことについては、「特にない」が50.0%(3人)、「睡眠が十分に取れない」、「自分の時間が取れない」がともに16.7%(1人)となっています。

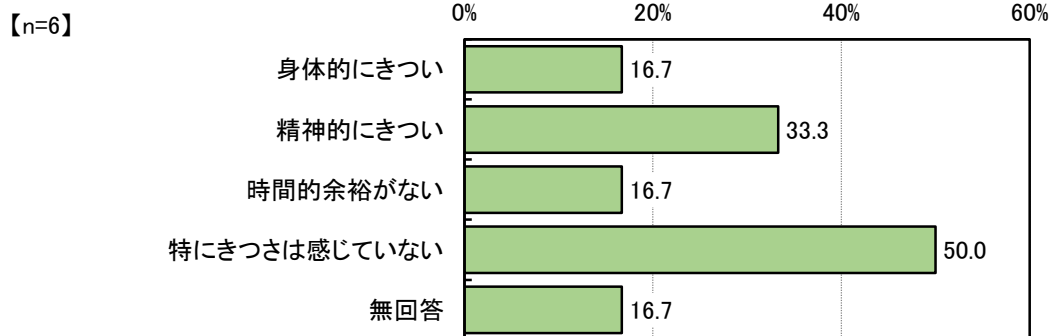


No.	選択肢	件数	%
1	学校又は職場に行きたくても行けない	0	0.0
2	どうしても学校を遅刻・早退をしてしまう	0	0.0
3	宿題をする時間や勉強をする時間が取れない	0	0.0
4	睡眠が十分に取れない	1	16.7
5	友人と遊ぶことができない	0	0.0
6	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	0	0.0
7	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	0	0.0
8	自分の時間が取れない	1	16.7
9	その他	0	0.0
10	特にない	3	50.0
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(9)お世話の大変さ

問 19 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をすることを感じている大変さについては、「特にきつさは感じていない」が 50.0%(3人)、「精神的にきつい」が 33.3%(2人)、「時間的余裕がない」、「身体的にきつい」がともに 16.7%(1人)となっています。

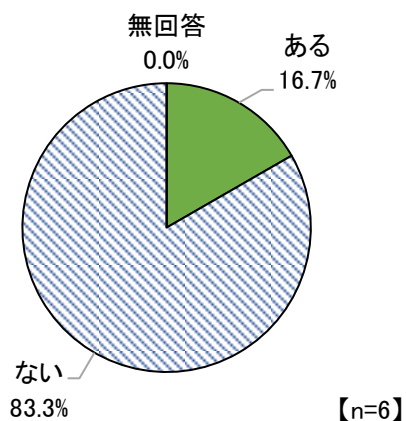


No.	選択肢	件数	%
1	身体的にきつい	1	16.7
2	精神的にきつい	2	33.3
3	時間的余裕がない	1	16.7
4	特にきつさは感じていない	3	50.0
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(10)お世話について相談した経験

問 20 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験は、「ない」が 83.3%(5人)、「ある」が 16.7%(1人)となっています。



No.	選択肢	件数	%
1	ある	1	16.7
2	ない	5	83.3
	無回答	0	0.0
	合計	6	100.0

(11)お世話についての相談相手

問 21 問 20 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。
それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話についての相談相手を聞いたところ、「友人」との回答がありました(1人)。

No.	選択肢	件数	%
1	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	0	0.0
2	親戚（おじ、おばなど）	0	0.0
3	友人	1	100.0
4	学校の先生（保健室の先生以外）	0	0.0
5	保健室の先生	0	0.0
6	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	0	0.0
7	医師や看護師、その他病院の人	0	0.0
8	ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	0	0.0
9	役所や保健センターの人	0	0.0
10	近所の人	0	0.0
11	SNS上での知り合い	0	0.0
12	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	1	100.0

(12)お世話について相談したことがない理由

問 22 問 20 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。
相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、5人全員が「誰かに相談するほどの悩みではない」と回答しています。

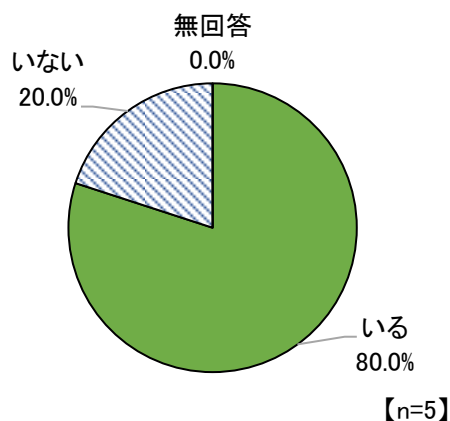
No.	選択肢	件数	%
1	誰かに相談するほどの悩みではない	5	100.0
2	家族外の人に相談するような悩みではない	0	0.0
3	誰に相談するのがよいかわからない	0	0.0
4	相談できる人が身近にいない	0	0.0
5	家族のここのため話しにくい	0	0.0
6	家族のことを知られたくない	0	0.0
7	家族に対して偏見を持たれたくない	0	0.0
8	相談しても状況が変わるとは思わない	0	0.0
9	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	合計	5	100.0

(13)お世話について話を聞いてくれる人の有無

問 23 問 20 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

お世話を必要としている家族や、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、お世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が 80.0%(4人)、「いない」が 20.0%(1人)となっています。



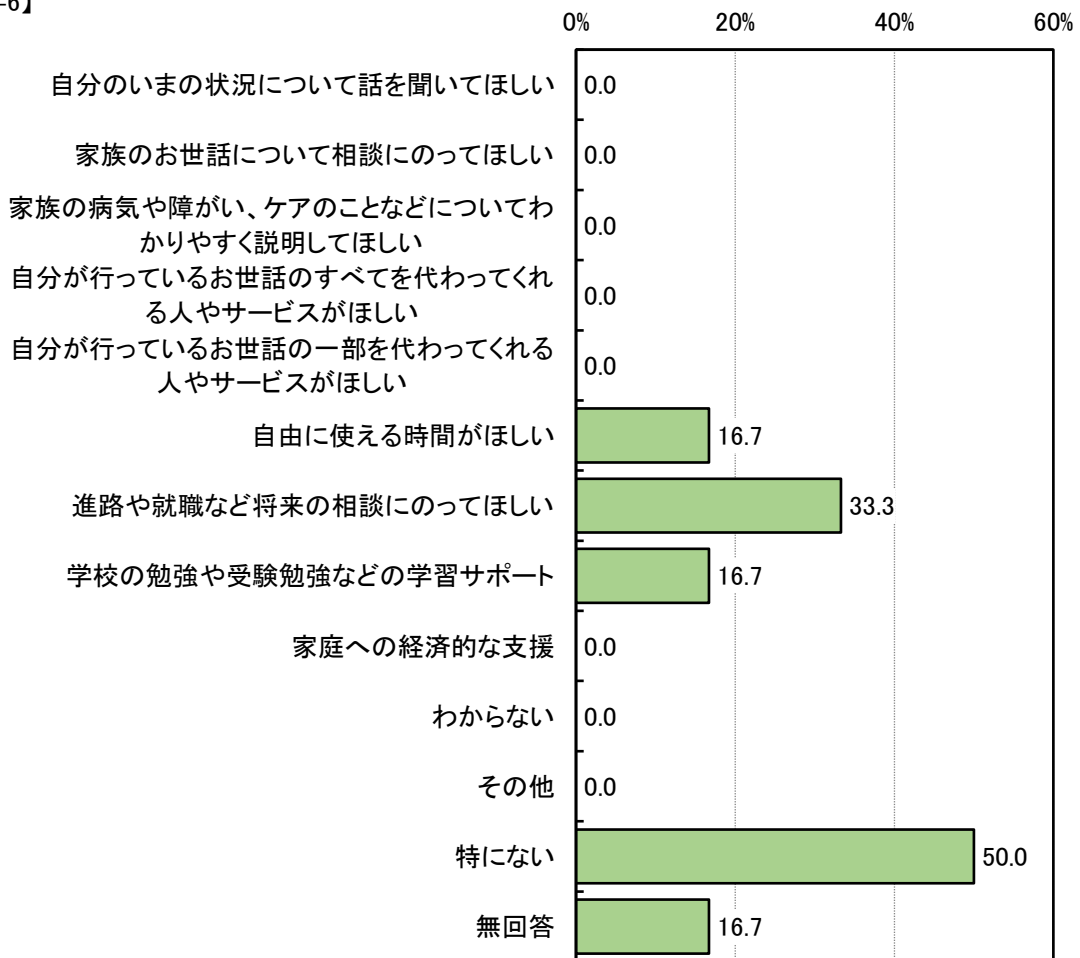
No.	選択肢	件数	%
1	いる	4	80.0
2	いない	1	20.0
	無回答	0	0.0
	合計	5	100.0

(14)学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 24 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「特にない」が 50.0%で最も高くなっていますが、その他では、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強などの学習サポート」が高くなっています。

【n=6】



No.	選択肢	件数	%
1	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	0	0.0
2	家族のお世話について相談にのってほしい	0	0.0
3	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	0	0.0
4	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	0	0.0
5	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	0	0.0
6	自由に使える時間がほしい	1	16.7
7	進路や就職など将来の相談にのってほしい	2	33.3
8	学校の勉強や受験勉強などの学習サポート	1	16.7
9	家庭への経済的な支援	0	0.0
10	わからない	0	0.0
11	その他	0	0.0
12	特にない	3	50.0
	無回答	1	16.7
	合計	6	100.0

(15)希望する相談の手段

問 25 問 24 で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人にお聞きします。
 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

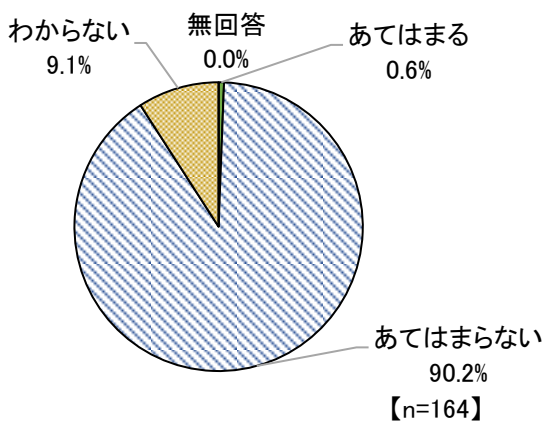
問24で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人はいませんでした。

IV. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自覚

問 26 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまる番号1つに○)

自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うかを聞いたところ、「あてはまる」と回答した人は 0.6%(1人)となっています。一方、「あてはまらない」は 90.2%、「わからない」は 9.1%となっています



No.	選択肢	件数	%
1	あてはまる	1	0.6
2	あてはまらない	148	90.2
3	わからない	15	9.1
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーの自覚】

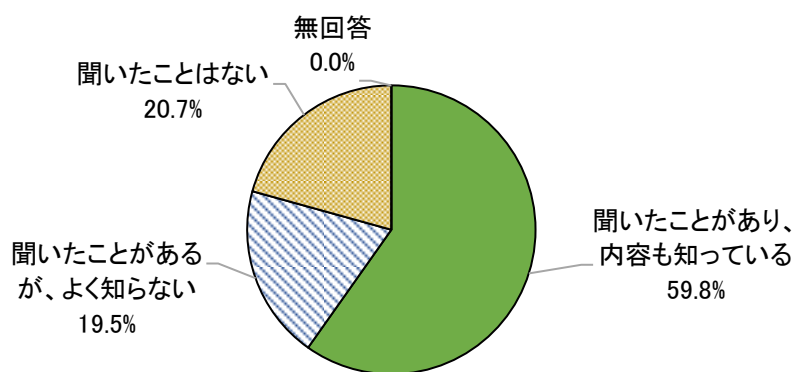
お世話をしている家族の有無別でみると、「いる」と回答した人の中で「あてはまる」と回答した人はいませんでした。

上段:件数 下段:%	回答者数 (人)	あてはま る	あてはま らない	わから ない	無回答
全体	164 100.0	1 0.6	148 90.2	15 9.1	0 0.0
いる	6 100.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
いない	158 100.0	1 0.6	146 92.4	11 7.0	0 0.0

(2)ヤングケアラーの認知度

問 27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、「聞いたことがあります、内容も知っている」が59.8%で最も多く、「聞いたことがあるが、よく知らない」(19.5%)と合わせると79.3%となっています。一方、「聞いたことはない」は20.7%となっています。



【n=164】

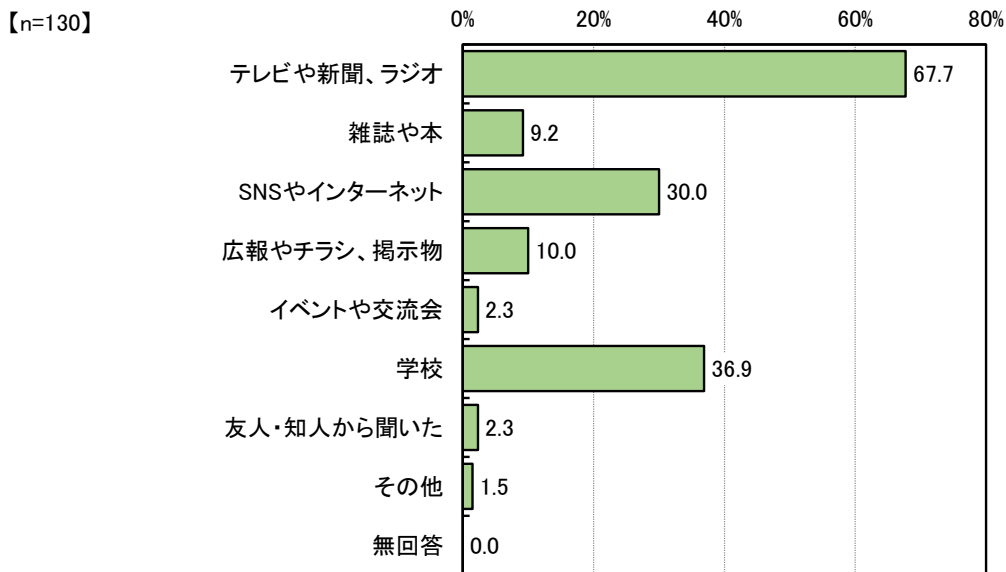
No.	選択肢	件数	%
1	聞いたことがあります、内容も知っている	98	59.8
2	聞いたことがあるが、よく知らない	32	19.5
3	聞いたことはない	34	20.7
	無回答	0	0.0
	合計	164	100.0

(3)ヤングケアラーを知ったきっかけ

問28 問27で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」、「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについては、「テレビや新聞、ラジオ」が67.7%で最も多く、次いで、「学校」が36.9%、「SNSやインターネット」が30.0%となっています。



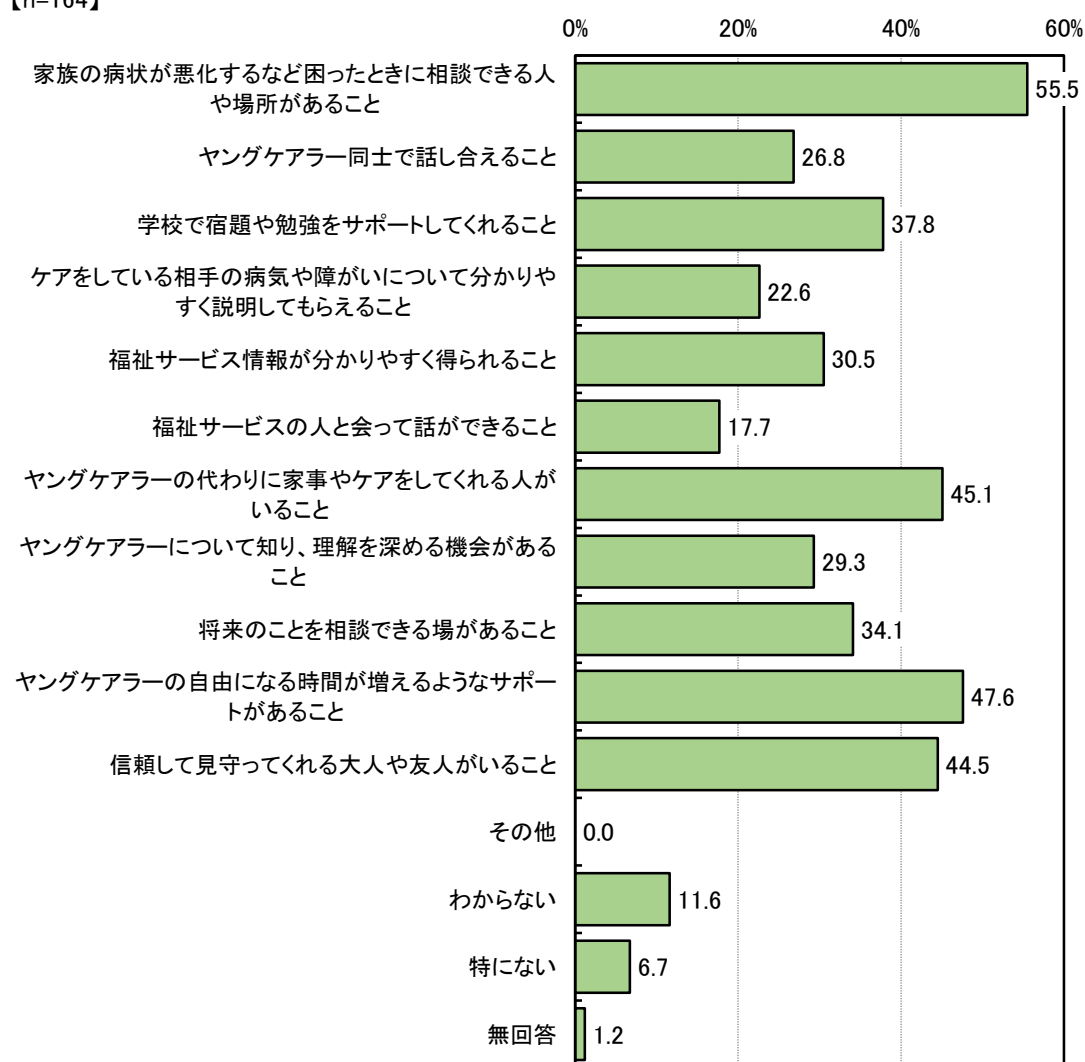
No.	選択肢	件数	%
1	テレビや新聞、ラジオ	88	67.7
2	雑誌や本	12	9.2
3	SNSやインターネット	39	30.0
4	広報やチラシ、掲示物	13	10.0
5	イベントや交流会	3	2.3
6	学校	48	36.9
7	友人・知人から聞いた	3	2.3
8	その他	2	1.5
	無回答	0	0.0
	合計	130	100.0

(4) ヤングケアラーに対する必要なサポート

問 29 ヤングケアラーに対してこんなサポートがあったらいいと思うことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「ヤングケアラー」に対するサポートについては、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が 55.5%で最も多く、次いで、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」が 47.6%、「ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること」が 45.1%などとなっています。

【n=164】



第2部 調査結果報告 《3 高校生調査》

No.	選択肢	件数	%
1	家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること	91	55.5
2	ヤングケアラー同士で話し合えること	44	26.8
3	学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	62	37.8
4	ケアをしている相手の病気や障がいについて分かりやすく説明してもらえること	37	22.6
5	福祉サービス情報が分かりやすく得られること	50	30.5
6	福祉サービスの人と会って話ができること	29	17.7
7	ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること	74	45.1
8	ヤングケアラーについて知り、理解を深める機会があること	48	29.3
9	将来のことを相談できる場があること	56	34.1
10	ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること	78	47.6
11	信頼して見守ってくれる大人や友人がいること	73	44.5
12	その他	0	0.0
13	わからない	19	11.6
14	特になし	11	6.7
	無回答	2	1.2
	合計	164	100.0

【お世話をしている家族の有無×ヤングケアラーに対する必要なサポート】

お世話をしている家族がいる場合といない場合で、大きな差異はみられません。

	回答者数（人）	家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること	ヤングケアラー同士で話し合えること	と学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	て分かりやすい説明してもらえらることに	ケアをして相手が病いや障がいについて	こと福祉サービス情報が分かりやすくなること	福祉サービスの人と会話ができること	てくれる人がいること	ヤングケアラーの代わりに家事やケアをし	る機会があること	ヤングケアラーについて知り、理解を深め	将来のことを相談できる場があること	よるようなサポートがあること	こと信頼して見守ってくれる大人や友人がいる	その他	わからない	特にな	無回答
全体	164 100.0	91 55.5	44 26.8	62 37.8	37 22.6	50 30.5	29 17.7	74 45.1	48 29.3	56 34.1	78 47.6	73 44.5	0 0.0	19 11.6	11 6.7	2 1.2			
いる	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0			
いない	158 100.0	90 57.0	43 27.2	61 38.6	37 23.4	50 31.6	29 18.4	72 45.6	46 29.1	56 35.4	77 48.7	71 44.9	0 0.0	18 11.4	10 6.3	2 1.3			

V. 自由記述について

問 30 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを何でも自由にお書きください。

以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・子どもからでも気軽に相談できる場所が必要
- ・困ったことがあったらすぐ相談できる環境
- ・相談しやすい場所をつくる
- ・頼れる場所があり、頼れる人がいること

(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・以前ヤングケアラーが「ヤングケアラーの中には家族の世話が苦じゃない人もいるし、必ずしも支援が必要という訳ではない人もいる」と話す記事を見た。ひとりひとりが、家族の世話をしていることに対してどのような気持ちを抱いているかによって対応は変えるべきだと思う。
- ・本人に会って困っていること、何かできることはないかを聞き、何もないとこたえたとしても、遠慮したり本当の気持ちを隠してしまう人もいる可能性があると思うので、なんとか気持ちを聞き出せるような人が必要だと思う。

(3) 学校におけるサポートや配慮

- ・リモート授業をコロナ禍以外でも常設してほしい。
- ・家にいても受けられるオンライン授業の推進
- ・学生であれば、担任の教師を始め、理解があり事情を知っている大人がいるということ。
- ・利用しやすい、気軽に話せそうなカウンセラーが学校や図書館にいたらいい。

(4) 周囲(大人や友達)の理解や寄り添い

- ・積極的に声をかけて悩みや困り事を聞く
- ・家族の世話をしている子どもの代わりに他の大人が家事とかを手伝うこと
- ・気にかけているよという挨拶をすることから会話につなげることかな。
- ・話を聞いてくれる大人が必要
- ・話を聞いてくれる人、場所があるだけで安心だと思う。

(5) 福祉サービスやボランティア等による支援

- ・子ども食堂など安い値段または無料で食事ができること。
- ・もしものときにお世話を変わってくれるサービス

- ・ヤングケアラーの人がそうじゃない人と同じように友達と遊んだり、勉強したりできるほどの時間の余裕を確保してあげるために、ヤングケアラーの人がケアする人を代わりにサポートする施設が必要だと思う。
- ・朝ご飯の支援
- ・無償でヤングケアラーがしている仕事を代行してくれる人を作る。ex)学校の課題や勉強をしているときに小さい兄弟達の面倒を見てくれる人を見つける。

(6) 経済的支援

- ・ヤングケアラーお小遣い制度

(7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・ヤングケアラーをもっと知ってもらうためにポスターやチラシを貼り、興味をもってもらいボランティアなど手伝ってくれる人を探す。ポスターやチラシはよく見るところに貼る。
例 トイレ、駅の改札(Suica をタッチする場所付近)
- ・ヤングケアラーであることにより、勉学等が疎かになってしまうことを理解せず、ただ本人の努力が足りないなどと無責任なことを思わないでほしい。ヤングケアラーとは何かをしっかりと伝えられるようにメディア等で取り上げて欲しい。
- ・ヤングケアラーについて世の中の人達に理解が深まること。ヤングケアラーにしっかりした教育、生活保護を与えられること。
- ・ヤングケアラーについて理解を深める機会を設け、ヤングケアラーということを本人が言いやすくなるような環境づくりが必要だと思います。
- ・ヤングケアラーの実態をテレビやYouTubeを通して世間に伝えること。
- ・言葉の知名度をあげてみんなが問題視の観点をもつ

(8) その他支援の充実(自分のための時間をつくってあげるなど)

- ・お世話をすることによってかけてしまう部分をどこかで補う必要があるためその環境を用意してあげる
- ・お世話を代わってもらえるような頼れる大人や専門家が必要だと思う。
- ・その子が自分の時間を確保できるようなサポートを周りがしてあげること
- ・ヤングケアラーの人が勉強や趣味や将来の事を考えたりする「自分の時間」が必要だと思います。
- ・負担にならないような環境を整えてあげられるようにしてほしいです。

(9) ヤングケアラーに関する感想

- ・1人で大変だと思うから分かりあえる機会とみんなで助け合える環境作りが必要だと思います。
- ・子どもの負担をできるだけ減らしてほしい。

(10)お世話をしている家族がいると回答した児童の声

- ・先生が生徒とちゃんと向き合ってくれること。
- ・両親が働いているので夕食の提供は子ども達で分担している。

4 調査結果とりまとめ、考察など

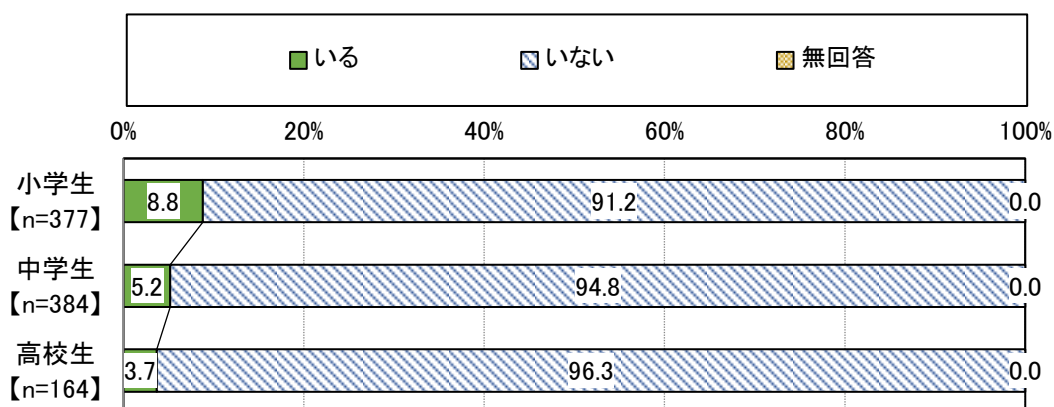
I. 調査結果とりまとめ

(1)お世話をしている家族の有無について

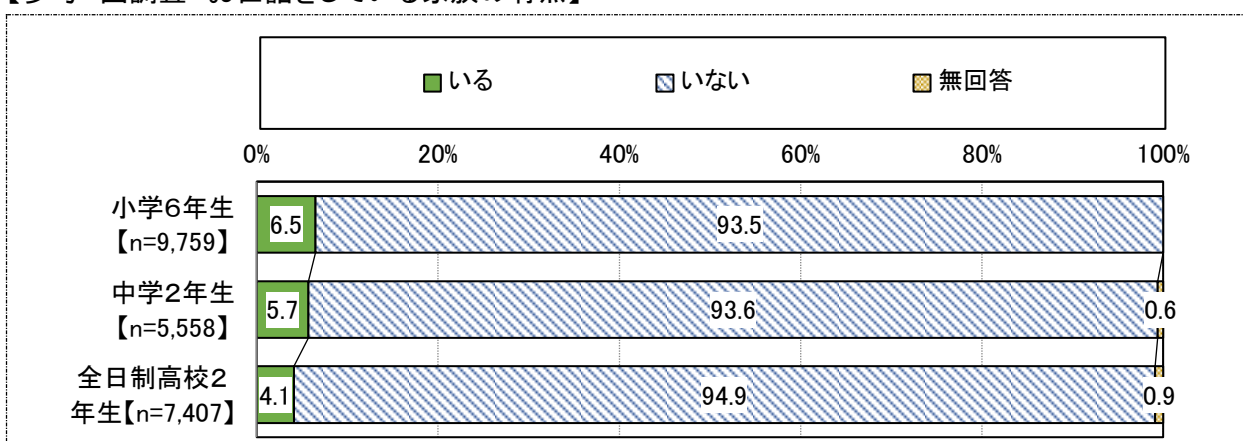
自分がお世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、小学生で 8.8%(33人)、中学生で 5.2%(20人)、高校生で 3.7%(6人)となっています。

国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、国の調査結果と概ね近似した傾向であることが推察されます。

○お世話をしている家族の有無



【参考 国調査 お世話をしている家族の有無】



☞小学6年生：日本総合研究所「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」令和4年3月

☞中学2年生、全日制高校2年生：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」令和3年3月

(2)お世話の対象、内容

お世話をしている対象については、きょうだいが高齢ですが、親や祖父母をお世話をしている子どももいました。

お世話をしている理由は「若い」ことを理由にしたものが高くなっていましたが、高齢や介護、知的障がいといったことを理由にした回答もありました。

お世話の内容については、小学生では、「見守り」が最も多く、次いで、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「きょうだいの世話や送り迎え」、中学生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も多く、次いで、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」、「外出の付き添い(買い物、散歩など)」、「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」、高校生では「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「見守り」などが高く、各世代でお世話の対象や内容が変化しています。

お世話を一緒にしている人については、小・中学生、高校生とも「母親」が最も高く、全体の半数前後となっています。

一方で、「自分のみ」との回答もあることに加え、「福祉サービス(ヘルパーなど)を利用」との回答は少ないことから、単独でお世話をしている子どもの孤立を防ぐため、家族以外の支援の希望があった場合に対応できる環境を整えることについても、検討していく必要があるものと考えられます。

お世話の頻度については、小・中学生、高校生とも「ほぼ毎日」が最も高く、お世話に費やしている時間については、小・中学生、高校生とも平日は「3時間未満」が最も高くなっています。

(3)お世話の影響

健康状態については、お世話をしている家族がいる場合といない場合を比べて、顕著な差異は見られていないが、お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「よい」と回答した割合が低くなっています。

学校生活においては、お世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、欠席、遅刻や早退が「たまにある」と回答した割合や、「提出物の提出を遅れることが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「宿題ができていないことが多い」などの割合が高くなっています。

また、お世話をしているために、やりたいけどできないことについては、「特になし」が6割以上となっているものの、その他に、「自分の時間が取れない」、「宿題など勉強する時間が取れない」といった回答もあるなど、学校生活におけるこのような支障の状況は、背景に家族のお世話といった、ヤングケアラーの可能性を示唆する兆候となりうると考えられます。

また、家族のお世話をしている場合の現在の悩みや困りごとについては、家族に関する悩みや困りごとを抱えている傾向があることがうかがえました。

(4)お世話についての相談の状況・必要なサポート

お世話について相談した経験は、「ある」と2～3割が回答しています。

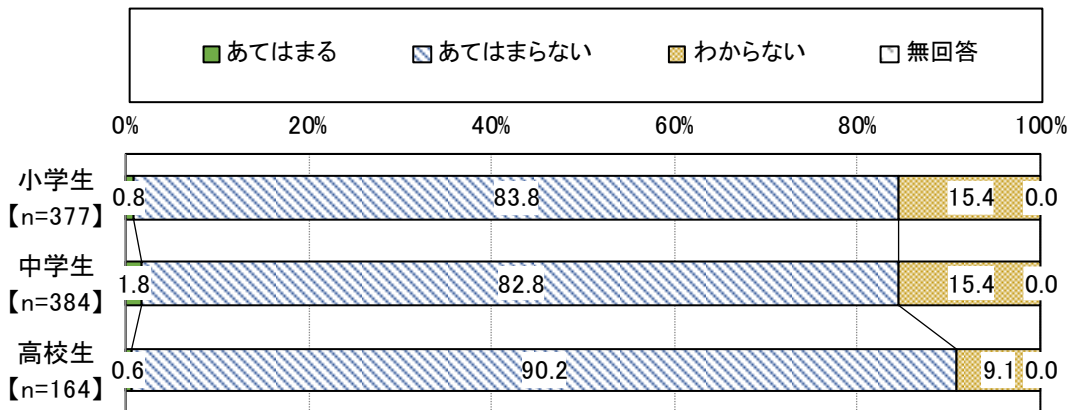
相談相手については、相談した人は、家族や友人のほかに、学校の先生、福祉関係、役所、近所の人、SNS 上での知り合いと回答もありました。

一方で、お世話について相談したことがない理由は、「誰かに相談するほどの悩みではない」が高く、他には、「相談しても状況が変わると思わない」、「家族のこのため話しにくい」などの回答があることから、悩みや困りごとを抱えていたとしても、悩みが潜在化している可能性もあります。

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、いずれも「特にない」が最も多い(小学生 60.6%、中学生 45.0%、高校生 50.0%)が、小学生では「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「家族の世話について相談にのってほしい」、「勉強を教えてほしい」、中学生では「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強などの学習サポート」、高校生では「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」といった回答がありました。

(5) ヤングケアラーについて

○ ヤングケアラーの自覚

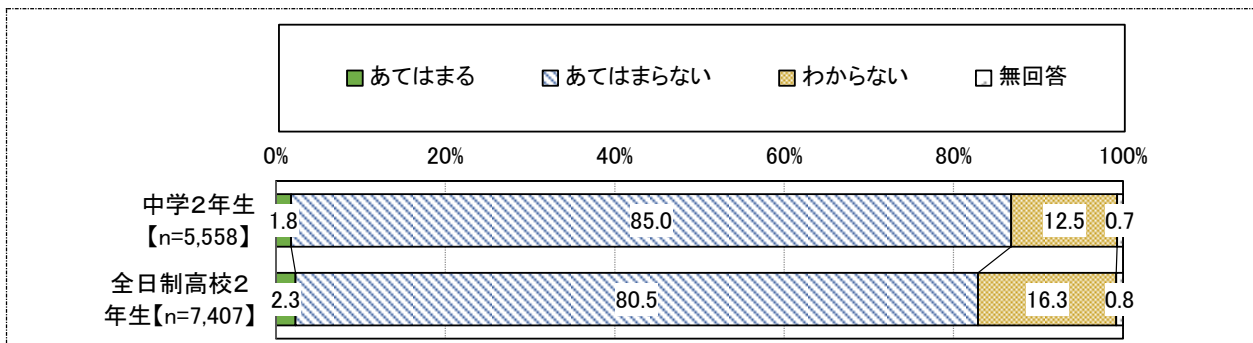


自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、小学生で 0.8% (3人)、中学生で 1.8% (7人)、高校生で 0.6% (1人) があてはまると回答がありました。

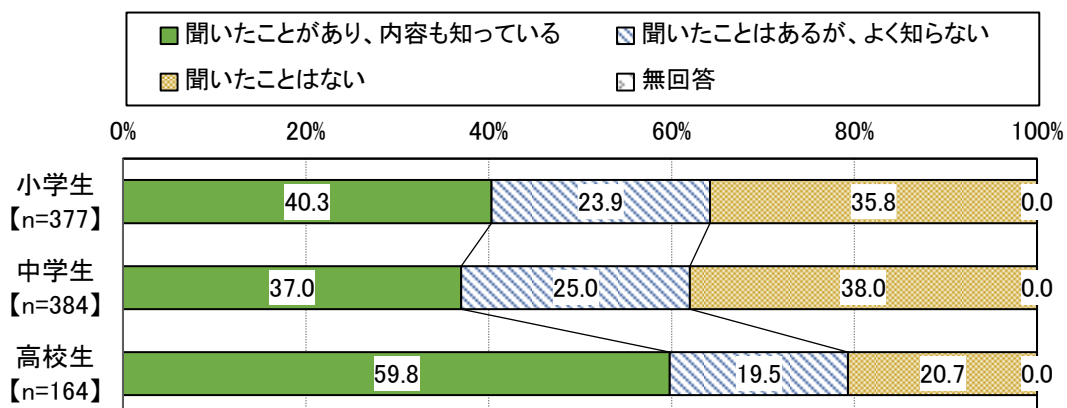
国の調査とは有効回答数の規模などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、中学生は同様の傾向、高校生は、国の調査結果より低い傾向であることが推察されます。

また、お世話をしている家族のクロス集計でみると、「いる」と回答した人の中で「あてはまる」と回答した人は小学生で 3.0% (1人)、中学生 10.0% で (2人) いました。なお、高校生は回答した人はいませんでした。

【参考 国調査 自分はヤングケアラーにあてはまると思うか】



○ヤングケアラーの認知度

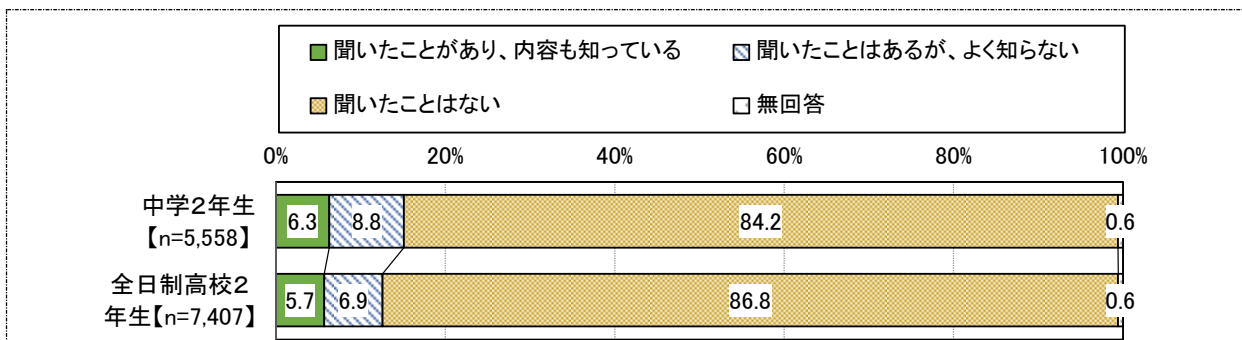


ヤングケアラーという言葉について、小学生・中学生では「聞いたことがあります、内容も知っている」と4割程度が回答し、高校生では6割を占めています。

国の調査とは有効回答数の規模や調査時期などが異なるため、一概に比較することは難しいですが、ヤングケアラーという言葉を「聞いたことがあります、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した割合が、国の調査結果より高い傾向であることが推察されます。

子どもの周囲の人や子ども自身が、ヤングケアラーとなっている状況に気づけるよう、ヤングケアラーの正しい認識についてさらに広めていく必要があります。

【参考 国調査 ヤングケアラーの認知度】



ヤングケアラーに対して必要なサポートについては、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が最も多く、次いで、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」、「ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること」、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」などが挙げられています。

Ⅱ. 今後の支援の方向性

(1) ヤングケアラーの周知啓発・理解促進

小学生調査では、父母の世話をしながらも父母が世話を必要とする理由について「わからない」との回答が7割程度あること、お世話の大変さでは6割が「特に大変さは感じていない」と回答していることから、小学生の年齢だと、家族の置かれた状況を十分に理解できていなかったり、家族のお世話や家事をすることが当たり前になり、その大変さを十分に自覚できていなかったりする可能性があることが考えられます。

家事やきょうだいの世話は、家族間だから当たり前、大切なことという考え方がありますが、それが子どもにとって必要以上の負担になっていないのかなど、特に小中学生の児童が自らの置かれた状況を把握し、大変な状況にある場合でも本人が自ら周囲に相談をすることは難しいと推察されます。

また、今回の調査では、各世代2～3割程度の子どもがヤングケアラーという言葉で「聞いたことはない」と回答しました。

したがって、小中学生については、周囲の大人が本人の様子の変化やつらさに気づき、声をかけていくことの重要性が大きくなります。周囲の大人がヤングケアラーに対する意識を高め、必要な支援につながるきっかけを作れるような体制を整えていくことが重要です。

また、そのような状態に陥ったときでも、支援の手段があることについて、周知啓発をしていくことが重要です。

学校、子どもがケアを担っている人の関係機関・事業者、保護者など子どもを取り巻く大人、そして子ども自身が「ヤングケアラー」を正しく理解できるよう、講演会や研修だけでなく、埼玉県のヤングケアラーハンドブックなどを活用し、理解を深める必要があります。

さらに、子どもと関わりのある第三者でも気づける可能性のある子どもの様子・状況などの共通理解を深めていくことが重要です。ヤングケアラーは法律などで定められた判断基準や明確な定義が設けられていないことから、「ヤングケアラーとはどのような状態にある子どもを指すのか」という点において、関係機関ごとに異なる解釈を持っていることも考えられます。また、共通の課題を認識することができたとしても、支援の目的や方針が不揃いであると、一貫した支援の提供が難しくなります。支援の方向性に差異が生じないように、庁内や関係機関で協議をし、共通理解を深め、支援のガイドラインなどを作成していく必要があります。

(2) 相談支援体制の充実

世話をしている状況や、ケアに対する受け止め方は、家族や個々により大きく異なり、効果的な支援もそれぞれで異なると考えられます。

そのため、「①ヤングケアラーの周知啓発・理解促進」でもふれたように、子ども自身や周囲の大人が「ヤングケアラー」に対して正しく理解し、支援を必要としている子どもが声をあげやすくなるような環境づくりを進めることが重要です。

加えて、ヤングケアラーである子どもや家庭の状況は様々であるため、型にはめた支援ではなく、子どもが何に負担を感じているか、どうしてほしいか、子ども自身の意見に耳を傾けるとともに、子どもに対して支援の必要があるかを判断し、支援が必要であると判断された子どもに対しては、子どもの意見に寄り添いながら、必要な支援を進めていくことが求められます。

例えば、ケア対象者のレスパイト入院や子育て短期支援事業などヤングケアラー本人の息抜きできる環境づくりや、ヤングケアラー本人や家族や経験をできるように、ヤングケアラー同士のピアサポートや家族会、居場所づくりなどを考えていく必要があります。

また、親やきょうだいが疾患などを持っている場合など、その「支援」は長期間にわたり継続する可能性があります。また、年齢をあげるほど、過大な負担を強いられる可能性があり、より学業や友人関係に問題をきたしてしまうことが考えられます。アンケート調査からの意見でもあった「自由に使える時間がほしい」や「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」等のヤングケアラーとその家族のニーズに対応した支援の充実を考えていくことが必要です。

お世話を一緒にしている人で、「自分のみ」との回答もあることに加え、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」との回答は少ないことから、単独でお世話をしている子どもの孤立を防ぐため、家族以外の支援の希望があった場合に対応できる環境を整える必要があります。

(3)関係機関の連携強化

ヤングケアラーが家庭内のプライベートな問題であることから、支援が必要な状況にあっても表面化しづらい構造であることが指摘されています。

子どもの世話の状況や家庭状況に周囲が早期に気づき、見守る中で、支援が必要となった時には迅速に支援につなげられる体制が必要です。特に、子どもと日常的に関わる学校の役割は大きく、学校で早期に気づいた支援を必要とする子どもを支援機関につなぐとともに、学校では日常的な見守りを継続することが必要です。

また、学校の取組をサポートする役割は、日常的に学校を訪問している福祉の知識を持ったスクールソーシャルワーカーに期待されます。

こうした取組から、学校等で発見したヤングケアラーの情報を集約し、より実態を把握する仕組みを整備するとともに、ヤングケアラーの状態の変化に合わせ、教育、子育て、福祉、保健の分野で連携し支援する体制の構築していくことが重要です。

また、対象者である子どもが、自発的に相談することができず、支援が届かないという課題があります。このため、訪問、オンラインを活用した専門職によるアウトリーチ型の取組みを強化する必要があります。

第3部 調査依頼文

第3部 調査依頼文

I. 保護者向け調査依頼文

「児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査」ご協力のお願い 【保護者のみなさま】

保護者の皆様におかれましては、日頃より本市の子ども施策に御支援と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆる「ヤングケアラー※」については、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の成長や教育に影響がありうるといった課題が指摘されています。

この度、白岡市におきましても、小学校6年生、中学校2年生、高校2年生相当の児童・生徒を対象に、学校や家庭といった生活の中で抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、その解決に必要な支援策を検討するためにアンケート調査を実施することとなりました。

ヤングケアラーへのより良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの生徒の御意見をお聞きしたいと考えておりますので、保護者の皆様におかれましては、本調査の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

◆「ヤングケアラー」は、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」です。以下は、ヤングケアラーの例を示した図です。

<ヤングケアラーの例>

				
障がいや病気のあ る家族に代わり、買 い物・料理・掃除・洗 濯などの家事をし ている	家族に代わり、幼い 兄弟姉妹の世話を している	障がいや病気のあ る兄弟姉妹の世話 や見守りをしてい る	目を離せない家族 の見守りや声かけ などの気づかいをし ている	日本語が第一言語 でない家族や障が いのある家族のため に通訳をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟(一部抜粋)

厚生労働省ホームページ

「子どもが子どもでいられる街に。

～みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して～」は

こちらから <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



◆◆お知らせ事項◆◆

- 調査にあたり、お子様には、アンケートフォームの QR コードや調査方法等を記載した調査協力依頼文を配布し、ホームルームや授業などの時間を利用して御回答いただくものです。
- 本調査は無記名で行います。主な調査項目として、家族の方のお世話に関係した生活状況、悩みや困りごと、相談相手の有無、また、ヤングケアラーへの必要な支援等をお聞きます。
- 御回答いただいたアンケートの集計データは、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、個々の回答内容を教職員が見ることもありません。
- 調査・集計・分析は、市が契約しました Next-i 株式会社に委託して行い、調査結果は今後のヤングケアラー支援の取組に生かしてまいります。

◆本調査に関するお問い合わせ先

白岡市健康福祉部子育て支援課

電話 0480-92-1111 内線151・152

FAX 0480-93-1179

メール kosodate@city.shiraoka.lg.jp

「高校2年生相当の生活実態に関するアンケート調査」ご協力のお願い
【保護者のみなさま】

保護者の皆様におかれましては、日頃より本市の子ども施策に御支援と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、いわゆる「ヤングケアラー※」については、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の成長や教育に影響がありうるといった課題が指摘されています。

この度、白岡市におきましても、小学校6年生、中学校2年生、高校2年生相当の児童・生徒を対象に、学校や家庭といった生活の中で抱える悩みや困りごとなどをお聞かせいただき、その解決に必要な支援策を検討するためにアンケート調査を実施することとなりました。

ヤングケアラーへのより良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの生徒の御意見をお聞きしたいと考えておりますので、保護者の皆様におかれましては、本調査の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

◆「ヤングケアラー」は、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」です。以下は、ヤングケアラーの例を示した図です。

<ヤングケアラーの例>

				
障がいや病気のあ る家族に代わり、買 い物・料理・掃除・洗 濯などの家事をし ている	家族に代わり、幼い 兄弟姉妹の世話を している	障がいや病気のあ る兄弟姉妹の世話 や見守りをしてい る	目を離せない家族 の見守りや声かけ などの気づかいをし ている	日本語が第一言語 でない家族や障が いのある家族のため に通訳をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟(一部抜粋)

厚生労働省ホームページ

「子どもが子どもでいられる街に。

～みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して～」は

こちらから <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



◆◇お知らせ事項◇◆

- 本調査は高校2年生相当の市民全員を対象としています。
- 調査はご家庭のスマートフォンやパソコンを使って、調査対象者であるお子様にインターネット上で回答していただきます。
- 本調査は無記名で行います。主な調査項目として、家族の方のお世話に関係した生活状況、悩みや困りごと、相談相手の有無、また、ヤングケアラーへの必要な支援等をお聞きます。
- 御回答いただいたアンケートの集計データは、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
- 調査・集計・分析は、市が契約しました Next-i 株式会社 に委託して行い、調査結果は今後のヤングケアラー支援の取組に生かしてまいります。

◆本調査に関するお問い合わせ先

白岡市健康福祉部子育て支援課

電話 0480-92-1111 内線151・152

FAX 0480-93-1179

メール kosodate@city.shiraoka.lg.jp

II. 小学生向け調査依頼文

「小学生の生活実態に関するアンケート調査」
ご協力をお願い

このアンケート調査は、みなさんの学校や家庭の中で抱える悩みや困りごとなどを調べて、みなさんの生活や学びをより豊かにするしくみをつくることに役立てるためのアンケートです。

みなさんの声を多く集めて、白岡の子どもたちが明るく笑顔で過ごせるまちになるために何が必要か考える材料にします。そのために、みなさんのご協力をぜひお願いします。

回答したことや回答しなかったことが学校の成績に影響したり問題になったりすることはまったくありません。また、あなたの回答内容を先生が見ることはなく、誰が回答したのかわからないようにしてあるので、安心して回答してください。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆◇回答にあたってのお願い◇◆

- ・回答するために手助けなどが必要な場合は、先生に相談してください。
- ・調査はタブレットを使って、インターネット上で回答してください。二次元コードを読み取るか、URLを入力して、回答ページへ入ってください。
- ・答えにくい質問は、無理に回答する必要はありません。
- ・回答は、当てはまる番号を選ぶ場合と、具体的な内容を入力する場合があります。質問文の注意書きを読んでから回答してください。
- ・途中でやめて、時間が経ってから回答することはできませんので、1回で最後まで回答してください。
- ・アンケートにかかる時間は10～15分くらいです。

◆回答用URL

※ 令和4年10月11日(火)までに回答してください。



Ⅲ. 中学生向け調査依頼文

「中学生の生活実態に関するアンケート調査」 ご協力をお願い

このアンケート調査は、みなさんの学校や家庭の中で抱える悩みや困りごとなどを調べて、みなさんの生活や学びをより豊かにするしくみをつくることに役立てるためのアンケートです。

みなさんの声を多く集めて、白岡市の子どもたちが明るく笑顔で過ごせるまちになるために何が必要か考える材料にします。そのために、みなさんのご協力をぜひお願いします。

回答したことや回答しなかったことが学校の成績に影響することはありませんし、あなたに不利益はまったくありません。また、あなたの回答内容を先生が見ることはなく、あなたの回答が特定されたりすることもありますので、安心して回答してください。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆◇回答にあたってのお願い◇◆

- ・回答するために手助けなどが必要な場合は、先生に相談してください。
- ・調査はタブレットを使って、インターネット上で回答してください。
二次元コードを読み取るか、URL を入力して、回答ページへ入ってください。
- ・答えにくい質問は、無理に回答する必要はありません。
- ・回答は、当てはまる番号を選ぶ場合と、具体的な内容を入力する場合があります。
質問文の注意書きを読んでから回答してください。
- ・途中でやめて、時間が経ってから回答することはできませんので、1回で最後まで回答してください。
- ・アンケートにかかる時間は10～15分くらいです。

◆回答用 URL

※ 令和4年10月11日(火)までに回答してください。



IV. 高校生向け調査依頼文

**「高校2年生相当の生活実態に関するアンケート調査」
ご協力をお願い**

このアンケート調査は、みなさんの学校や家庭の中で抱える悩みや困りごとなどを調べて、みなさんの生活や学びをより豊かにするしくみをつくることに役立てるためのアンケートです。

みなさんの声を多く集めて、白岡市の子どもたちが明るく笑顔で過ごせるまちになるために何が必要か考える材料にします。そのために、みなさんのご協力をぜひお願いします。

回答したことや回答しなかったことが学校の成績や仕事に影響することはありませんし、あなたに不利益はまったくありません。また、あなたの回答内容を先生または上司等が見ることはなく、あなたの回答が特定されたりすることもありますので、安心して回答してください。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆◇回答にあたってのお願い◇◆

- ・本調査は高校2年生相当の市民全員を対象としています。
- ・調査はスマートフォンやパソコンを使って、インターネット上で回答してください。
二次元コードを読み取るか、URLを入力して、回答ページへ入ってください。
- ・答えにくい質問は、無理に回答する必要はありません。
- ・回答は、当てはまる番号を選ぶ場合と、具体的な内容を入力する場合があります。
質問文の注意書きを読んでから回答してください。
- ・途中でやめて、時間が経ってから回答することはできませんので、1回で最後まで回答してください。
- ・アンケートにかかる時間は10～15分くらいです。

◆回答用 URL

※ 令和4年10月17日(月)までに回答してください。



◆本調査に関するお問い合わせ先

白岡市健康福祉部子育て支援課
電話 0480-92-1111 内線151・152
FAX 0480-93-1179
メール kosodate@city.shiraoka.lg.jp

白岡市ヤングケアラーに関する実態調査報告書

発行／白岡市子育て支援課

発行／令和5年3月
